

# 一等水準点検測成果集録

第 35 卷

(平成 2 年度観測)

平成 4 年 2 月

建設省国土地理院

## 記

本集録は、平成2年度に、国土地理院が行った一等水準点検測の結果を集録、図示したものである。

平成4年2月

建設省国土地理院

# 一等水準点検測成果集録

第 35 卷

(平成2年度観測)

## 目 次

1. 観測器械および観測法 .....	3
(1) 観 測 器 械	
(2) 観 測 法	
2. 検測区域および期間 .....	8
3. 水準点変動図の説明 .....	14

付 図      一等水準路線図  
            一等水準点変動図

## 1. 観測器械および観測法

平成2年度において使用した観測器械および観測法は次のとおりである。

### (1) 観測器械

#### A 水準儀

水準名称	望遠鏡倍率	水準器感度
Wild 製N3型精密水準儀	42倍	10" / 2mm (合致式)
Carl Zeiss Jena 製NI 002型 精密自動水準儀	40倍	公称視準精度 0.05

#### B 水準標尺

水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
		材質	目盛法
Wild 精密水準標尺	3m	インバール(巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
Carl Zeiss Jena 製精密水準標尺	3m	〃	〃
測機舎製精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール(巾2.5cm, 長さ3m)	〃

### (2) 観測法

観測に際しては、地上によく踏みこんだ鉄製標尺台に、標尺を尺付属の円形水準器によって鉛直に立て、水準儀は、両標尺間の中央に整置し、後視—前視、更に前視—後視の順序に観測を行う。

整準ねじによってまず、円形水準器の気泡を中央に導き、第1回視準（後視—前視）は左側目盛分画線、第2回視準（前視—後視）は右側目盛分画線を視準する。

Wild 製N3型精密水準儀の場合は微傾動ねじによって主水準器気泡の映像を合致させ、測微装置によって、くさび型十字糸で分画線を正しく挟んで10分の1mmまで読みとる。

Carl Zeiss Jena 製NI 002型精密自動水準儀の場合は第1回視準はコンペンセーターがIの

位置，第2回視準はコンペンセーターが，Ⅱの位置において測微装置によつてくさび型十字糸で分画線を正しく挟んで10分の1mmまで読みとる。

水準儀と標尺の距離は，平地で通常50m以内とし，各水準点間2km，（地点標に併設された水準点間は1km）を往復観測を行い，その往復差は， $2.5\sqrt{S}$  mm（Sは片道の観測距離でkm単位）以内である。

なお，標尺の検定は，定期的にレーザー干渉計又は基準尺により比較測定して行い，観測値に所要の補正をする。

付 表

平成2年度以前において使用した観測器および観測法

(1) 観 測 器 械

A 水 準 儀

観 測 年 度	水 準 儀 名 称	望 遠 鏡 倍 率	水 準 器 感 度
大正13年 (1924) 以前	Carl Bamberg 製 一等水準儀 (Y型)	36 倍	4" ~ 5" / 2 mm
昭和27年 (1952) 以前	Carl Zeiss 製Ⅲ型精密水 準儀	36 倍	4" ~ 12" / 2 mm (合致式)
昭和30年 (1955) 以前	Carl Zeiss 製Ⅲ型精密水 準儀	36 倍	〃
	Wild 製N 3 型精密水準儀	42 倍	10" / 2 mm (合致式)
昭和42年 (1967) 以前	Wild 製N 3 型精密水準儀	42 倍	〃
昭和44年 (1969) 以前	Wild 製N 3 型精密水準儀	42 倍	〃
	Zeiss 製 N I 2 型精密自動水準儀	32 倍	円形水準器 8'
昭和53年 (1978) 以前	Wild 製N 3 型精密水準儀	42 倍	10" / 2 mm (合致式)
昭和54年 (1979) 以後	Wild 製N 3 型精密水準儀	42 倍	10" / 2 mm (合致式)
	Carl Zeiss Jena 製 N I 002 型精密自動水準儀	40 倍	公称視準精度 0.05

B 水 準 標 尺

観 測 年 度	水 準 標 尺 名 称	長 さ	目 盛 部 の 状 況	
			材 質	目 盛 法
大正13年以前 (1924)	Carl Bamberg 製 水準標尺	3 m	露国産自然乾燥赤 楊	木部の表面に直接 5 mmごとに目盛る
昭和27年以前 (1952)	Carl Zeiss 製 精密水準標尺	3 m	インバール (巾 2.6cm, 長さ3 m のもの)	インバール帯の中 央線の両側に2.5 mmの差をもって5 mmごとに目盛る

観測年度	水準標尺名称	長さ	水準器感度	
			材質	目盛法
昭和30年以前 (1955)	Carl Zeiss 製精密水準標尺	3 m	インバール (巾 2.6cm, 長さ3 m のもの)	インバール帯の中 央線の両側に2.5 mmの差をもって5 mmごとに目盛る
	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	同上5mmの差をも って10mmごとに目 盛る
昭和42年以前 (1967)	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
昭和44年以前 (1969)	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
	Zeiss 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
昭和53年以前 (1978)	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
平成元年以前 (1989)	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
	Carl Zeiss Jena 製 精密水準標尺	3 m	〃	〃
平成2年以後 (1990)	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
	Carl Zeiss Jena 製 精密水準標尺	3 m	〃	〃
	測機舎製精密水準標尺	3 m	ニュースーパーイン バール (巾2.5cm 長さ3 mのもの)	〃

(2) 観測法

観測器械 区分	Carl Bamberg	Carl Zeiss	Wild N 3	Zeiss NI 2	Carl Zeiss Jena NI 002
視準順序	上方分画— 下方分画	後視—前視 —前視—後視	後視—前視 —前視—後視	後視—前視 —前視—後視	後視—前視 —前視—後視
読定単位	0.01mm	0.01mm	0.1mm 昭和35年以前 は0.01mm	0.1mm	0.1mm
標尺距離 (平坦地)	最大40m	最大40m	最大50m 昭和45年以前 は最大60m	最大50m	最大50m

観測器械 区分	Carl Bamberg	Carl Zeiss	Wild N 3	Zeiss N I 2	Carl Zeiss Jena N I 002
往復差の制限 Sは片道の 観測距離で km単位	$1.5\sqrt{2S}$ mm	$1.5\sqrt{2S}$ mm	$2.5\sqrt{S}$ mm 昭和35年以前 は $1.5\sqrt{2S}$ mm 昭和36年から 昭和39年まで は $2.0\sqrt{2S}$ mm	$2.5\sqrt{S}$ mm	$2.5\sqrt{S}$ mm
環閉合の制限	$1.5\sqrt{S}$ mm	$1.5\sqrt{S}$ mm	$2.0\sqrt{S}$ mm	$2.0\sqrt{S}$ mm	$2.0\sqrt{S}$ mm



## 2. 検測区域及び期間

変動図 番 号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ ロ 数	検 測 期 間	頁
2-1	自 北海道足寄郡陸別町 B. M. 9059 至 〃 中川郡幕別町 〃 8170	B. M. 9059	98	自 平成2年5月 至 〃 7月	17
2-2	自 北海道中川郡豊頃町 B. M. 227 至 〃 様似郡様似町 〃 7999	B. M. 227	153	自 平成2年7月 至 〃 11月	18
2-3	自 青森県青森市 B. M. 007-467	B. M. 附 15	26	自 平成2年5月	20
	至 〃 〃 〃 附 15			至 〃 〃	
	自 〃 〃 〃 6122			自 〃 〃	
	至 〃 〃 〃 交 6052			至 〃 〃	
2-4	自 青森県八戸市 B. M. 準基 528 至 〃 〃 〃 6956	B. M. 6956	18	自 平成2年10月 至 〃 〃	21
2-5	自 宮城県仙台市 B. M. 交 2179	B. M. 2168	24	自 平成2年8月	22
	至 〃 岩沼市 〃 2168			至 〃 9月	
	自 〃 仙台市 〃 004-352			自 〃 8月	
	至 〃 宮城県利府町 〃 5654			至 〃 9月	
2-6	自 茨城県古河市 B. M. 2028	B. M. 2028	41	自 平成2年12月	23
	至 〃 狼島郡総和町 〃 2027			至 平成3年1月	
	自 埼玉県北葛飾郡栗橋町 〃 2025			自 〃 〃	
	至 茨城県古河市 〃 592			至 〃 〃	
2-7	自 長野県北佐久郡軽井沢町 B. M. 549 至 〃 〃 〃 〃 10823	B. M. 549	21	自 平成2年10月 至 〃 〃	24
2-8	自 東京都千代田区 B. M. 甲 至 千葉県船橋市 〃 3825	B. M. 甲	162	自 平成2年12月 至 平成3年1月	25
2-9	自 東京都千代田区 B. M. 甲	B. M. 甲	82	自 平成2年12月	27
	至 千葉県千葉市 〃 千葉県水準原点			至 平成3年1月	
	自 東京都中央区 〃 交無号			自 平成2年12月	
	至 〃 千代田区 〃 交 4			至 平成3年1月	
2-10	自 東京都千代田区 B. M. 甲	B. M. 甲	87	自 平成2年11月	28
	至 神奈川県三浦市 〃 5637-2			至 平成3年2月	
	自 〃 横浜市 〃 基 25			自 平成2年11月	
	至 〃 藤沢市 〃 交 36-1			至 平成3年2月	
2-11	自 神奈川県中郡二宮町 B. M. 42-1	B. M. 42-1	77	自 平成3年2月	30
	至 静岡県熱海市 〃 交 52			至 〃 3月	
	自 神奈川県小田原市 〃 43-1			自 〃 2月	
	至 静岡県御殿場市 〃 10093			至 〃 3月	

変動図 番号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ ロ 数	検 測 期 間	頁
2-12	自 静岡県熱海市 B. M. 交 52	B. M. 交 52	98	自 平成2年11月	32
	至 神奈川県三浦市 油壺験潮場固定点			至 " 12月	
	自 " 足柄下郡湯河原町 B. M. 49-1			自 " 11月	
	至 " " 真鶴町 " 附 4307			至 " 12月	
2-13	自 東京都大島支庁大島町 B. M. 10232	B. M. 10232	22	自 平成2年10月	34
	至 " " " " "			至 " "	
2-14	自 静岡県沼津市 B. M. 9400	B. M. 9400	89	自 平成2年6月	35
	至 " 伊東市 伊東験潮場固定点			至 " 7月	
	自 " 沼津市 内浦検潮所球分体			自 " 6月	
	至 " " B. M. 9400			至 " 7月	
	自 " " " "			自 " 6月	
	至 " 伊東市 " 9341			至 " "	
	自 " 田方郡中伊豆町 " 48-003-012			自 " "	
	至 " 伊東市 48-003-000			至 " "	
自 " 田方郡修善寺町 " 48-136-012	自 " "				
至 " 賀茂郡河津町 " 9353	至 " 7月				
2-15	自 静岡県伊東市 B. M. 9341	B. M. 9400	54	自 平成2年6月	38
	至 " 賀茂郡南伊豆町 南伊豆検潮所球分体			至 " "	
	自 " 沼津市 B. M. 9400			自 " "	
	至 " 賀茂郡南伊豆町 " 9364			至 " 7月	
	自 " 賀茂郡西伊豆町 " 9378			自 " 6月	
	至 " " 田子験潮場固定点			至 " 7月	
	自 " 田方郡土肥町 B. M. 9387			自 " 6月	
至 " " 天城湯ヶ島町 " 48-136-018	至 " 7月				
2-16	自 静岡県沼津市 B. M. 9400	B. M. 9400	89	自 平成2年10月	41
	至 " 伊東市 伊東験潮場固定点			至 " 11月	
	自 " 田方郡中伊豆町 B. M. 48-003-012			自 " 10月	
	至 " 伊東市 " 48-003-000			至 " 11月	
	自 " 沼津市 " 9400			自 " 10月	
	至 " " 内浦検潮所球分体			至 " 11月	
	自 " 熱海市 B. M. 交 52			B. M. 交 52	
至 " 賀茂郡河津町 " 9353			至 " 11月		

変動図 番号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁
2-17	自 静岡県掛川市 B. M. 140-1	B. M. 140-1	48	自 平成2年6月	43
	至 〃 静岡県 〃 128-1			至 〃 7月	
	自 〃 藤枝市 〃 132		44	自 〃 〃	
	至 〃 榛原郡相良町 〃 準基 1354			至 〃 〃	
	自 〃 焼津市 〃 2569		2	自 〃 〃	
	至 〃 〃 焼津市駿潮場固定点			至 〃 〃	
	自 〃 引佐郡三ヶ日町 B. M. 基 38		59	自 〃 〃	
	至 〃 掛川市 〃 140-1			至 〃 〃	
	自 〃 浜名郡舞阪町 舞阪検潮所球分体		56	自 〃 〃	
至 〃 小笠郡浜岡町 B. M. 2597	至 〃 〃				
2-18	自 静岡県掛川市 B. M. 140-1	B. M. 140-1	35	自 平成2年4月	47
	至 〃 榛原郡御前崎町 御前崎検潮所固定点			至 〃 5月	
	自 〃 〃 御前崎測候所水準標石		2	自 〃 〃	
	至 〃 〃 水管東補助点			至 〃 〃	
	自 〃 掛川市 B. M. 140-1		30	自 〃 7月	
	至 〃 榛原郡相良町 〃 準基 1354			至 〃 〃	
	自 〃 小笠郡浜岡町 〃 旧 2595		11	自 〃 〃	
	至 〃 榛原郡御前崎町 御前崎検潮所標石			至 〃 〃	
	自 〃 〃 相良町 B. M. 2594		6	自 〃 〃	
	至 〃 〃 御前崎町 水管固定			至 〃 〃	
	自 〃 掛川市 B. M. 140-1		35	自 〃 10月	
	至 〃 榛原郡御前崎町 御前崎検潮所固定点			至 〃 〃	
	自 〃 〃 〃 御前崎測候所水準標石		2	自 〃 〃	
	至 〃 〃 〃 水管東補助点			至 〃 〃	
	自 〃 掛川市 B. M. 140-1		30	自 平成3年1月	
	至 〃 榛原郡相良町 〃 準基 1354			至 〃 〃	
自 〃 〃 御前崎町 御前崎測候所水準標石	2	自 〃 〃			
至 〃 〃 〃 水管東補助点		至 〃 〃			
2-19	自 愛知県岡崎市 B. M. 167	B. M. 基 38	56	自 平成2年9月	51
	至 静岡県引佐郡三ヶ日町 〃 基 38			至 〃 10月	
2-20	自 新潟県新潟市 B. M. 4420	B. M. 4420	30	自 平成2年9月	52
	至 〃 新潟市 〃 II 2163			至 〃 〃	
	自 〃 上越市 〃 建 No.-0		14	自 〃 8月	
	至 〃 〃 〃 T-6			至 〃 9月	

変動図 番号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁
2-21	自 福井県坂井郡金津町 B. M. 基 15 至 〃 遠敷郡上中町 〃 1339 自 〃 坂井郡三国町 〃 附 21 至 〃 福井市 〃 交 5258	B. M. 基 15 〃 附 21	124 29	自 平成2年8月 至 〃 10月 自 〃 9月 至 〃 〃	53
2-22	自 岐阜県不破郡垂井町 B. M. 191-2 至 愛知県常滑市 〃 附 18 自 〃 名古屋市 〃 交 172-1 至 〃 豊明市 〃 基 39 自 岐阜県羽島市 〃 3357 至 〃 羽島郡笠松町 〃 184 自 愛知県常滑市 〃 附 18 至 〃 〃 鬼崎験潮場固定点 自 〃 海部郡弥富町 B. M. 1471 至 〃 名古屋市 〃 交 174-1 自 岐阜県岐阜市 〃 交 185 至 〃 関 市 〃 交 725 自 〃 不破郡垂井町 〃 191-2 至 三重県鈴鹿市 〃 1453 自 岐阜県大垣市 〃 4674 至 〃 養老郡養老町 〃 4676	B. M. 附 18 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 B. M. 1471 〃 交 174-1 〃 交 185 〃 交 725 〃 191-2 〃 191-2 〃 〃 〃 〃	104 5 9 0 24 21 104 4	自 平成2年10月 至 〃 11月 自 〃 〃 至 〃 〃 自 〃 10月 至 〃 〃 自 〃 11月 至 〃 〃 自 〃 10月 至 〃 〃 自 平成3年1月 至 〃 〃 自 平成2年10月 至 〃 11月 自 〃 10月 至 〃 11月	55
2-23	自 三重県鈴鹿市 B. M. 1453 至 〃 多気郡多気町 〃 交 1510 自 奈良県五条市 〃 1561 至 三重県多気郡多気町 〃 交 1510	B. M. 交 1510 〃 1561	77 108	自 平成2年8月 至 〃 10月 自 〃 8月 至 〃 9月	59
2-24	自 三重県多気郡多気町 B. M. 交 1510 至 和歌山県新宮市 〃 交 4810 自 〃 西牟婁郡すさみ町 〃 9205 至 〃 新宮市 〃 交 4810	B. M. 交 1510 〃 9205	140 80	自 平成2年7月 至 〃 9月 自 〃 8月 至 〃 9月	61
2-25	自 滋賀県大津市 B. M. 交 213 至 岐阜県大垣市 〃 191	B. M. 191	93	自 平成2年7月 至 〃 〃	66

変動図 番号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁
2-26	自 兵庫県西宮市 B. M. 交 460	B. M. 基 20	96	自 平成2年10月	67
	至 滋賀県大津市 ” 基 20			至 ” 11月	
	自 大阪府茨木市 ” 226			自 平成3年1月	
	至 ” ” ” 基 21			至 ” 2月	
	自 京都府京都市 ” 1296			自 ” 10月	
	至 ” ” ” 交 216			至 ” ”	
	自 大阪府大阪市 ” 229			自 平成3年1月	
	至 ” 泉南郡阪南町 ” 264			至 ” 2月	
自 ” 堺市 ” 交 246	自 平成2年10月	58			
至 ” 柏原市 ” 国文原標	至 ” ”				
2-27	自 兵庫県姫路市 B. M. 交 423	B. M. 交 460	83	自 平成2年7月	70
	至 ” 西宮市 ” 交 460			至 ” ”	
2-28	自 鳥取県西伯郡淀江町 B. M. 1115	B. M. 1115	100	自 平成2年10月	71
	至 ” 鳥取市 ” 交 1067			至 ” 11月	
	自 ” ” ” 交 1067			自 ” 9月	
	至 兵庫県美方郡温泉町 ” 1140			至 ” 10月	
	自 ” ” 岩美町 ” 1129			自 ” 9月	
	至 ” ” ” 田後験潮場固定点			至 ” 10月	
2-29	自 岡山県岡山市 B. M. 384	B. M. 384	72	自 平成2年11月	74
	至 兵庫県姫路市 ” 基 23			至 平成3年2月	
2-30	自 愛媛県今治市 B. M. 交 3440	B. M. 交 3440	54	自 平成3年1月	75
	至 ” 松山市 ” 4536			至 ” 2月	
	自 愛媛県今治市 ” 交 3440			自 平成2年8月	
	至 香川県善通寺市 ” 交 3385			至 ” 9月	
2-31	自 愛媛県八幡浜市 B. M. 交 4569	B. M. 交 4619	109	自 平成2年8月	78
	至 高知県宿毛市 ” 交 4619			至 ” 9月	
	自 ” ” ” ”			自 ” 8月	
	至 ” 高岡郡中土佐町 久札験潮場固定点			至 ” ”	
	自 ” ” ” B. M. 附 22			自 ” ”	
	至 ” 高知市 ” 交 5004			自 ” ”	
	自 愛媛県松山市 ” 4536			自 ” ”	
	至 ” 八幡浜市 ” 交 4569			至 ” 9月	

変動図 番 号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁
2-32	自 佐賀県杵島郡有明町 B. M. 基 52	B. M. 基 52	49	自 平成3年1月	82
	至 福岡県柳川市 ” 3356			至 ” 2月	
	自 佐賀県佐賀郡大和町 佐賀県基盤水準点			自 ” 1月	
	至 ” 佐賀市 B. M. 3346			至 ” 2月	
	自 ” 鹿島市 ” 3334			自 ” 1月	
	至 ” 杵島郡有明町 ” 3332			至 ” 2月	
	自 ” ” ” ” ”			自 ” 1月	
	至 ” 佐賀郡諸富町 ” 3350			至 ” 2月	
	自 ” 小城郡芦刈町 ” 2000			自 ” 1月	
至 ” 佐賀郡久保田町 ” 3342	至 ” 2月				
2-33	自 長崎県島原市 B. M. 4280	B. M. 4297	34	自 平成2年11月	84
	至 ” 南高来郡西有家町 ” 4297			至 ” ”	
	自 ” ” 愛野町 ” 4271			自 ” ”	
	至 ” ” 南串山町 ” T-126 補			至 ” ”	
	自 ” ” 愛野町 ” 4271			自 平成3年3月	
	至 ” ” 小浜町 ” T-115			至 ” ”	
	自 ” 島原市 ” 4285			自 ” ”	
	至 ” 南高来郡小浜町 ” No.25			至 ” ”	
	自 ” 島原市 ” No. 5			自 ” ”	
至 ” ” ” No. 7	至 ” ”				
2-34	自 沖縄県国頭郡国頭村 B. M. 9713	B. M. 9713	51	自 平成2年5月	87
	至 ” ” 東村 ” 交 9698			至 ” 6月	

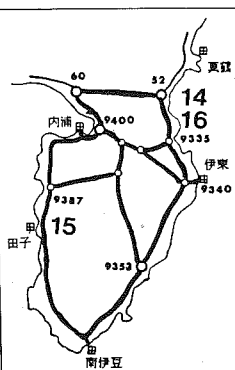
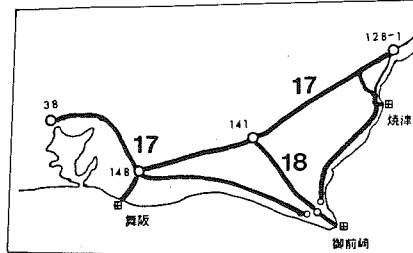
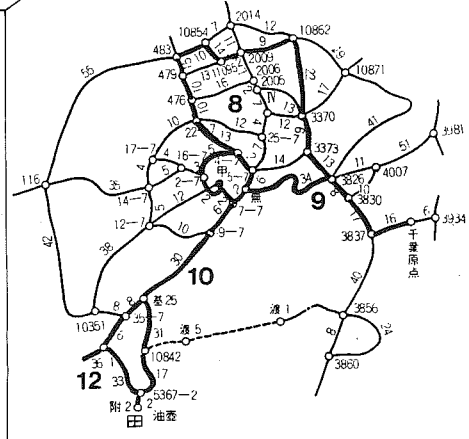
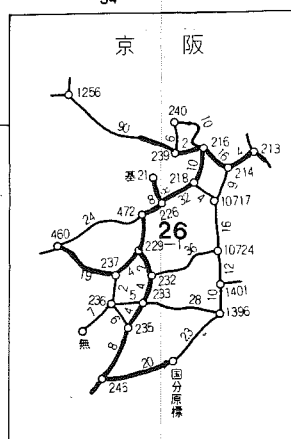
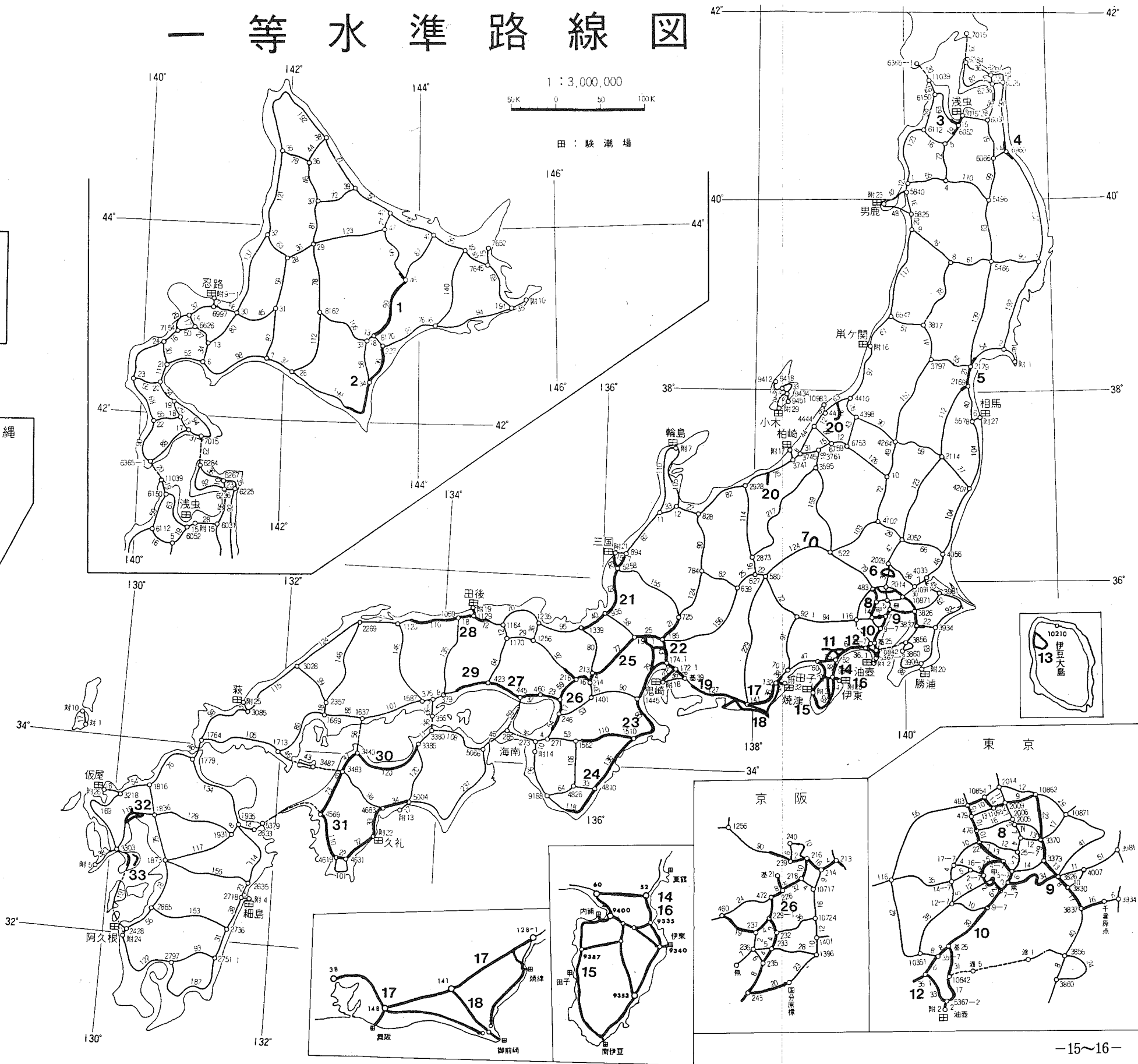
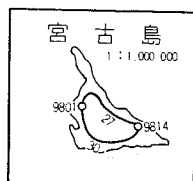
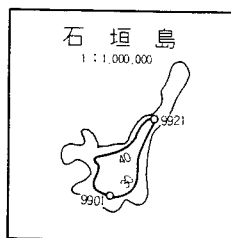
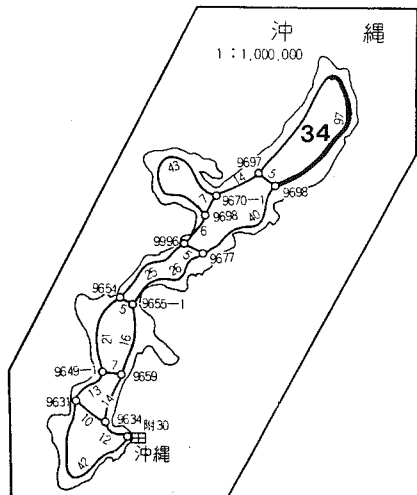
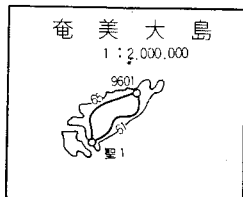
### 3. 水準点変動図の説明

- (1) 変動量はすべて水準点間の新観測比高から、旧観測比高を減じた値を、仮不動点を基準にして累加したものである。
- (2) 変動図中、再設、傾斜改埋等のため比較不能のものについては、点線で示し、それらが図の両端にあるときは空白とした。
- (3) 前回観測から今回観測の間に移転改埋をした点は白ぬきで表示した。
- (4) 昭和39年度から、建設省道路局長と国土地理院長との覚書により、道路管理者の設けた地点標の1 km毎に、併設した一等水準点（道路水準点）には、001-181のような番号をつけている。

# 一等水準路線図

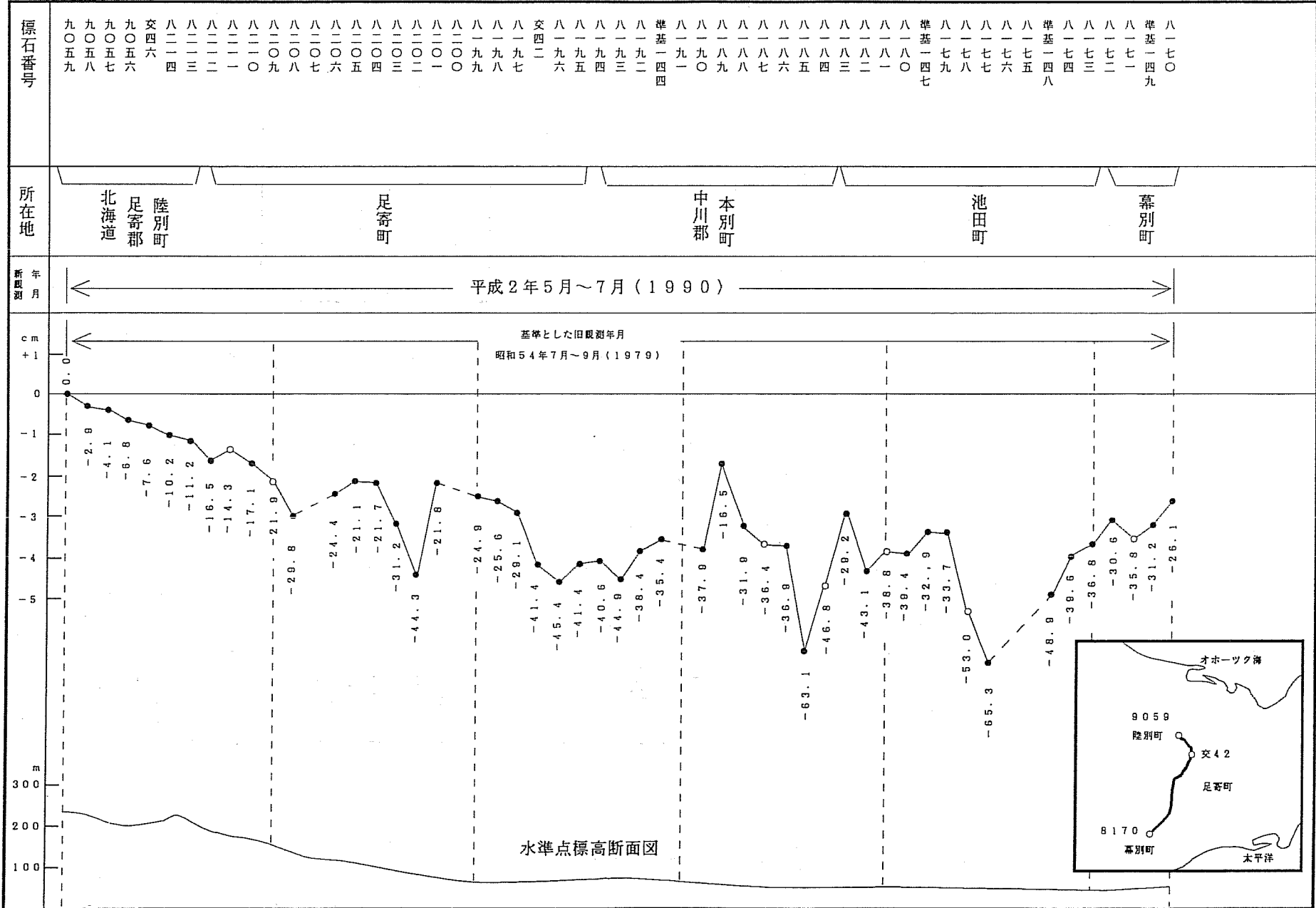
1 : 3,000,000  
50K 0 50 100K

田：験潮場

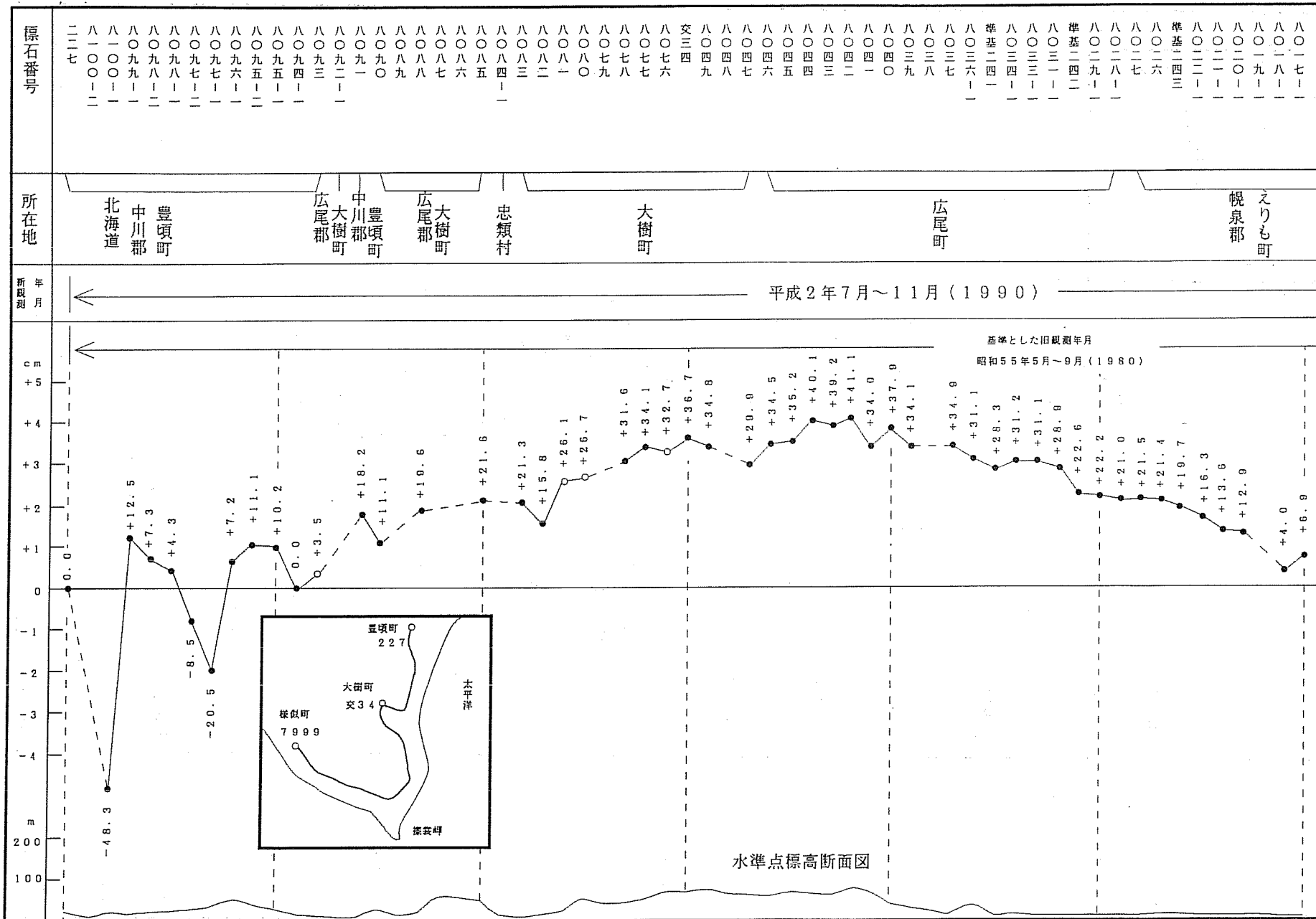


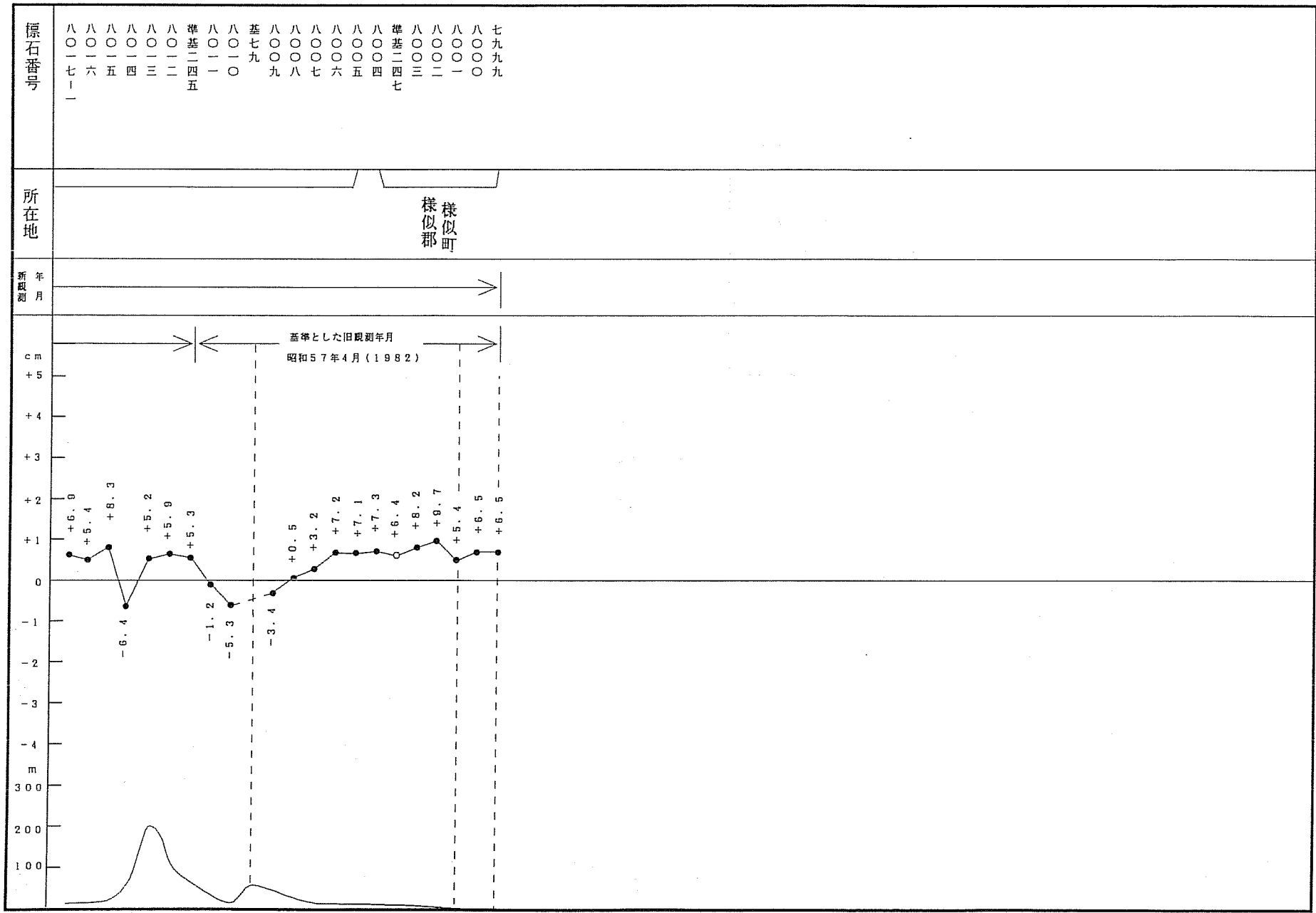


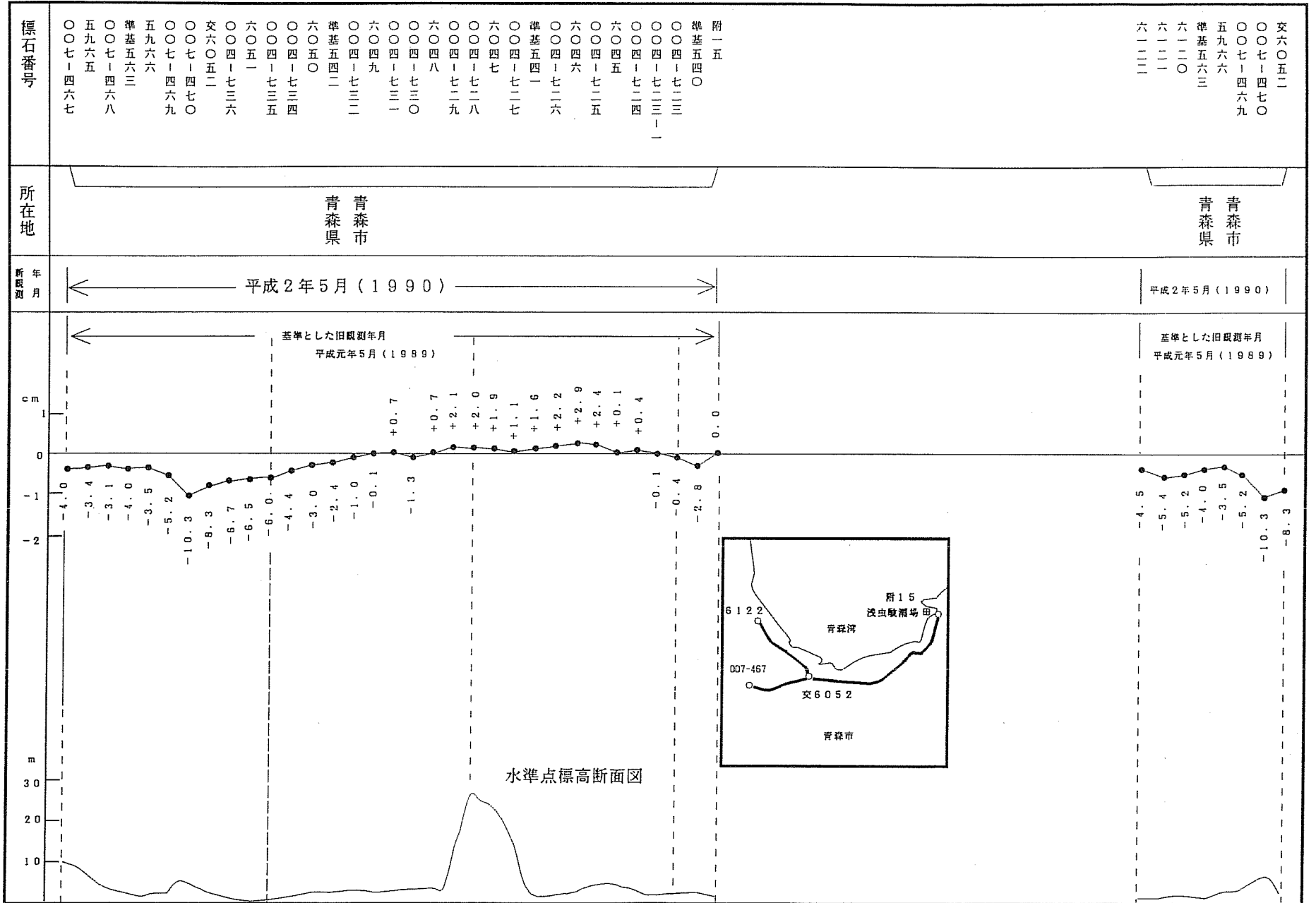
2-1 自 北海道足寄郡陸別町 至 北海道中川郡幕別町



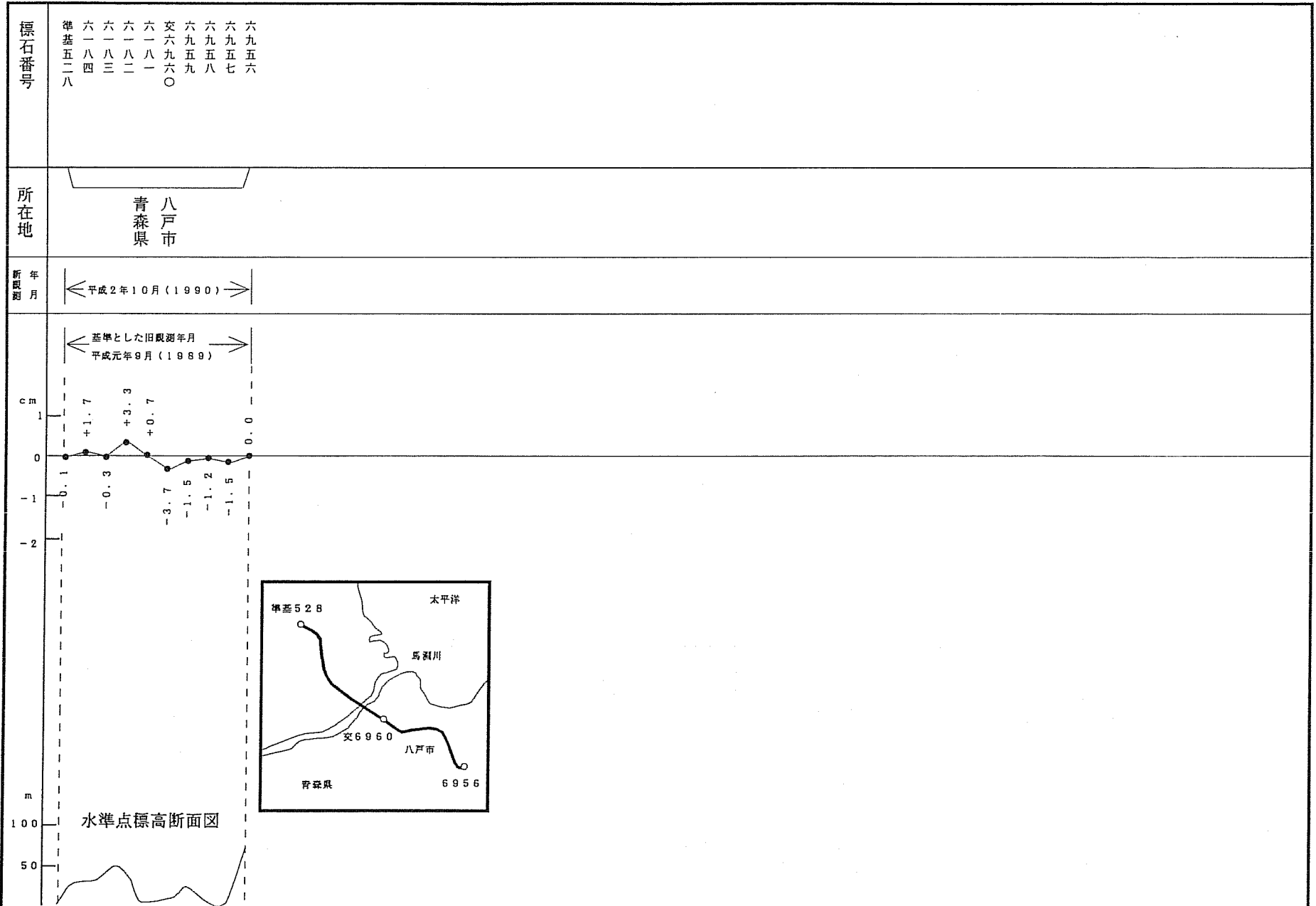
2-2 自 北海道中川郡豊頃町 至 北海道様似郡様似町

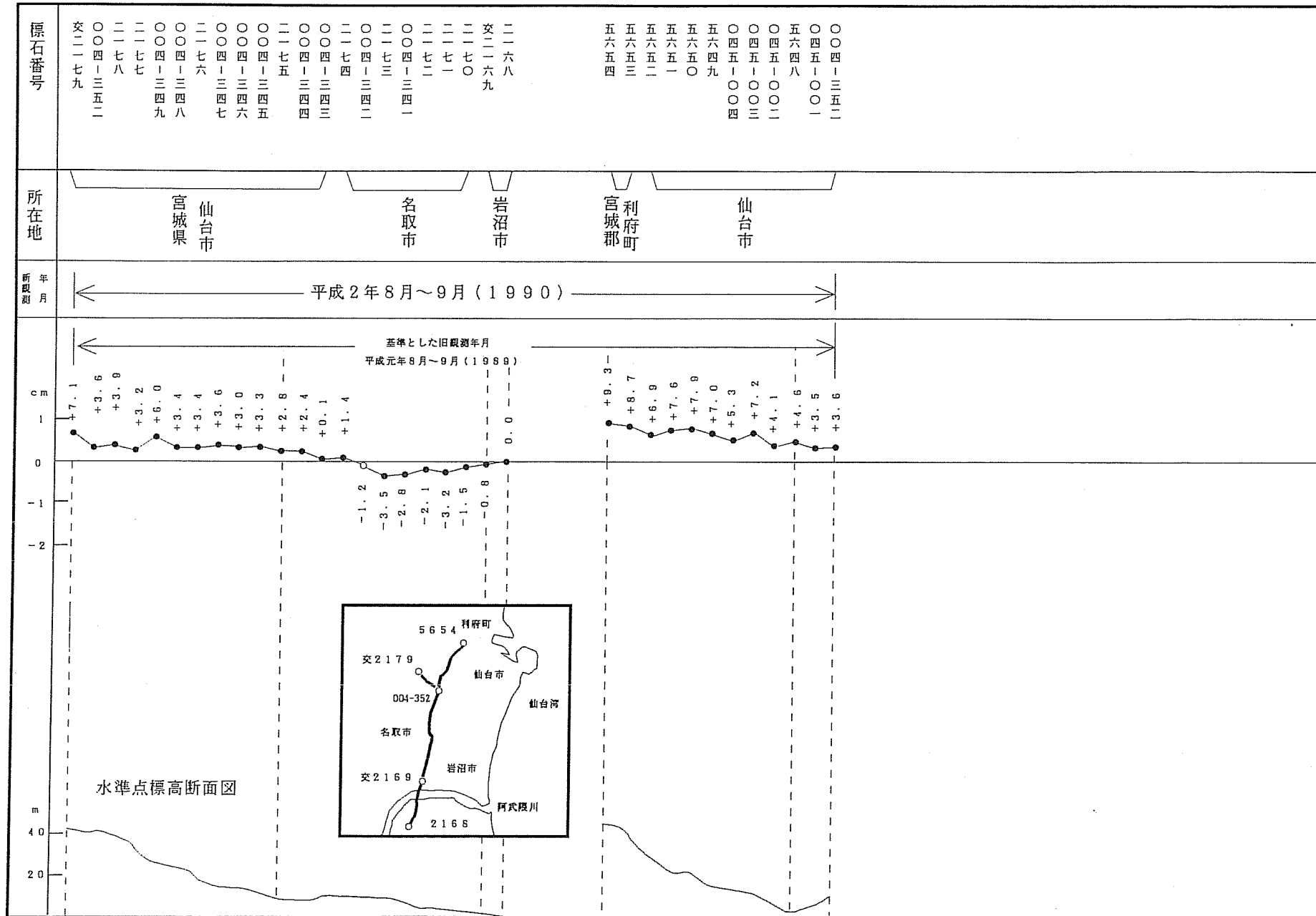


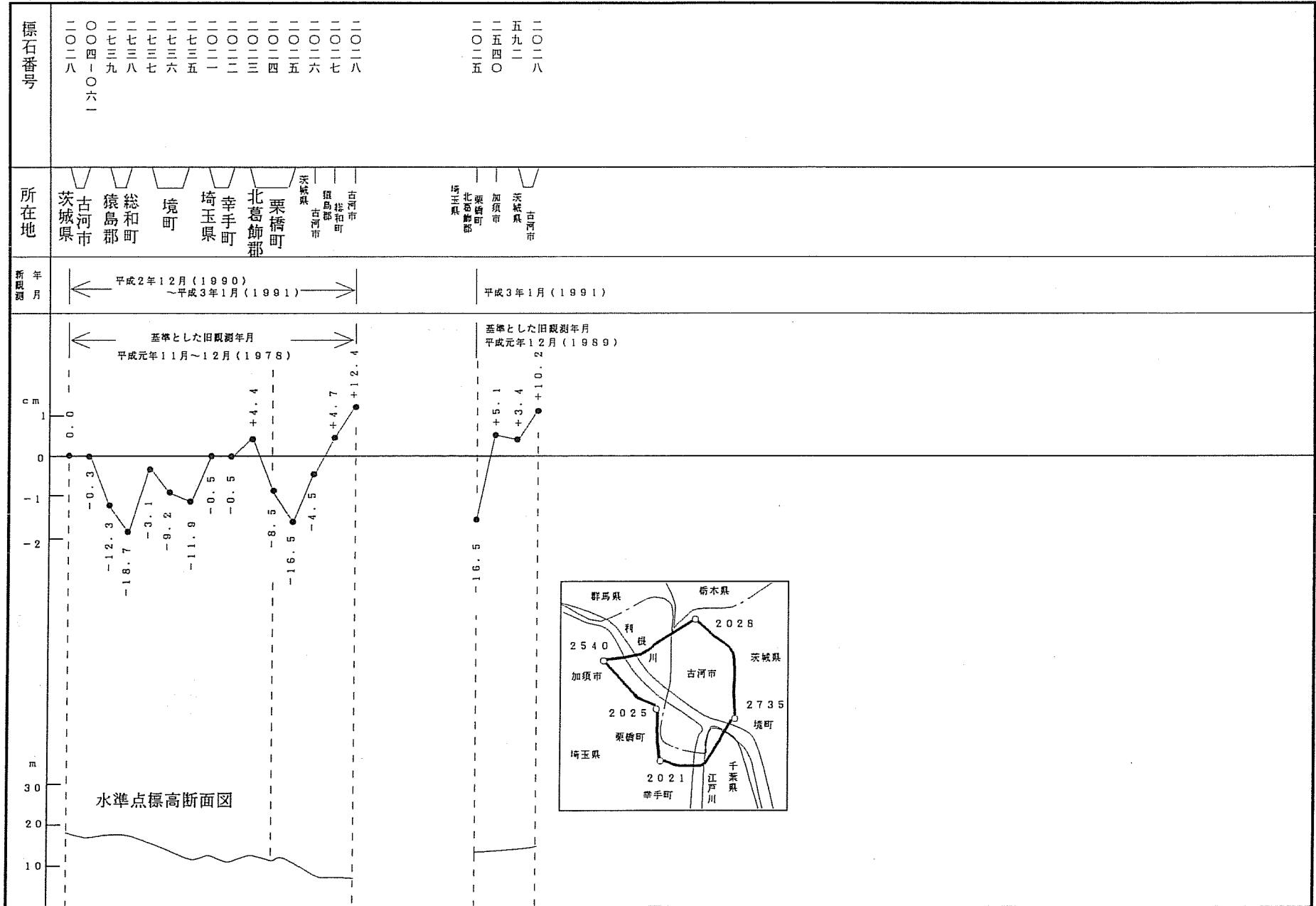


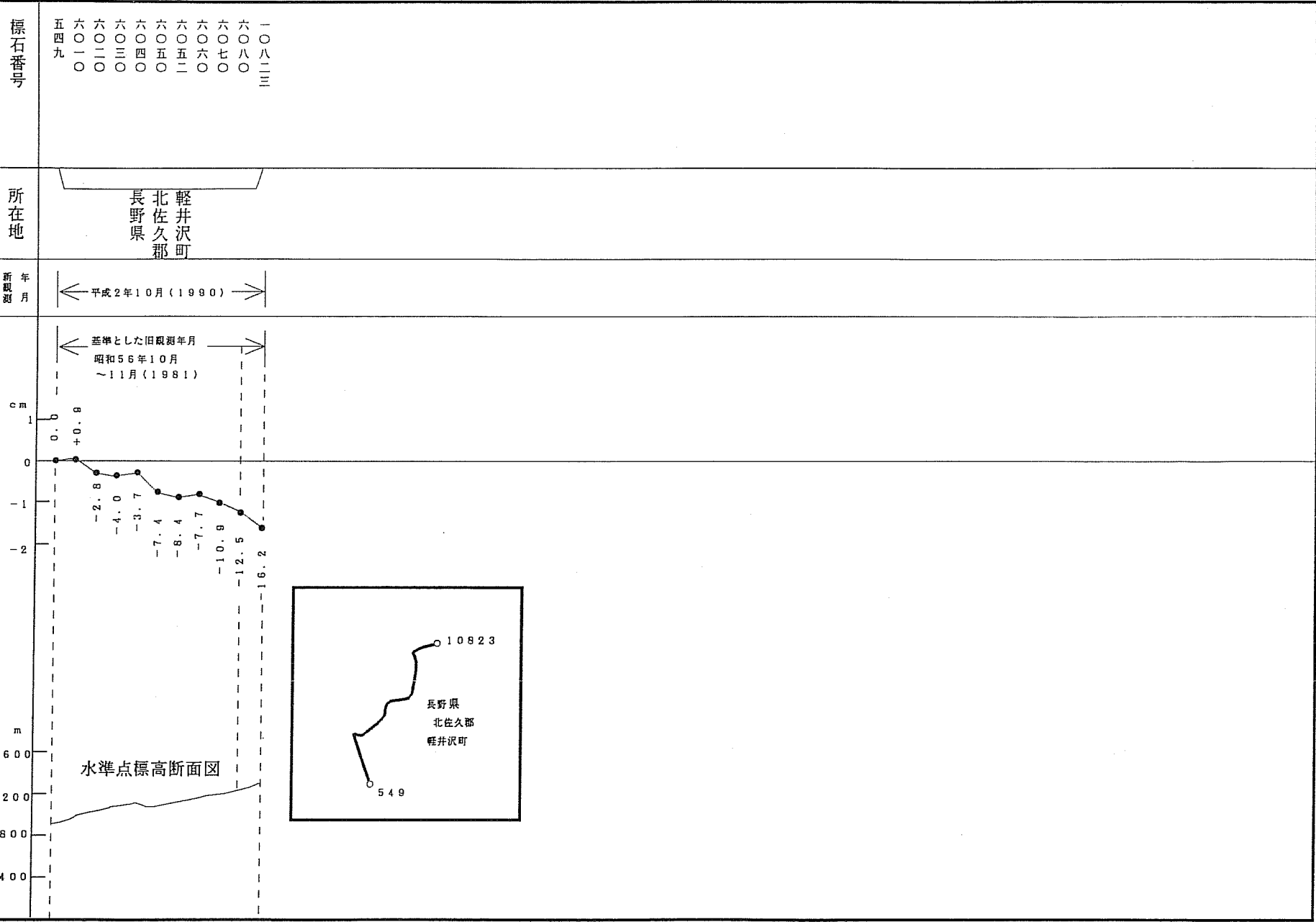


2-4 青森県八戸市



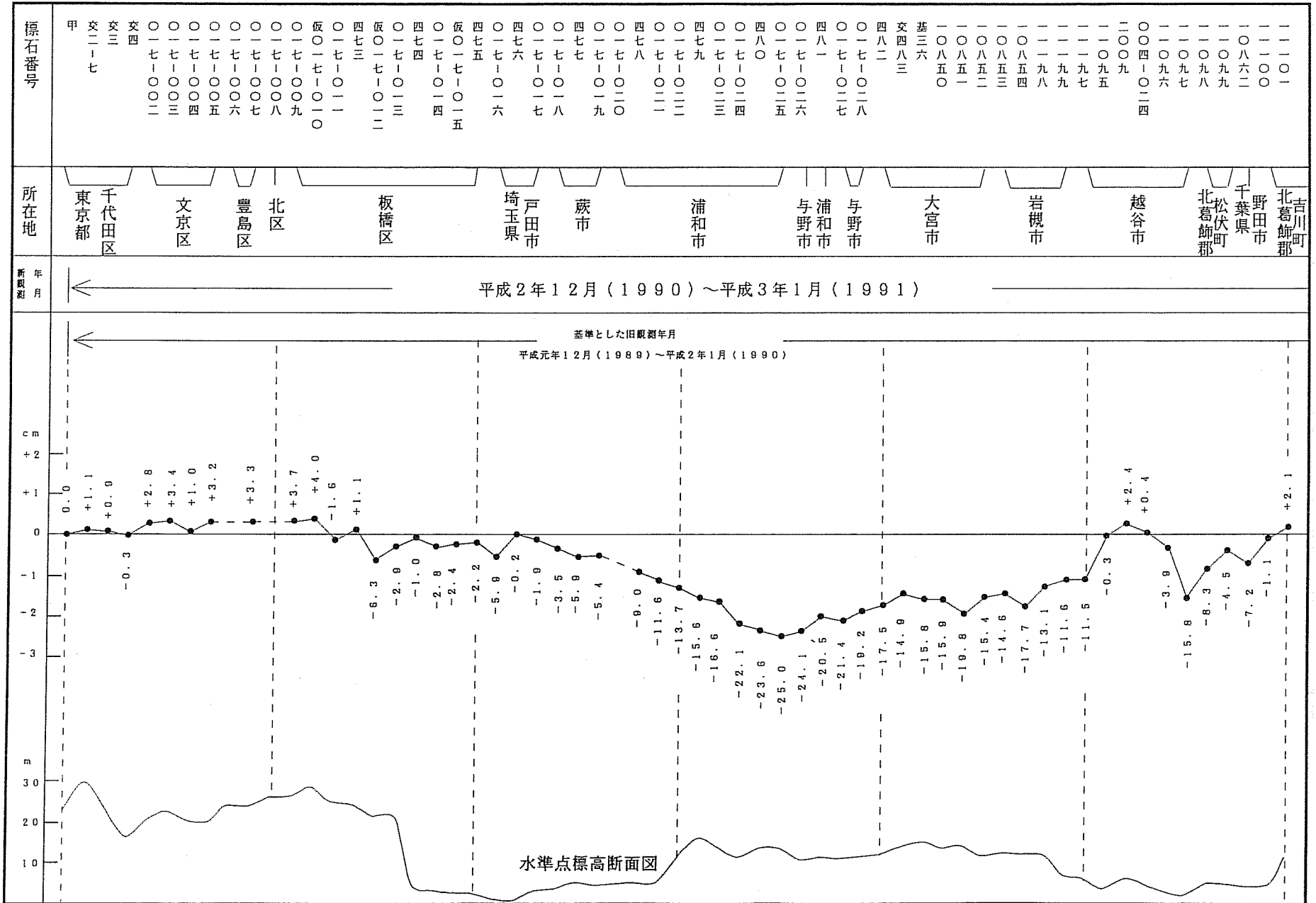








2-8 自 東京都千代田区 至 千葉県船橋市



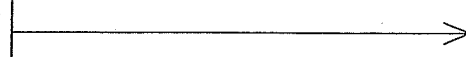
標石番号

-  
-  
-  
-  
-  
-  
-  
-  
-  
-  
-  
-  
-  
-  
交三三七〇  
三三七一  
三三七二  
三三七三  
三三七四  
三三七五  
三三七六  
三三七七  
三三八一  
三三八二  
三三八三  
三三八四  
三三八五

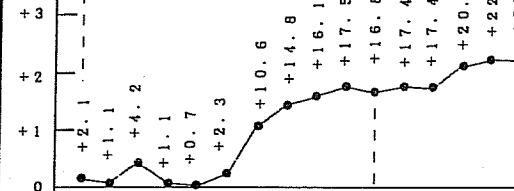
所在地

三郷市  
 東京都  
 葛飾区  
 千葉県  
 松戸市  
 市川市  
 船橋市

年月

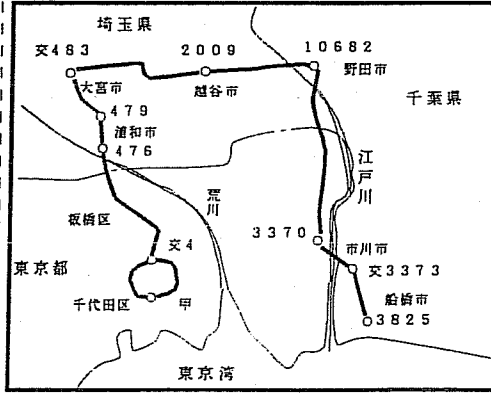
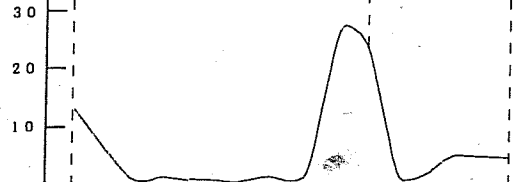


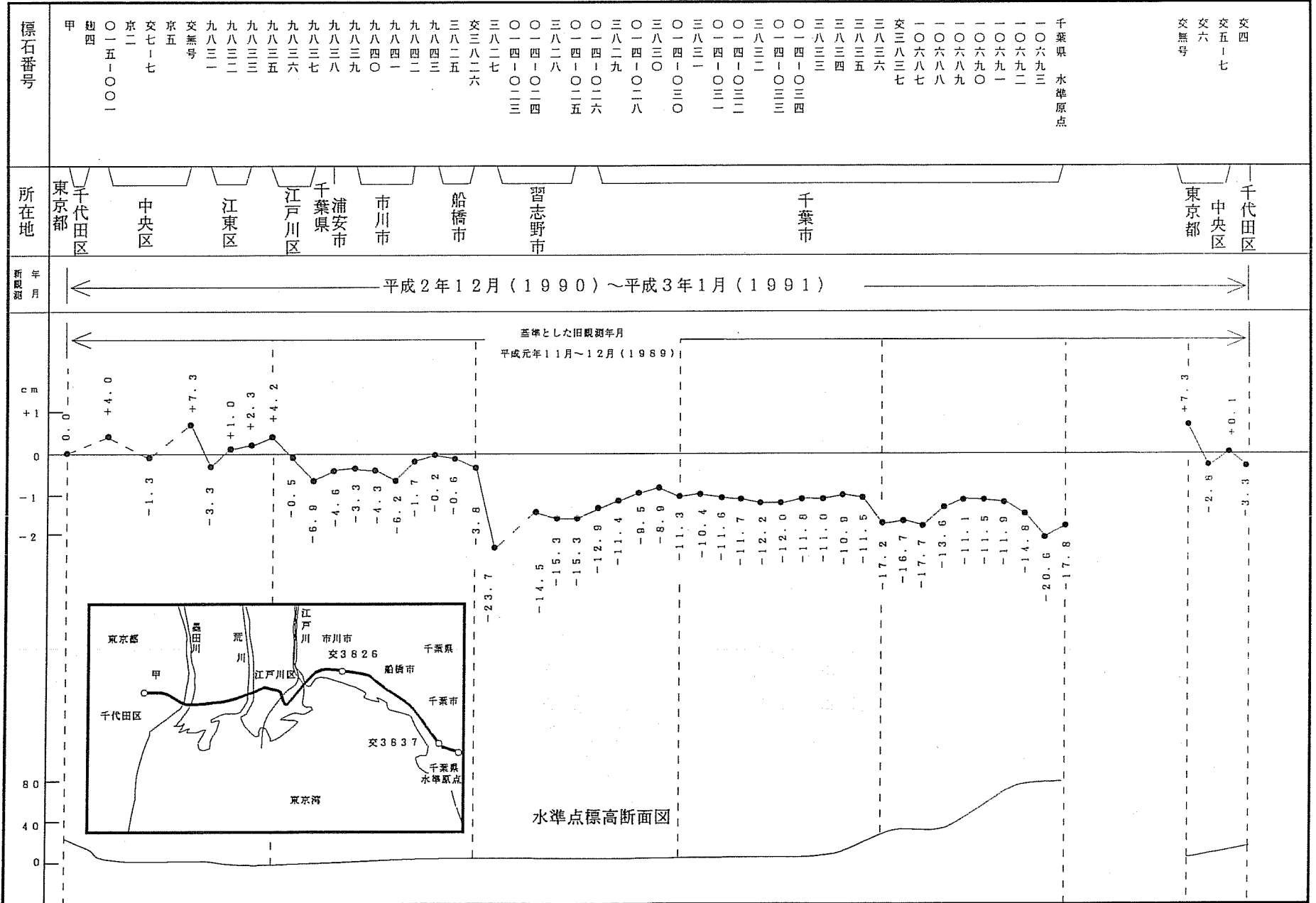
cm



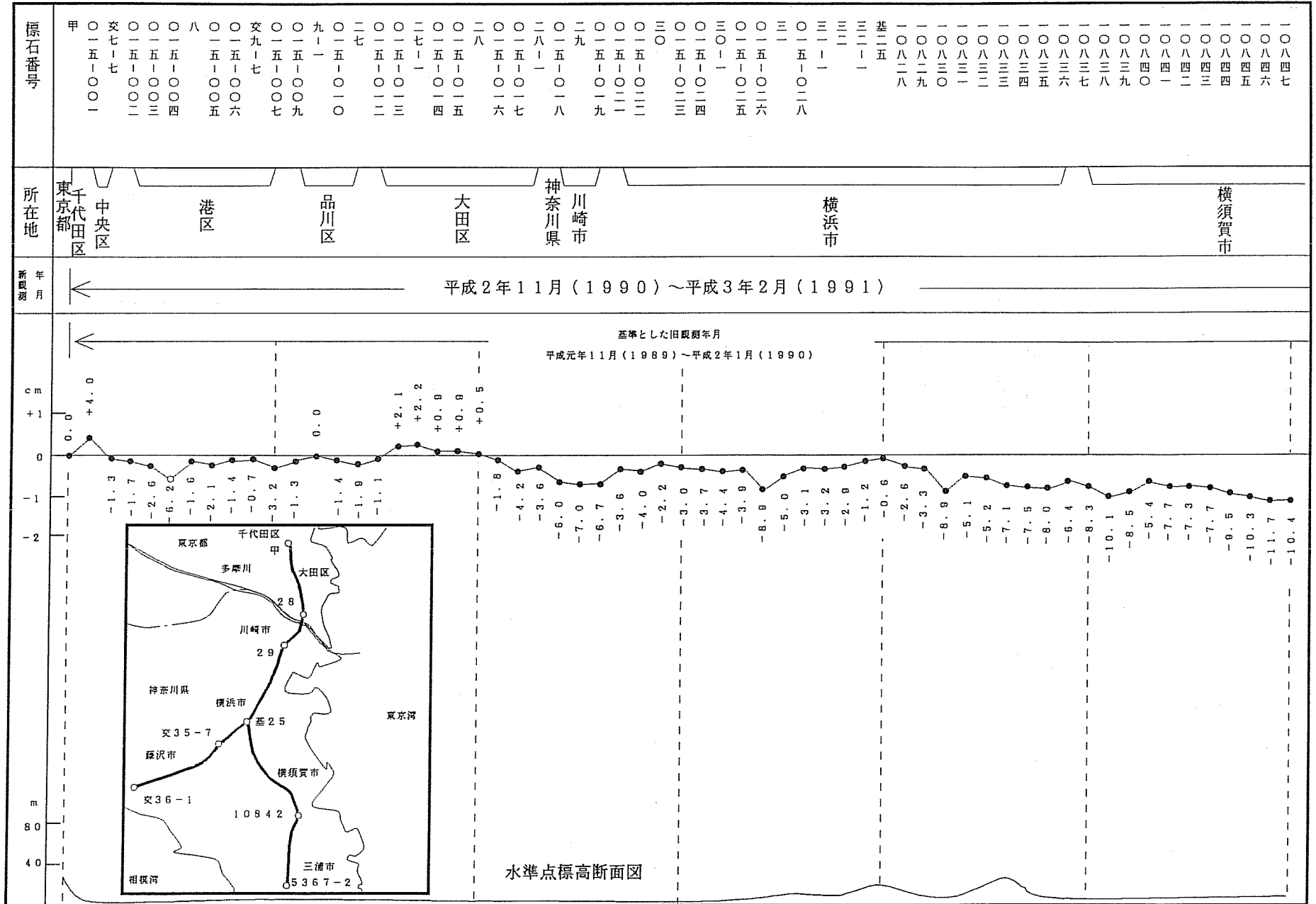
m

水準点標高断面図

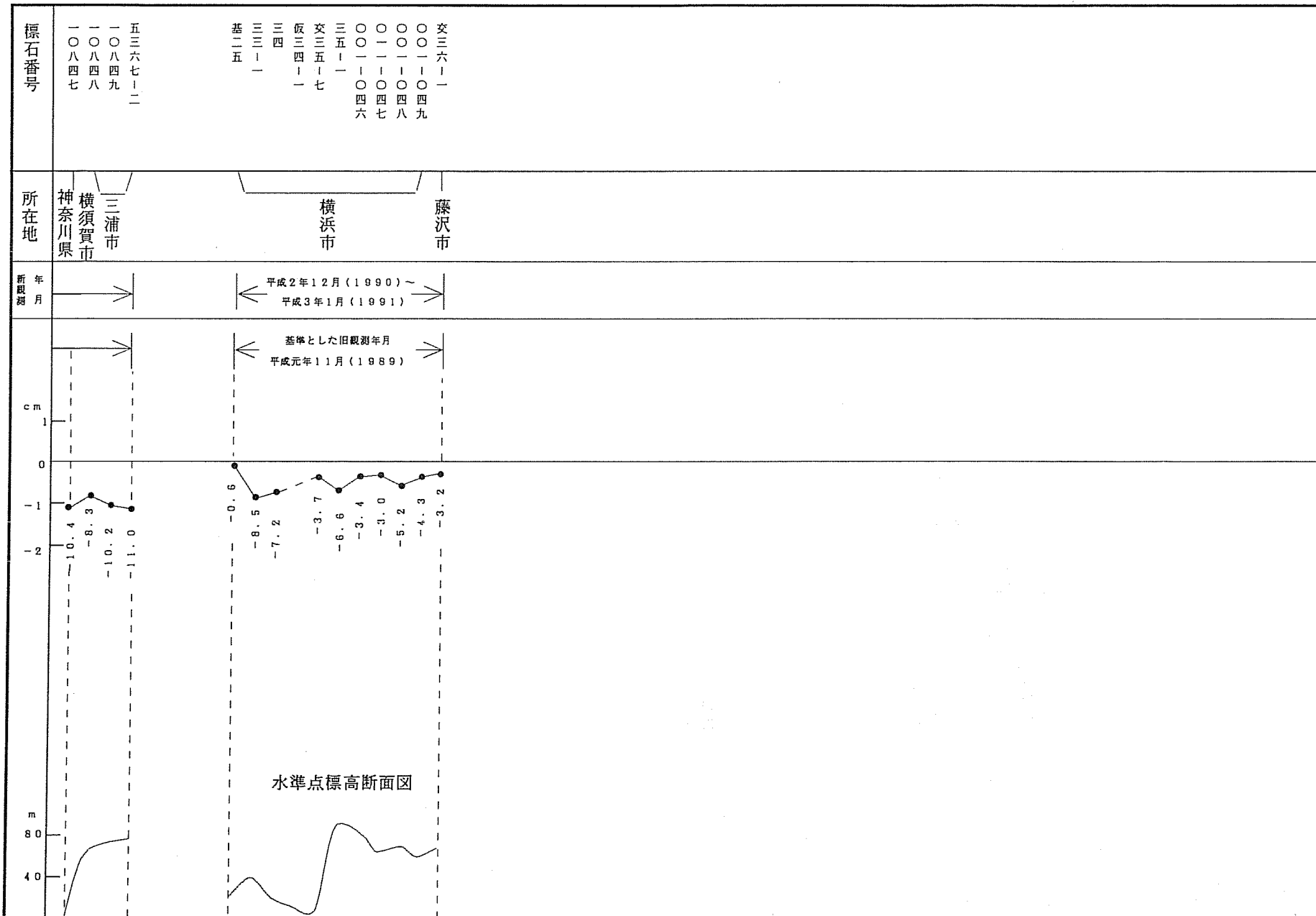




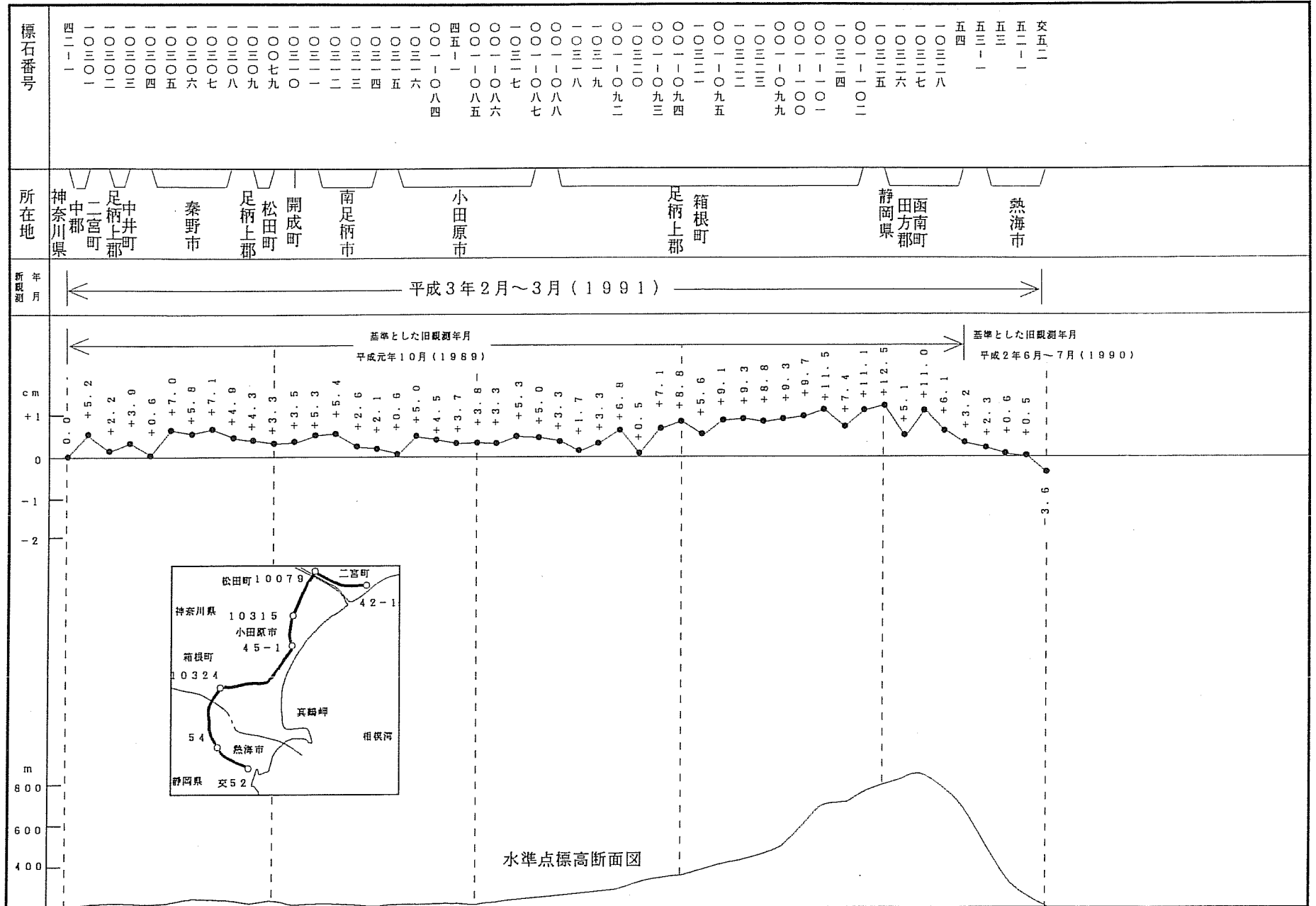
2-10 自 東京都千代田区 至 神奈川県三浦市



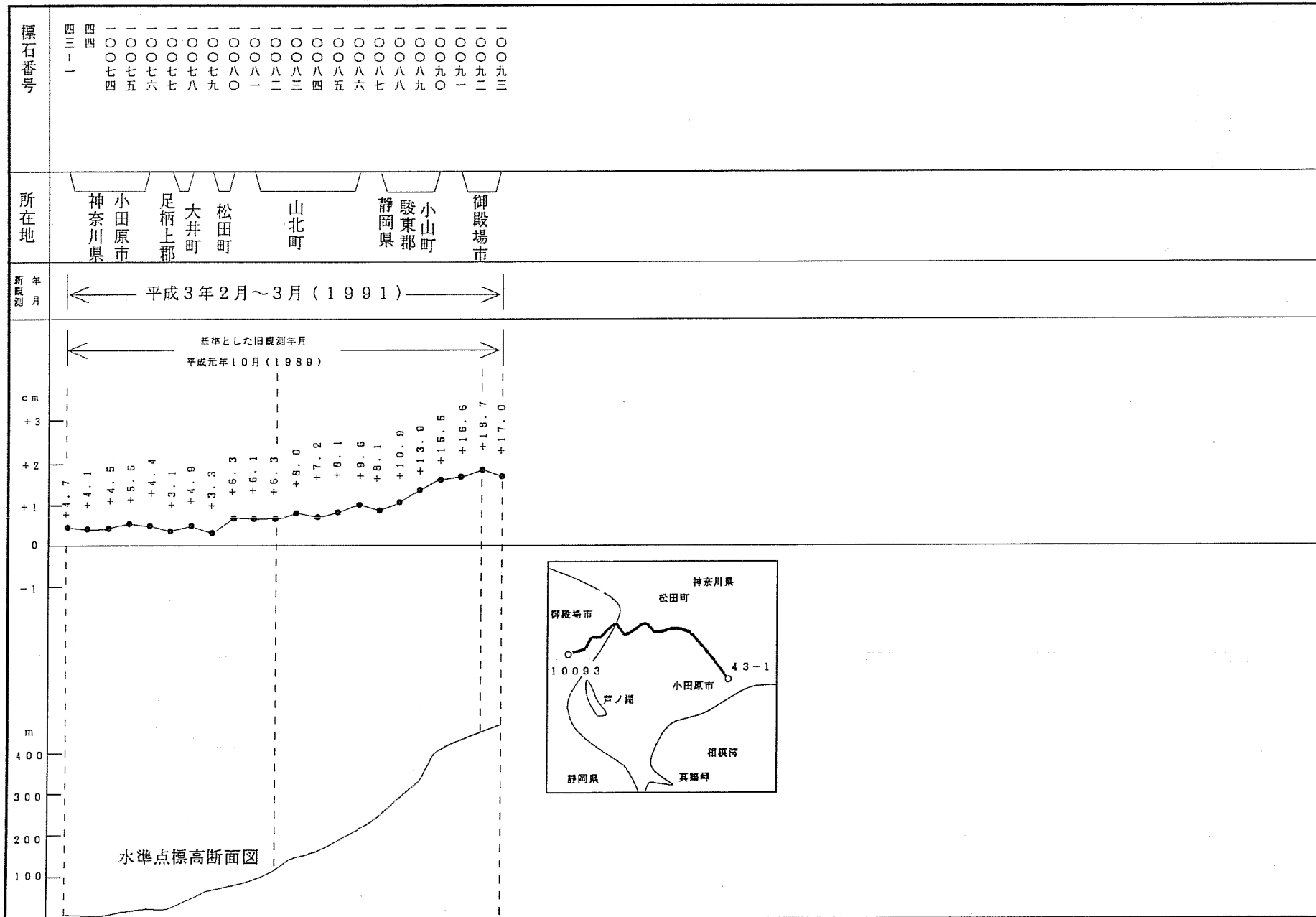
自 神奈川県横浜市 至 神奈川県藤沢市



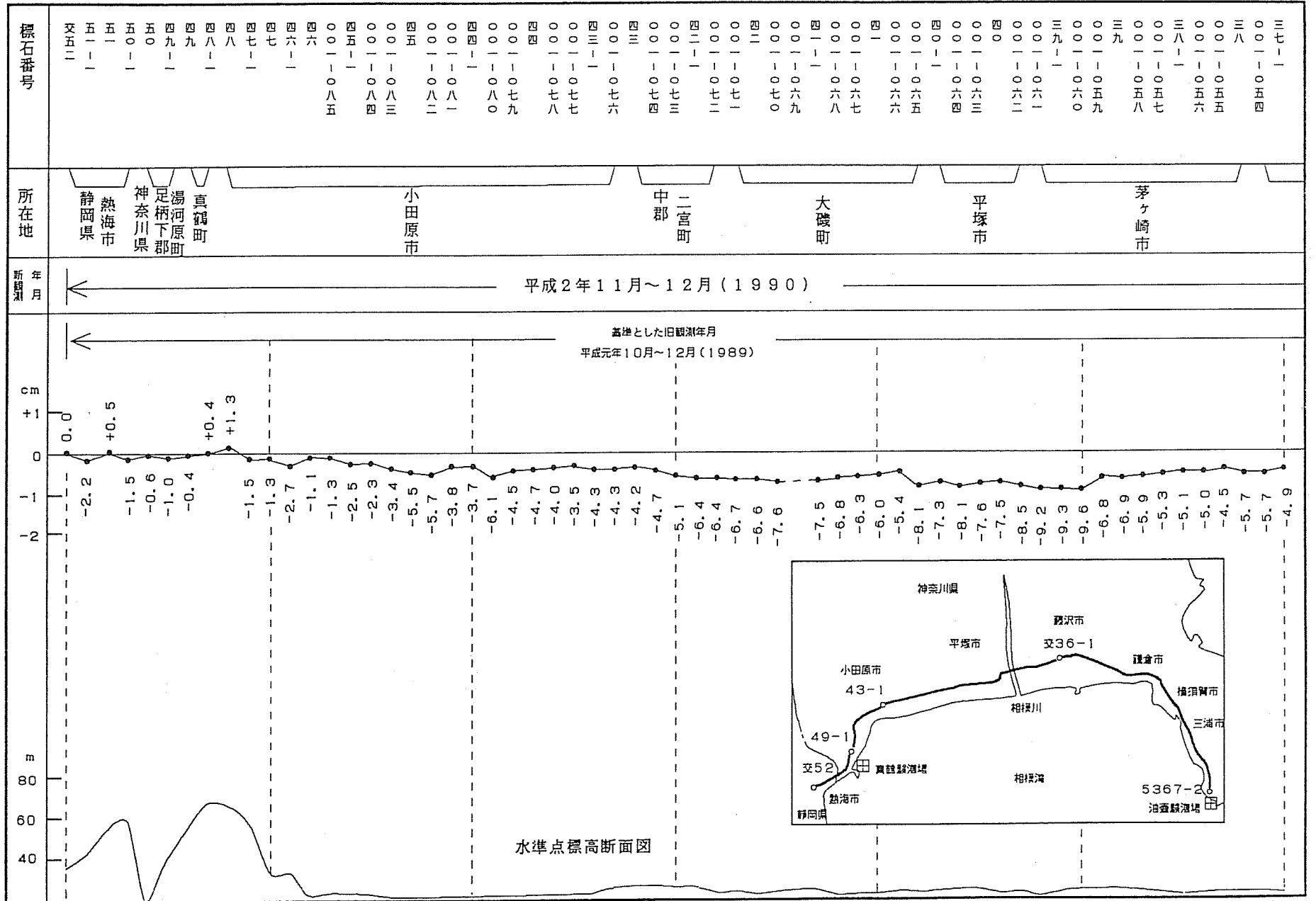
2-11 自 神奈川県中郡二宮町 至 静岡県熱海市



2-11 自 神奈川県小田原市 至 静岡県御殿場市

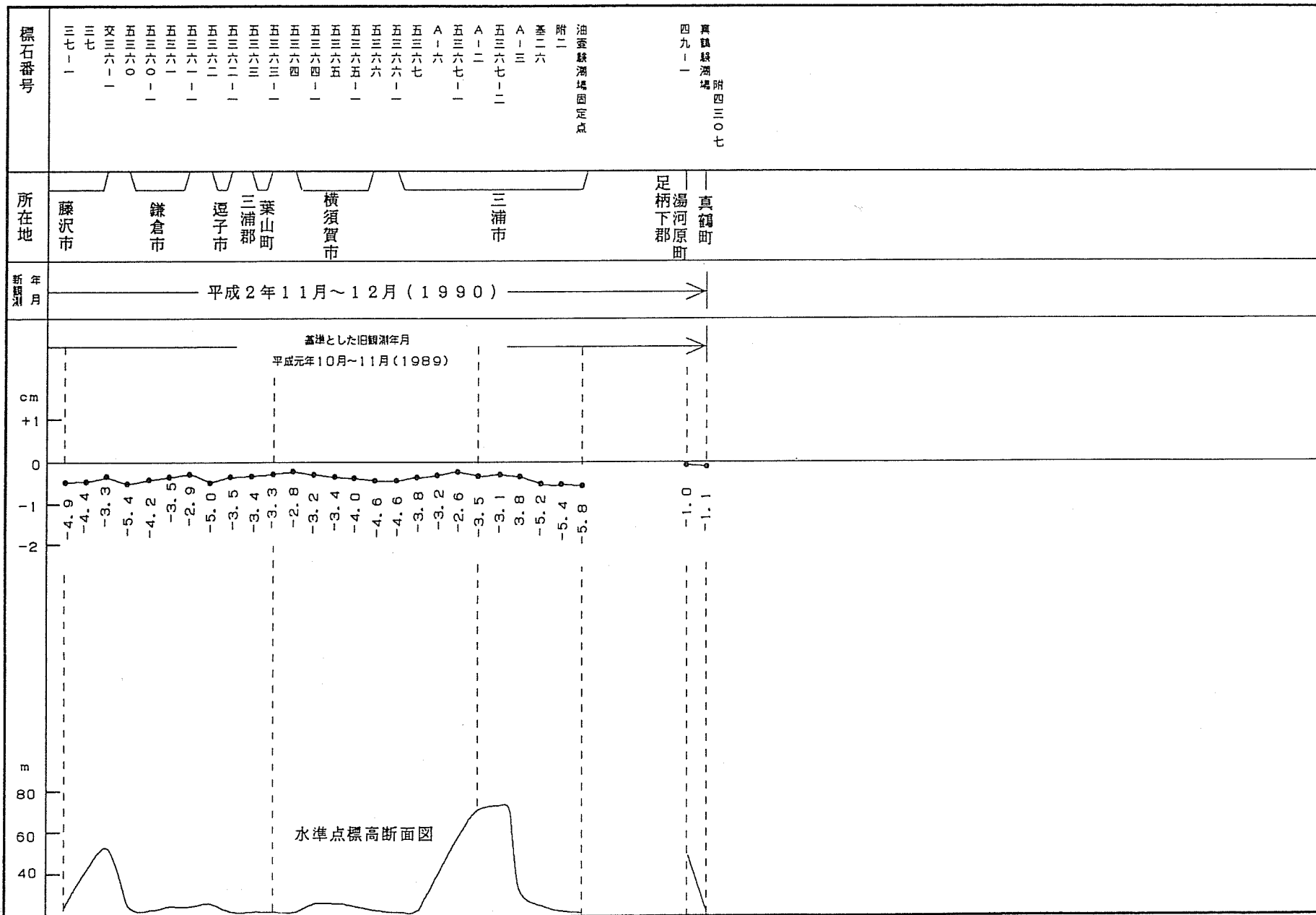


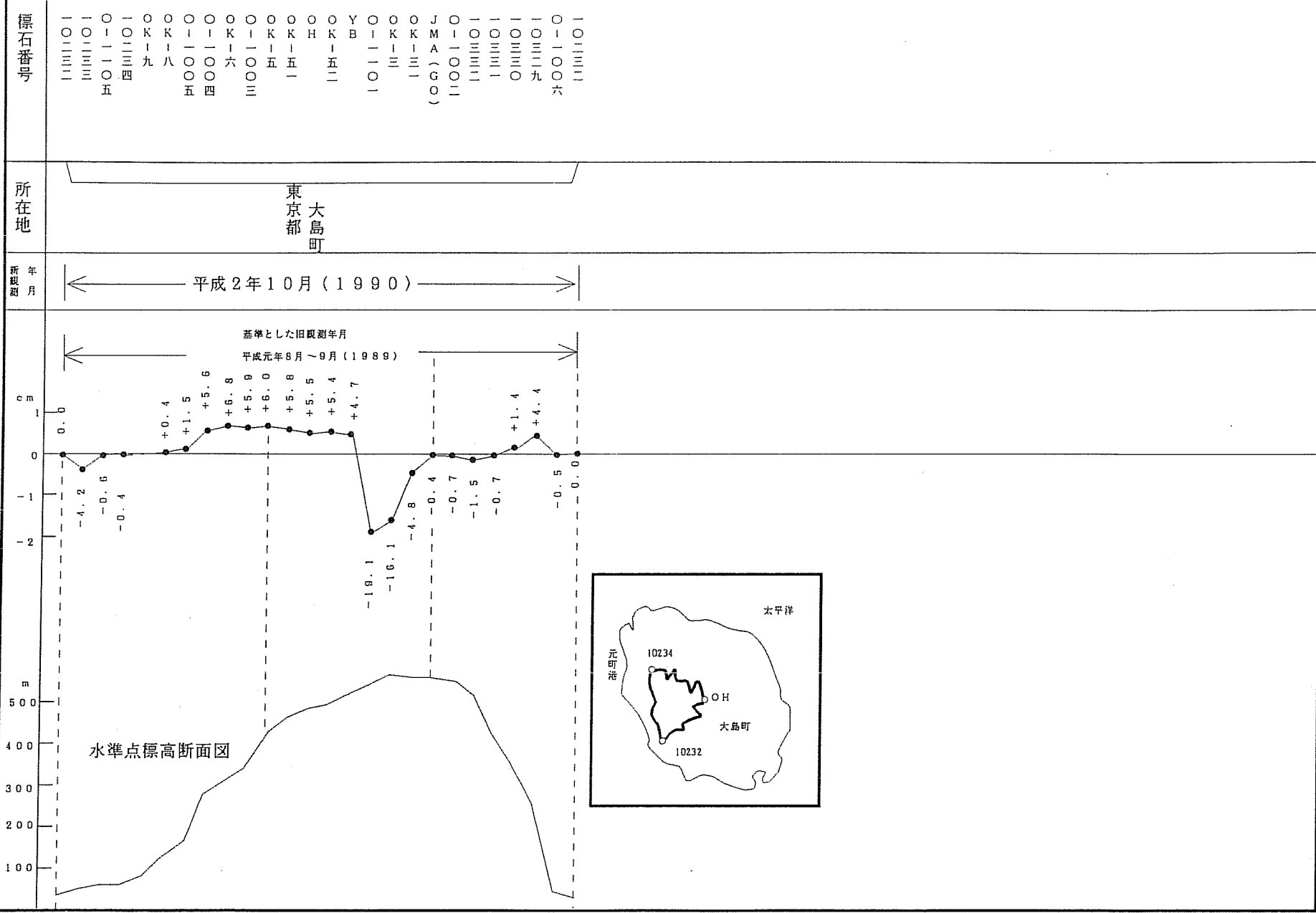
2-12 自 静岡県熱海市 至 神奈川県三浦市

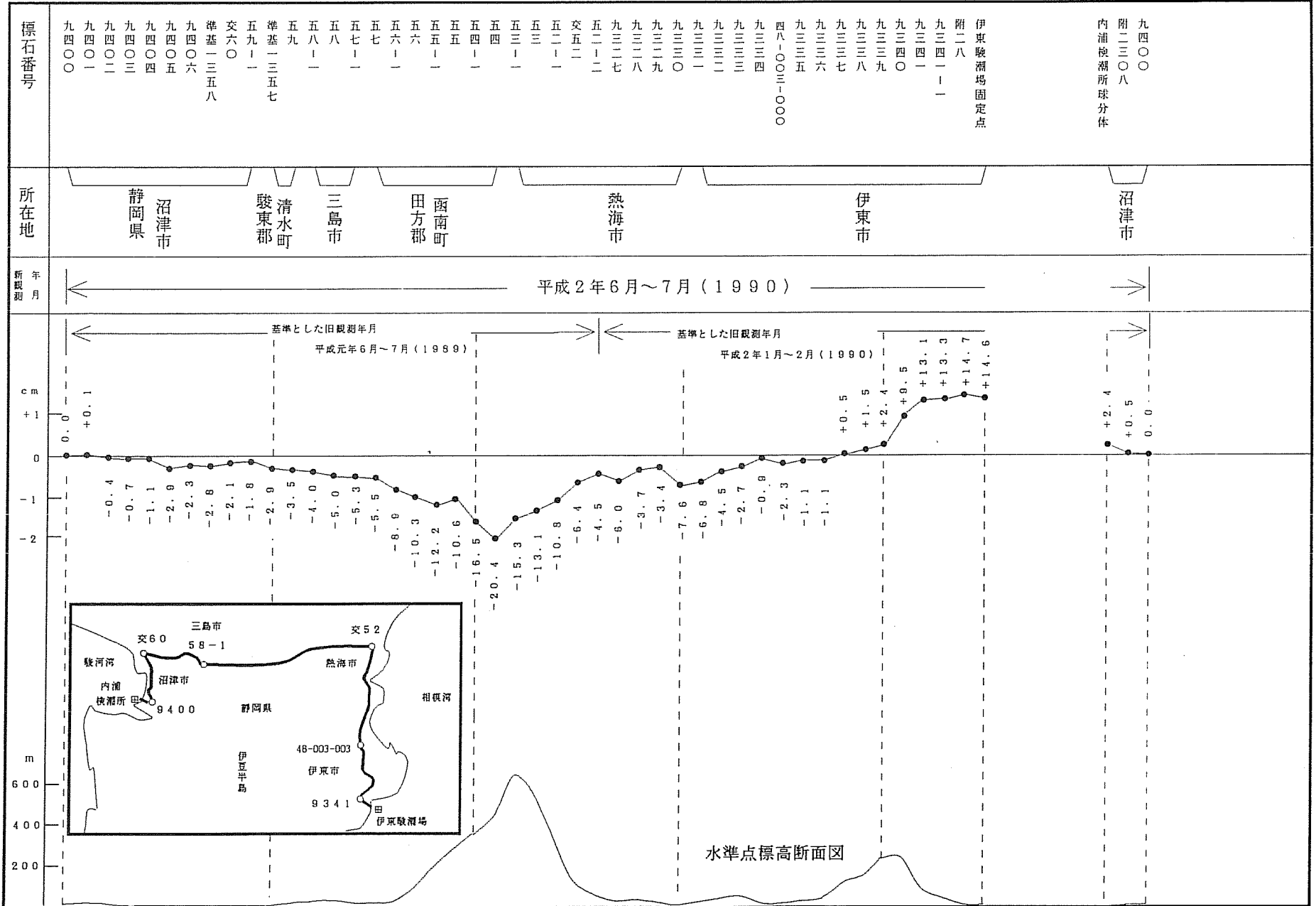




自 神奈川県足柄下郡湯河原町  
至 神奈川県足柄下郡真鶴町





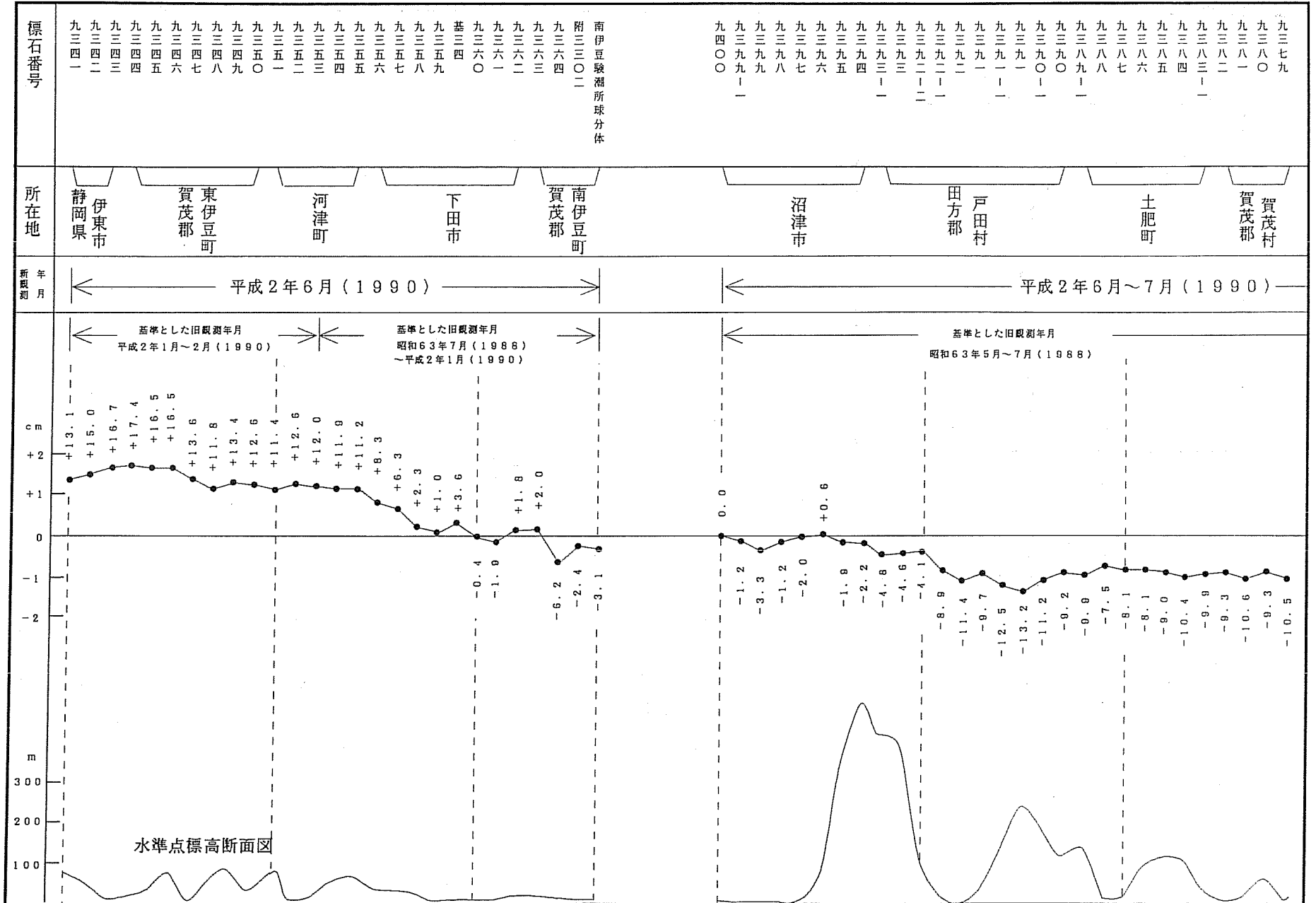






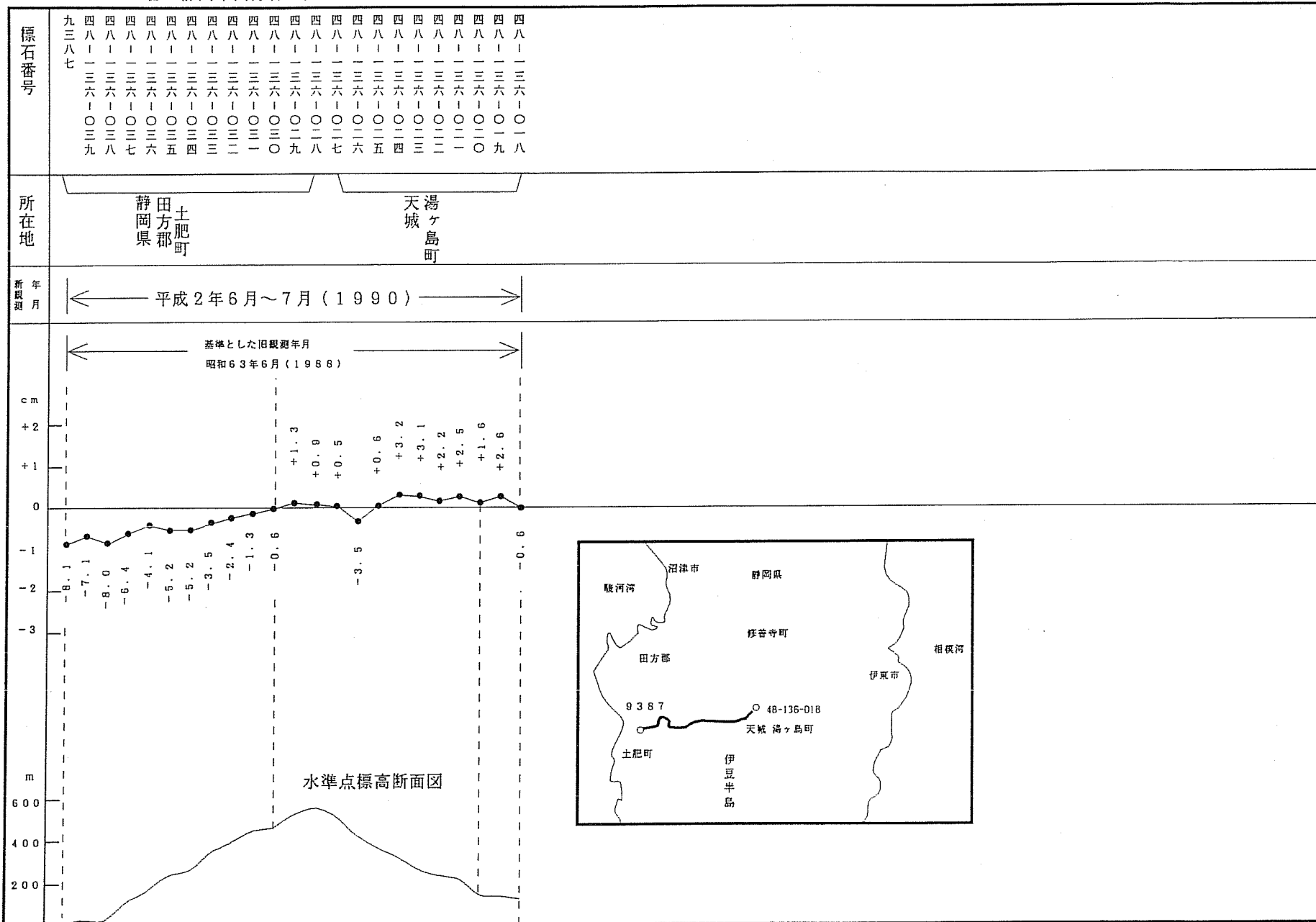
2-15-1 自 静岡県伊東市 至 静岡県賀茂郡南伊豆町

自 静岡県沼津市 至 賀茂郡南伊豆町





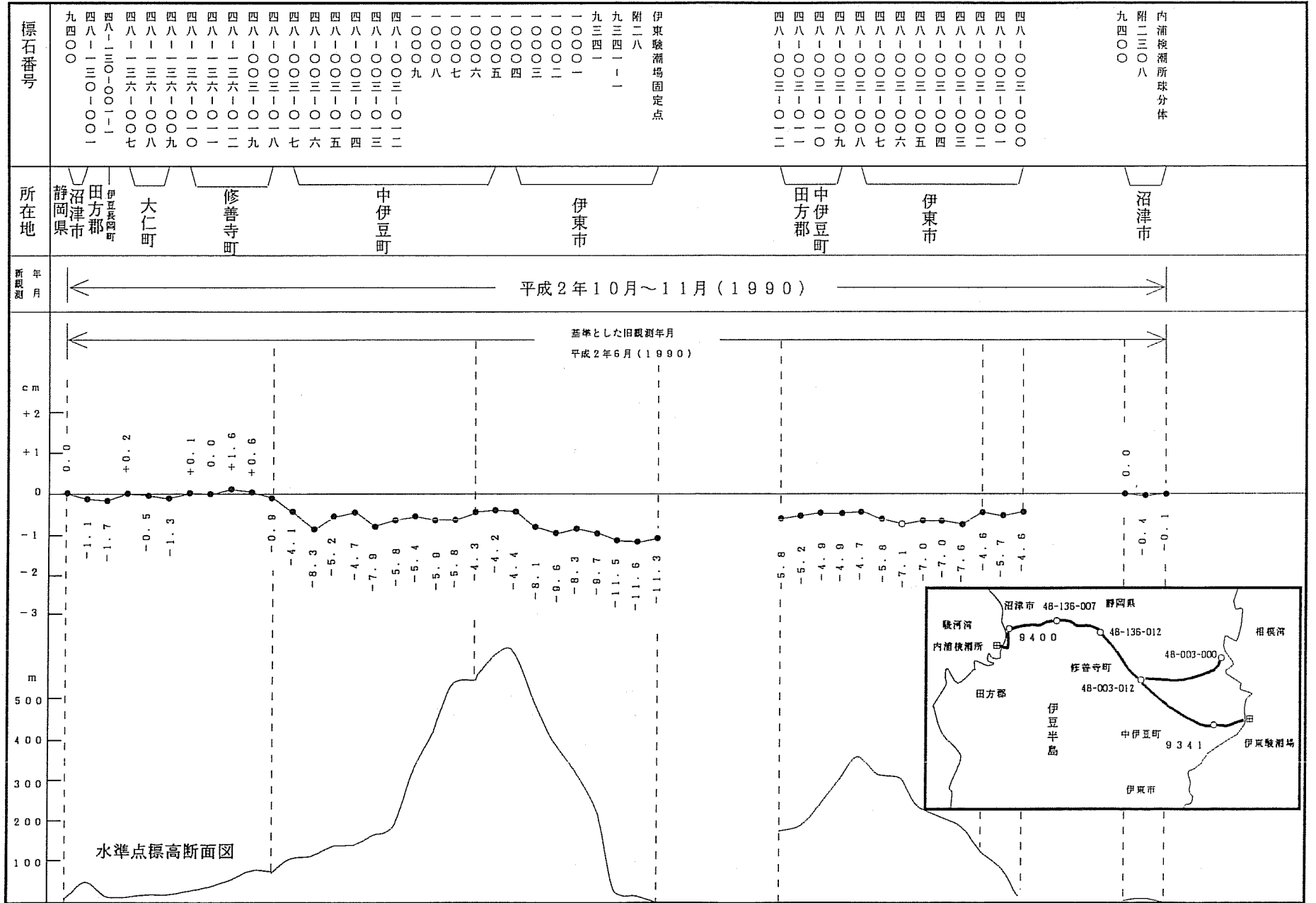
2-15-II 自 静岡県田方郡土肥町 至 田方郡天城湯ヶ島町





2-16-I 自 静岡県沼津市 至 静岡県伊東市

自 静岡県田方郡中伊豆町 至 伊東市 沼津市

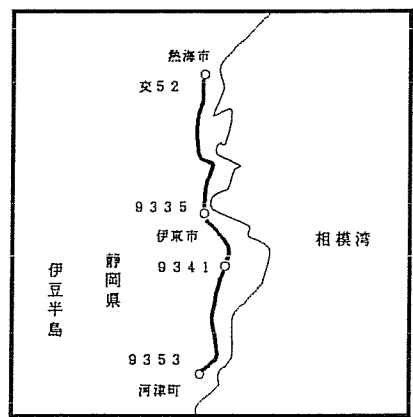
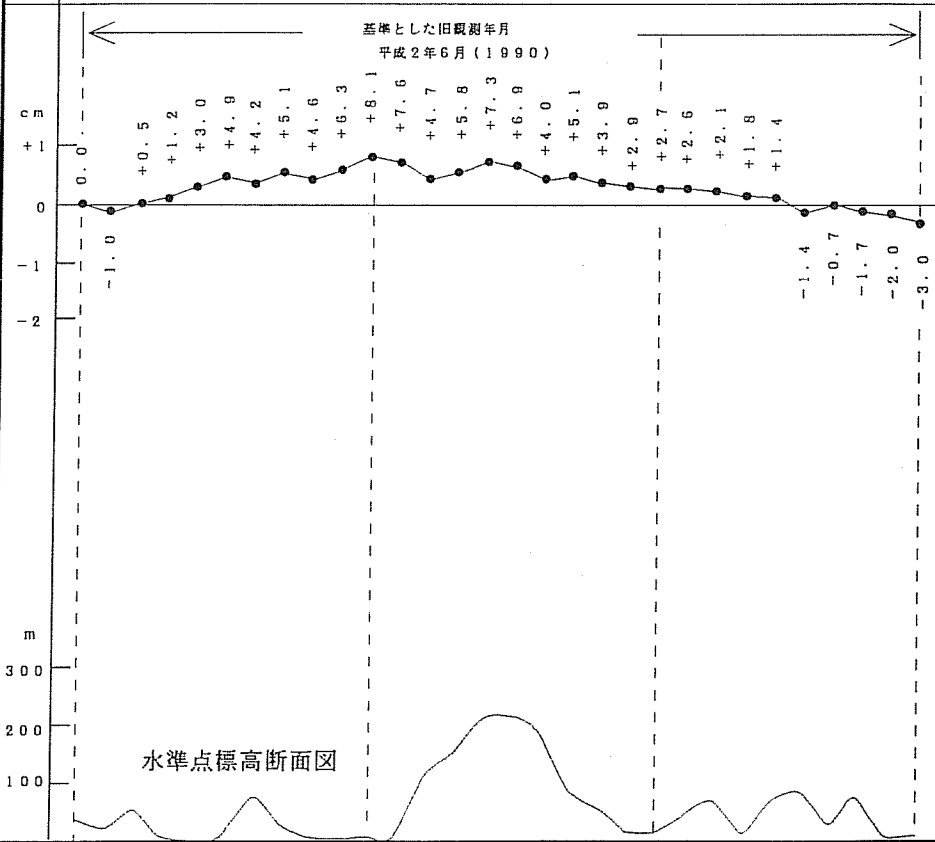


2-16-II 自 静岡県熱海市 至 静岡県賀茂郡河津町

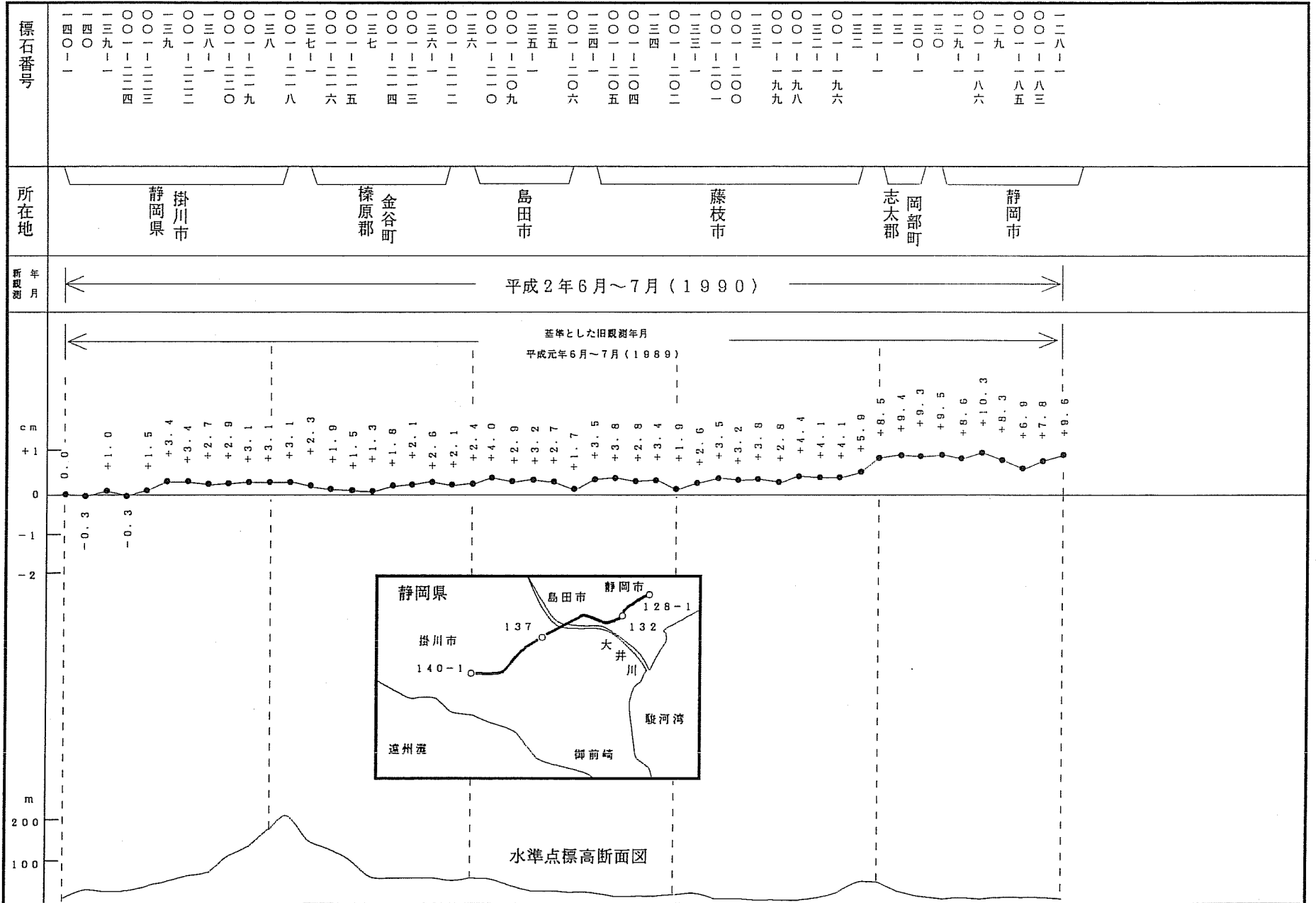
標石番号	交五二 五一二 九三二七 九三二八 九三二九 九三三〇 九三三一 九三三二 九三三三 九三三四 四八〇〇三 四八〇〇四 九三三五 九三三六 九三三七 九三三八 九三三九 九三四〇 九三四一 九三四二 九三四三 九三四四 九三四五 九三四六 九三四七 九三四八 九三四九 九三五〇 九三五一 九三五二 九三五三
------	--

所在地	静岡県熱海市 伊東市 賀茂郡東伊豆町 河津町
-----	---------------------------------

新設年月 ← 平成2年10月~11月(1990) →



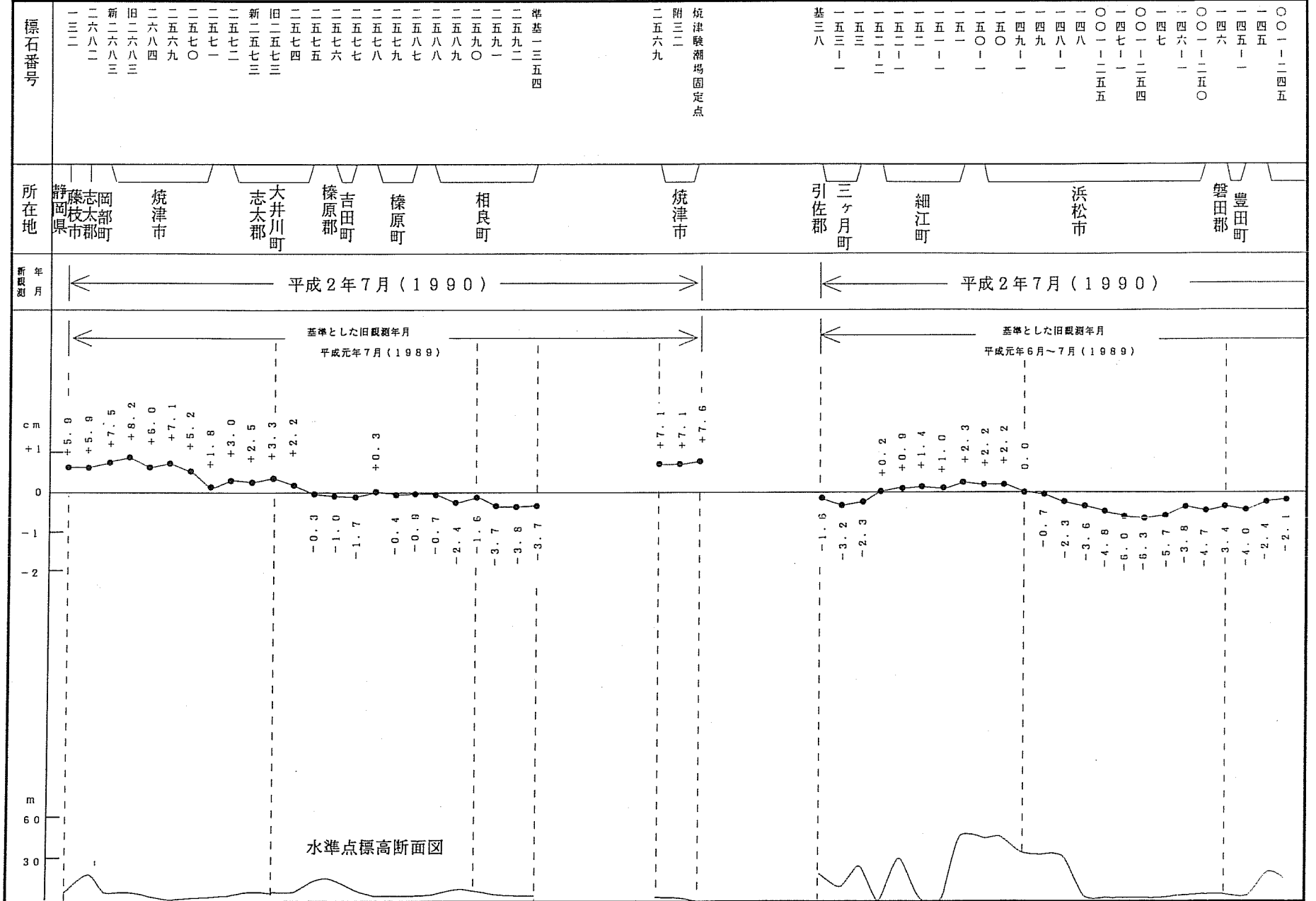
2-17-1 自 静岡県掛川市 至 静岡県静岡市

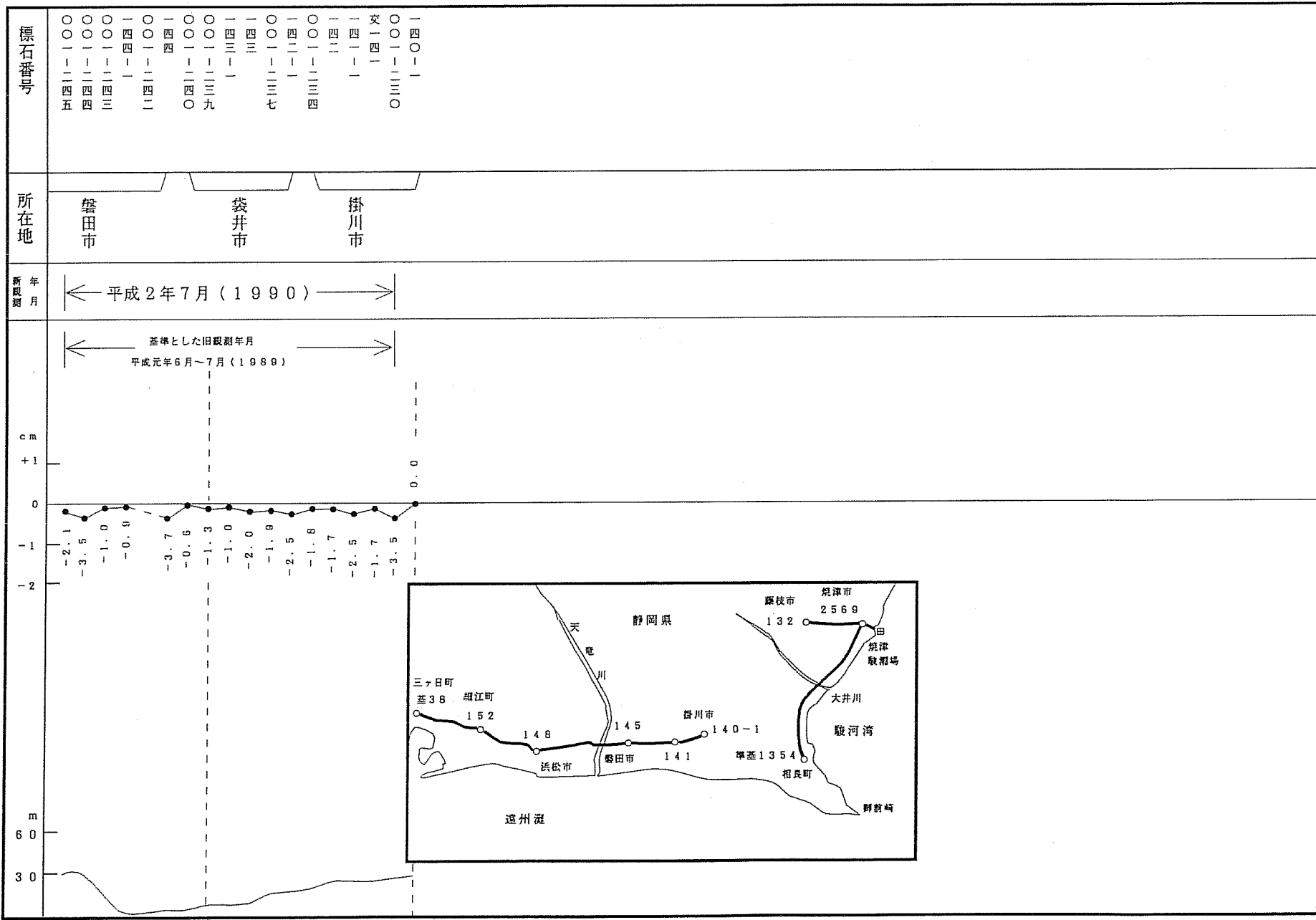


2-17-II 自 静岡県藤枝市 至 引佐郡三ヶ日町

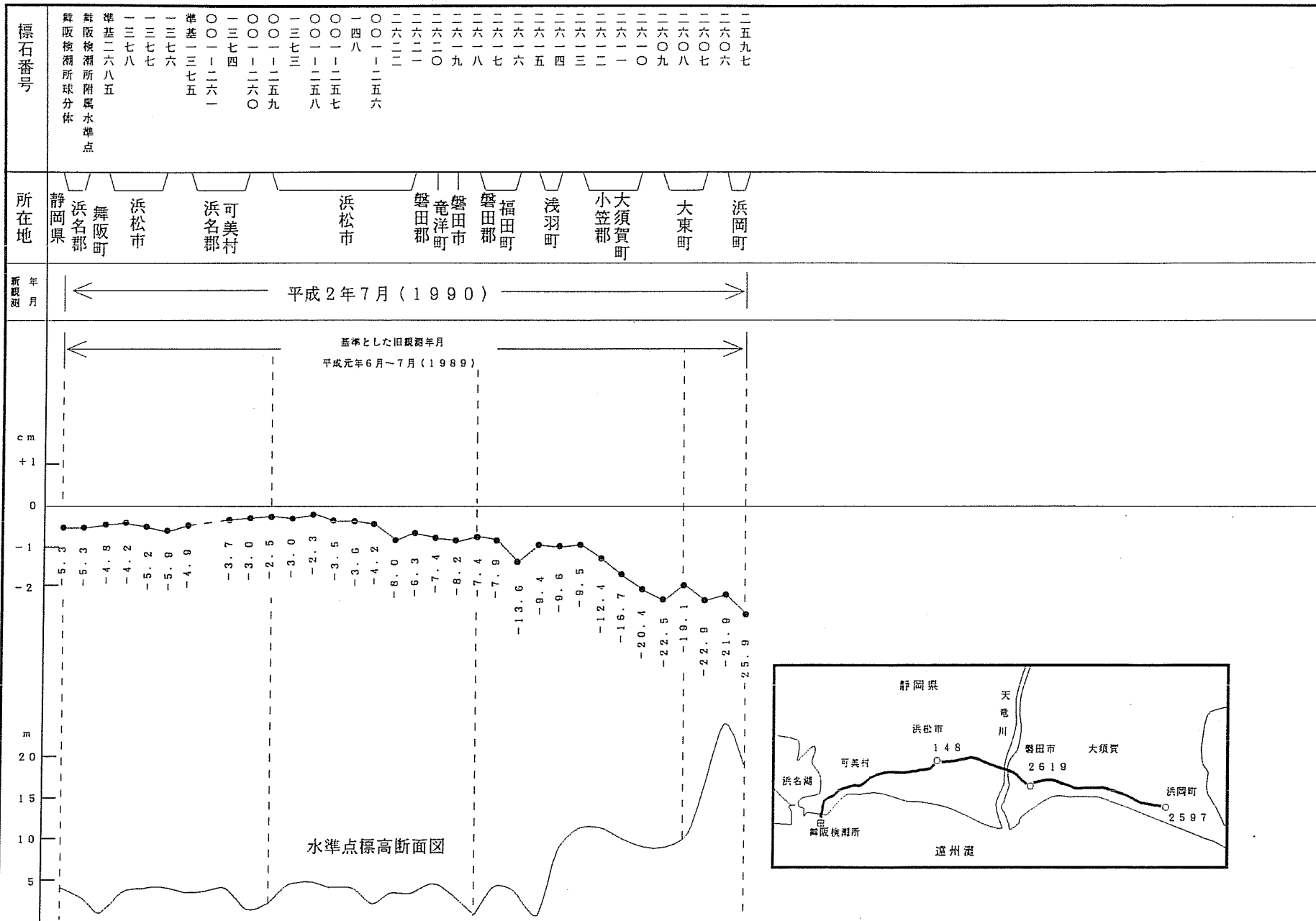
焼津

自 引佐郡 至 掛川市

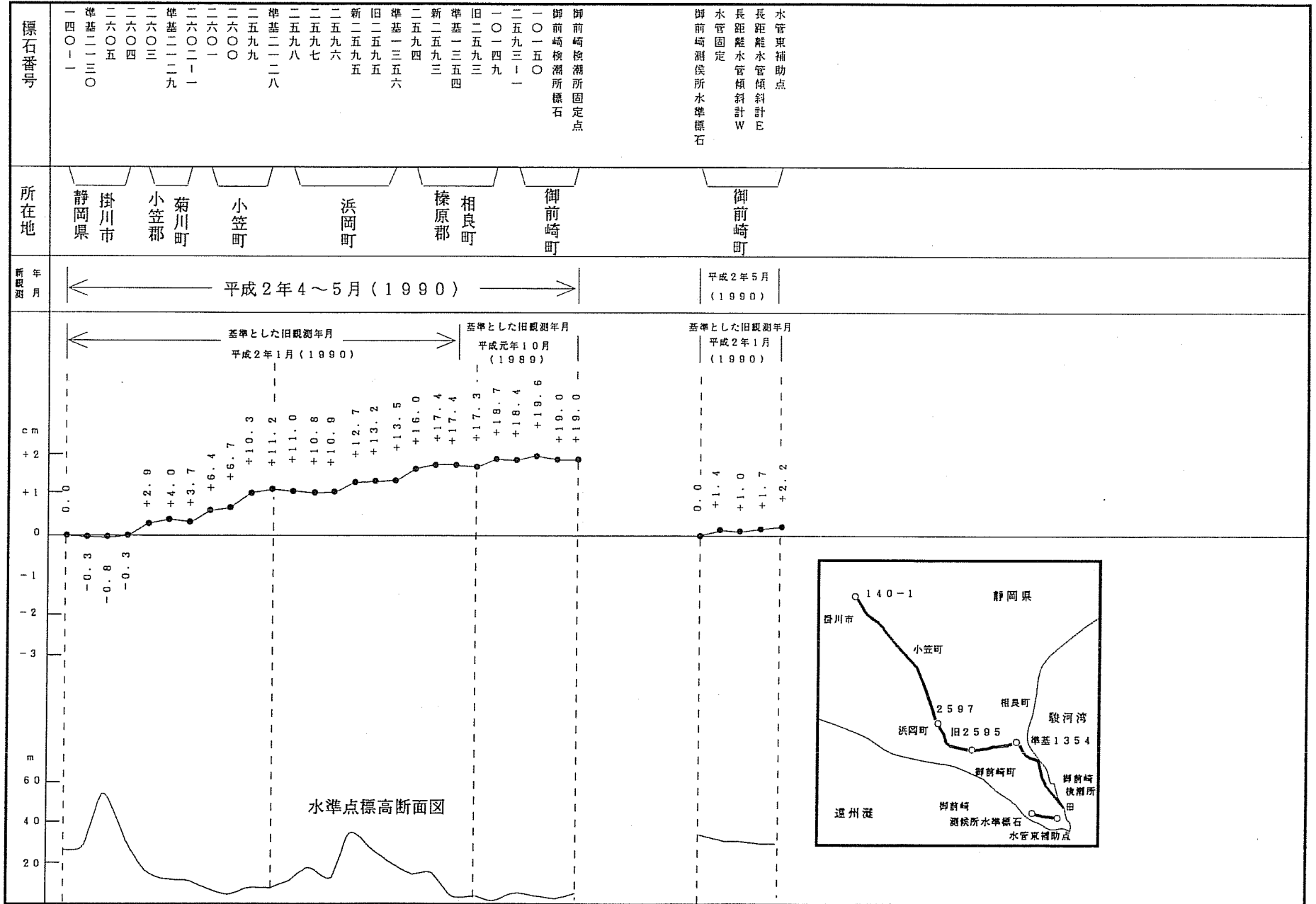




2-17-III 自 静岡県浜名郡舞阪町 至 静岡県小笠郡浜岡町



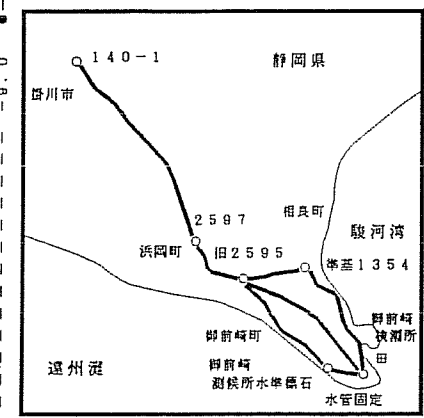
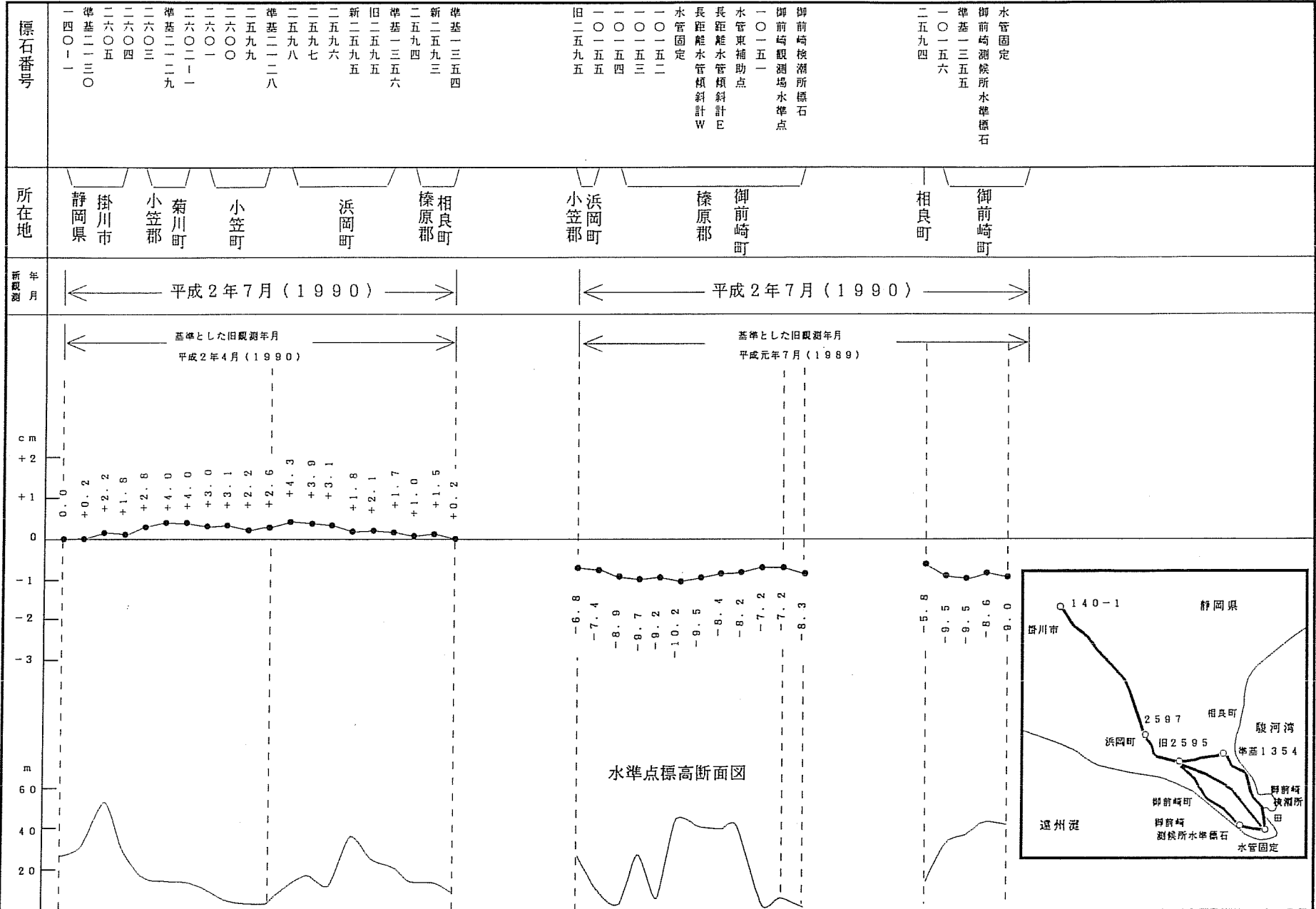
2-18-I 自 静岡県掛川市 至 静岡県榛原郡御前崎町



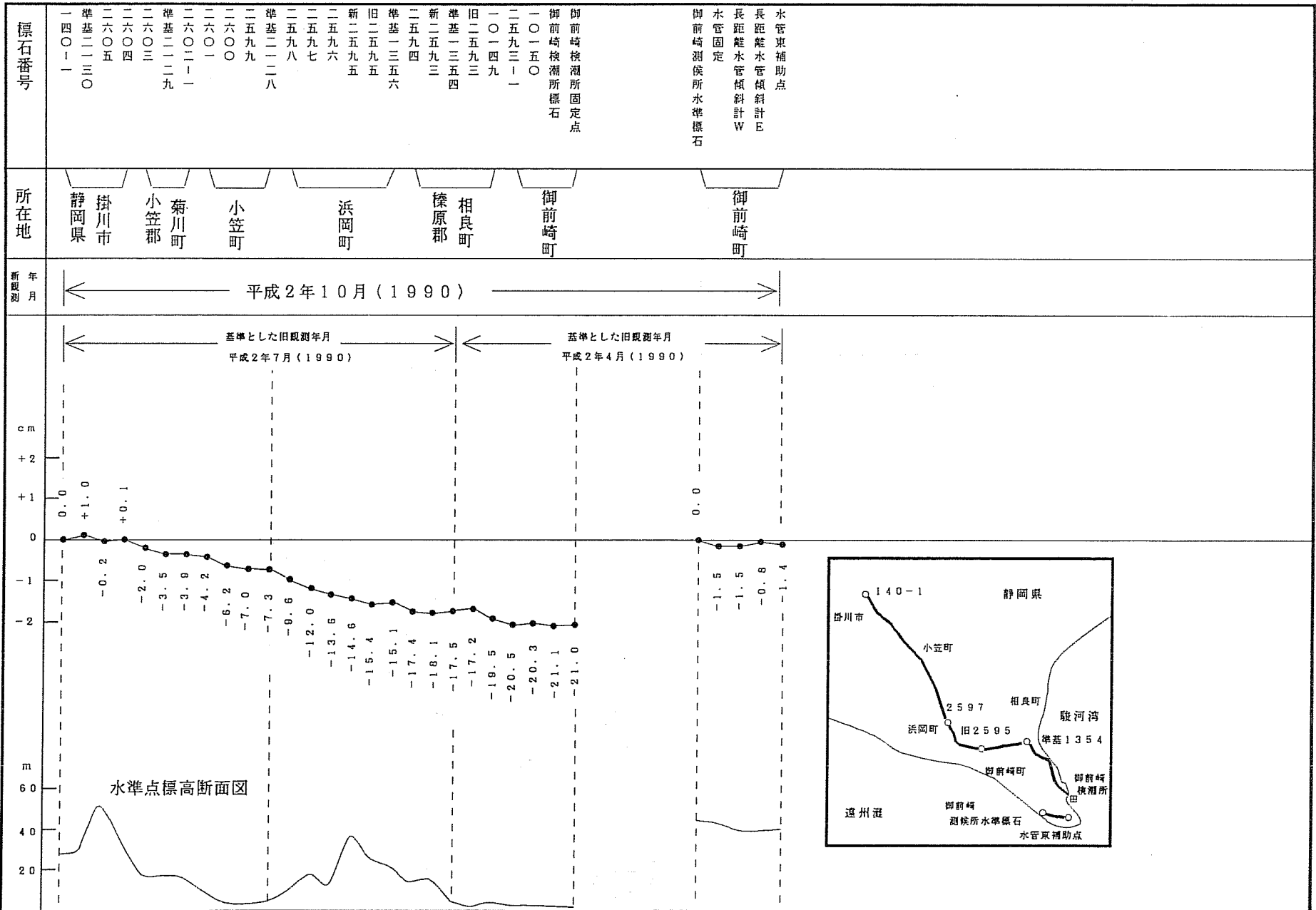
2-18-II 自 静岡県掛川市 至 榛原郡相良町

自 小笠郡浜岡町 至 榛原郡御前崎町

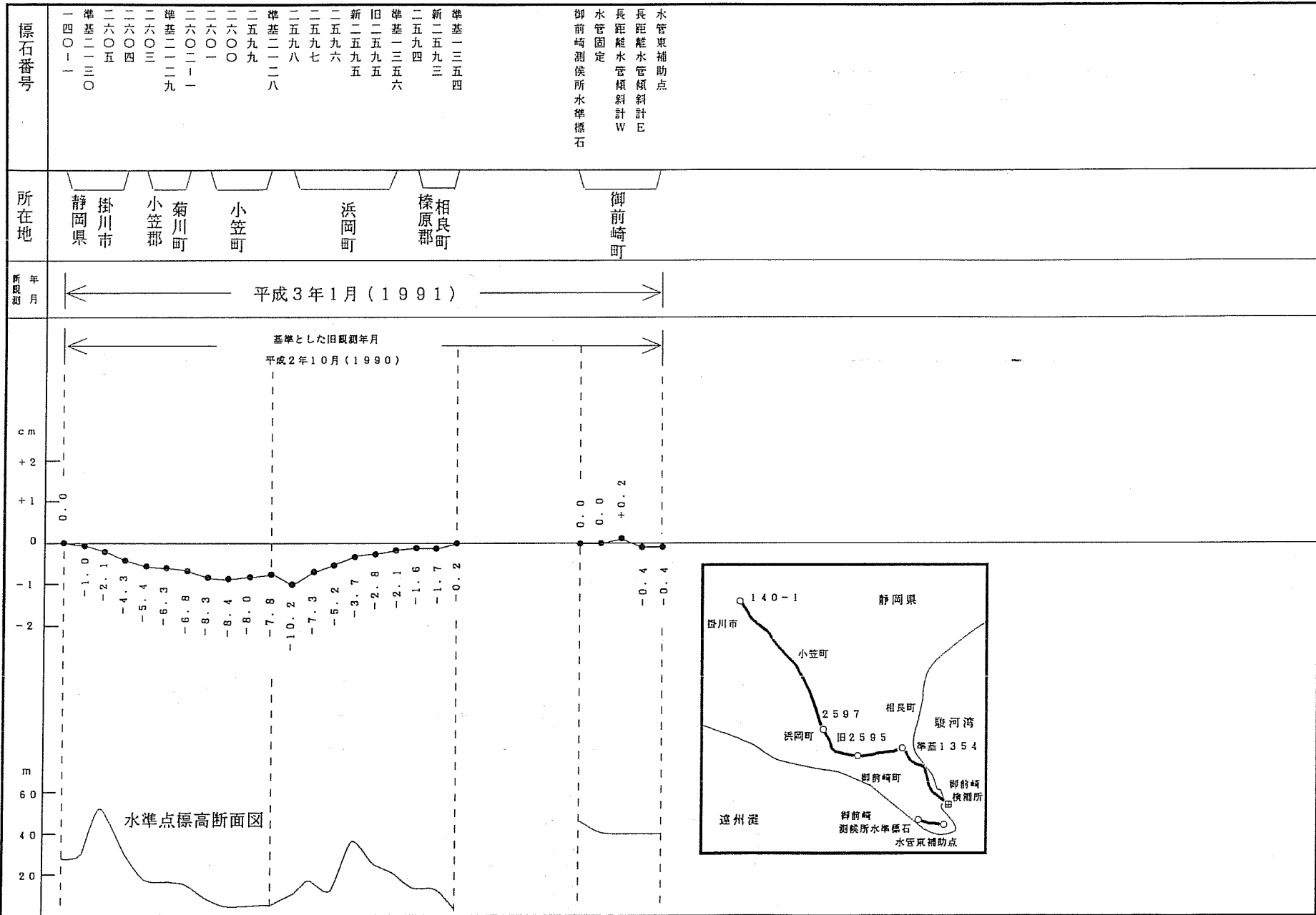
自 榛原郡相良町 至 御前崎町



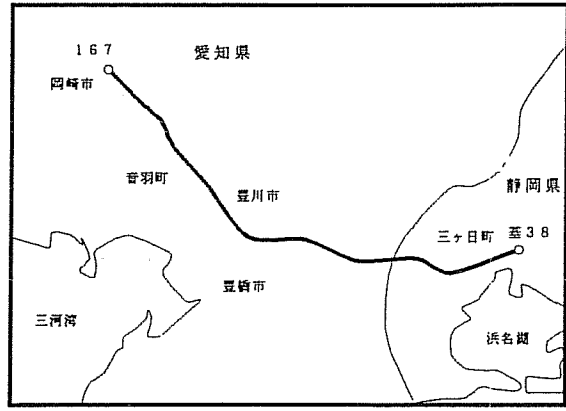
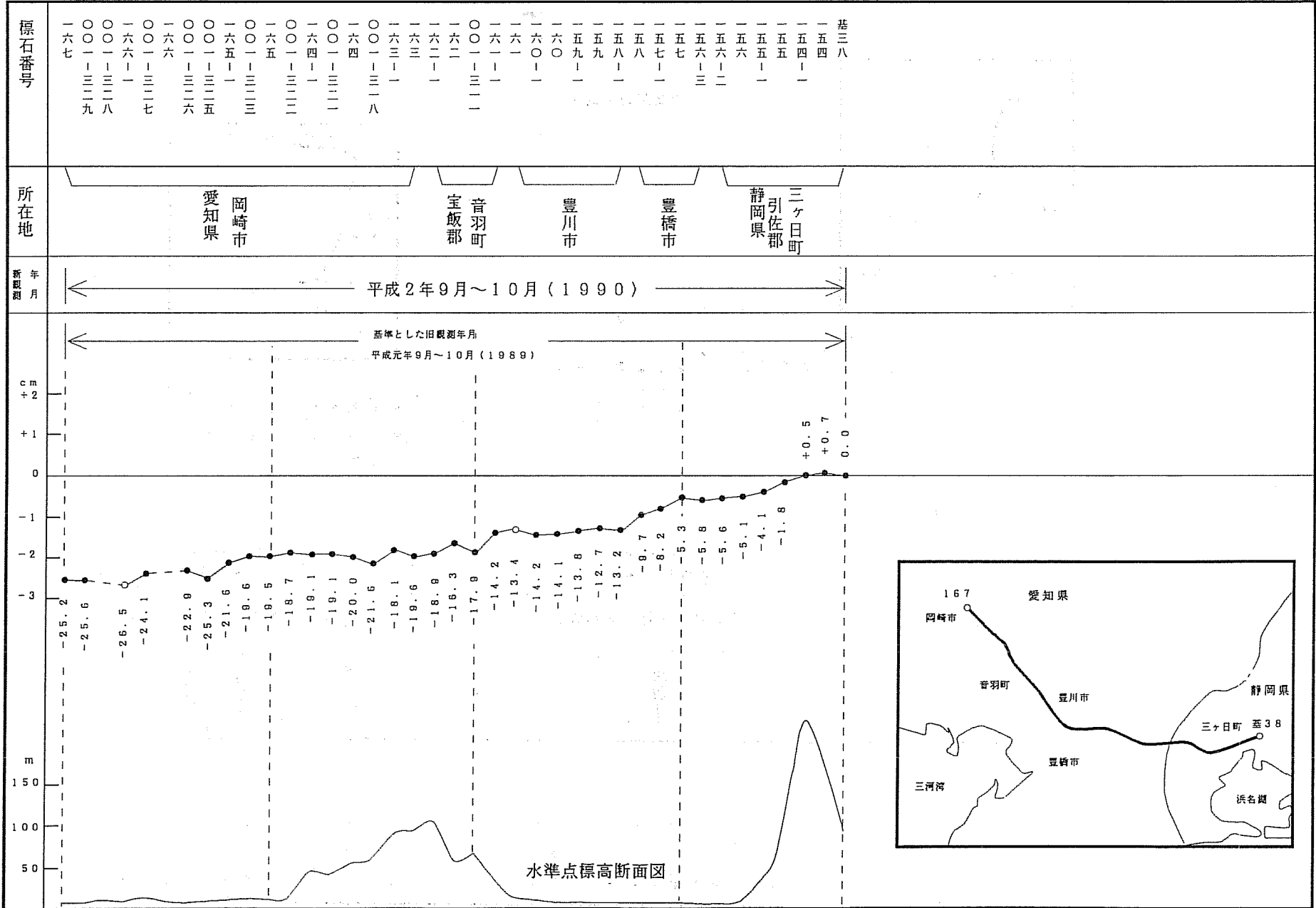




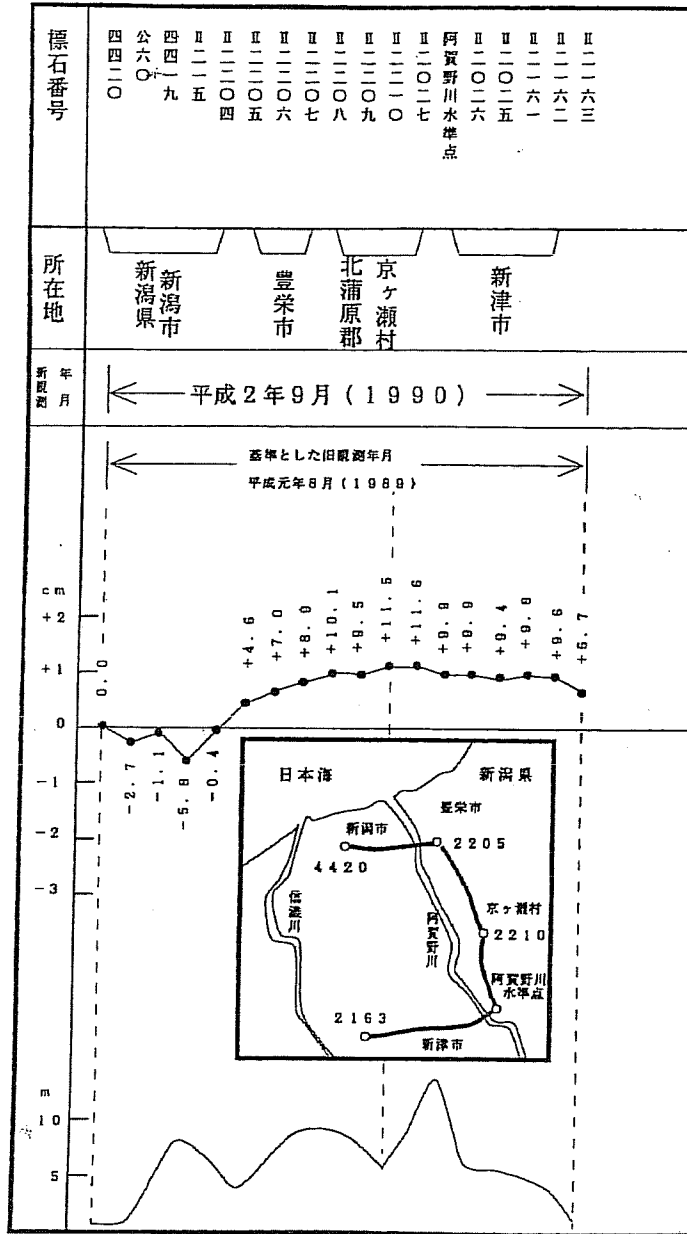
2-18-IV 自 静岡県掛川市 至 静岡県榛原郡相良町 静岡県榛原郡御前崎町



2-19 自 愛知県岡崎市 至 静岡県引佐郡三ヶ日町



2-20 自 新潟県新潟市 至 新潟県新津市



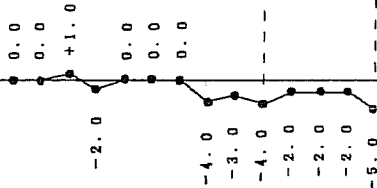
新潟県上越市

逓	仮	仮	N	逓	逓	逓	逓	逓	逓	T	逓	逓	逓	T
N	建	建	I	N	N	N	N	N	N	I	N	N	N	I
○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	三	○	○	○	六
○	○	○		三	四	五	六	七	八	五	九	一	一	
一	二										○	○	○	

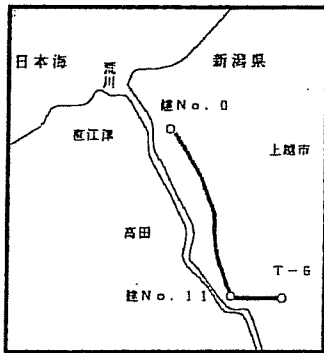
上  
越  
市

平成2年8月～9月(1990)

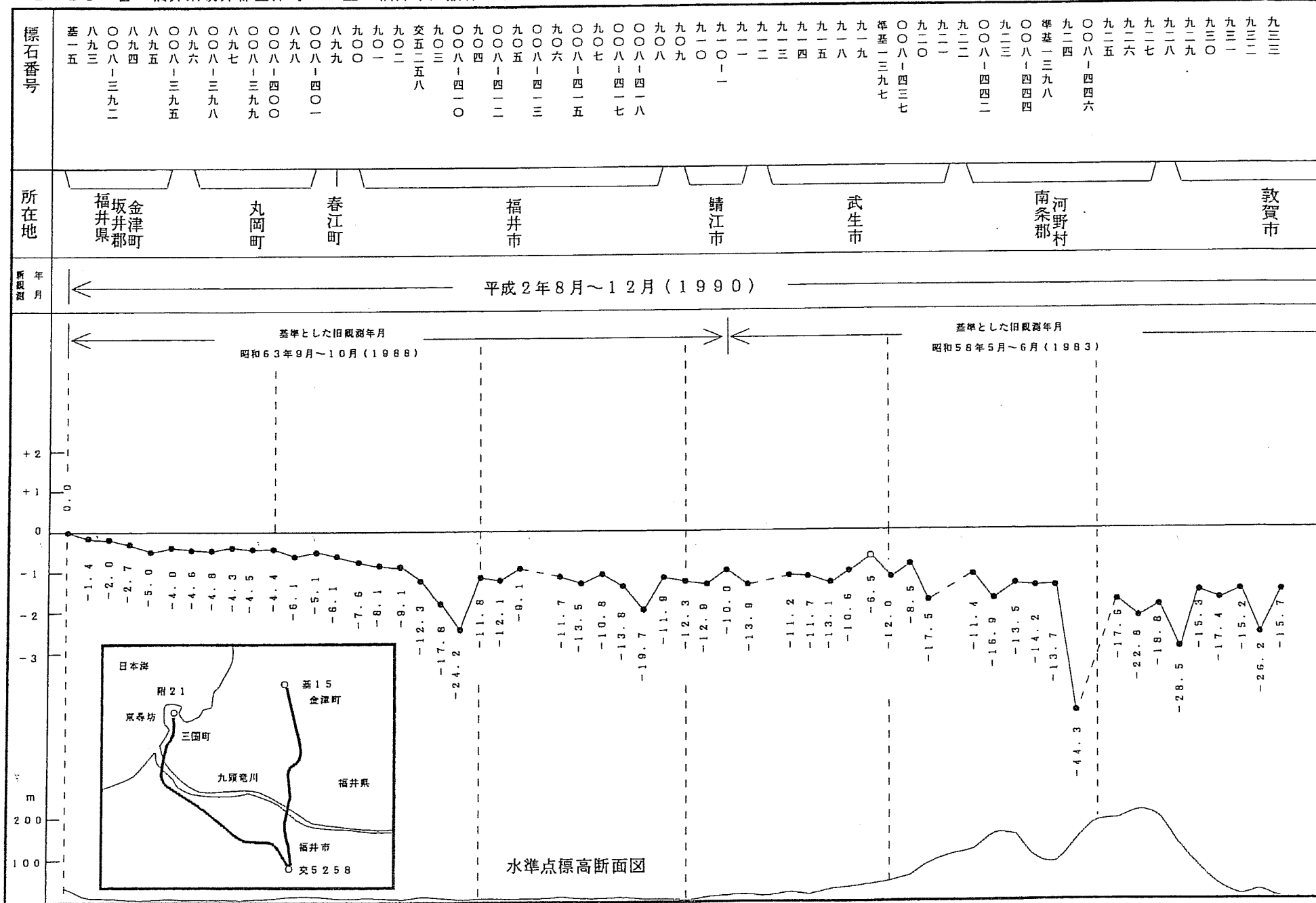
基準とした旧観測年月  
平成元年9月(1989)



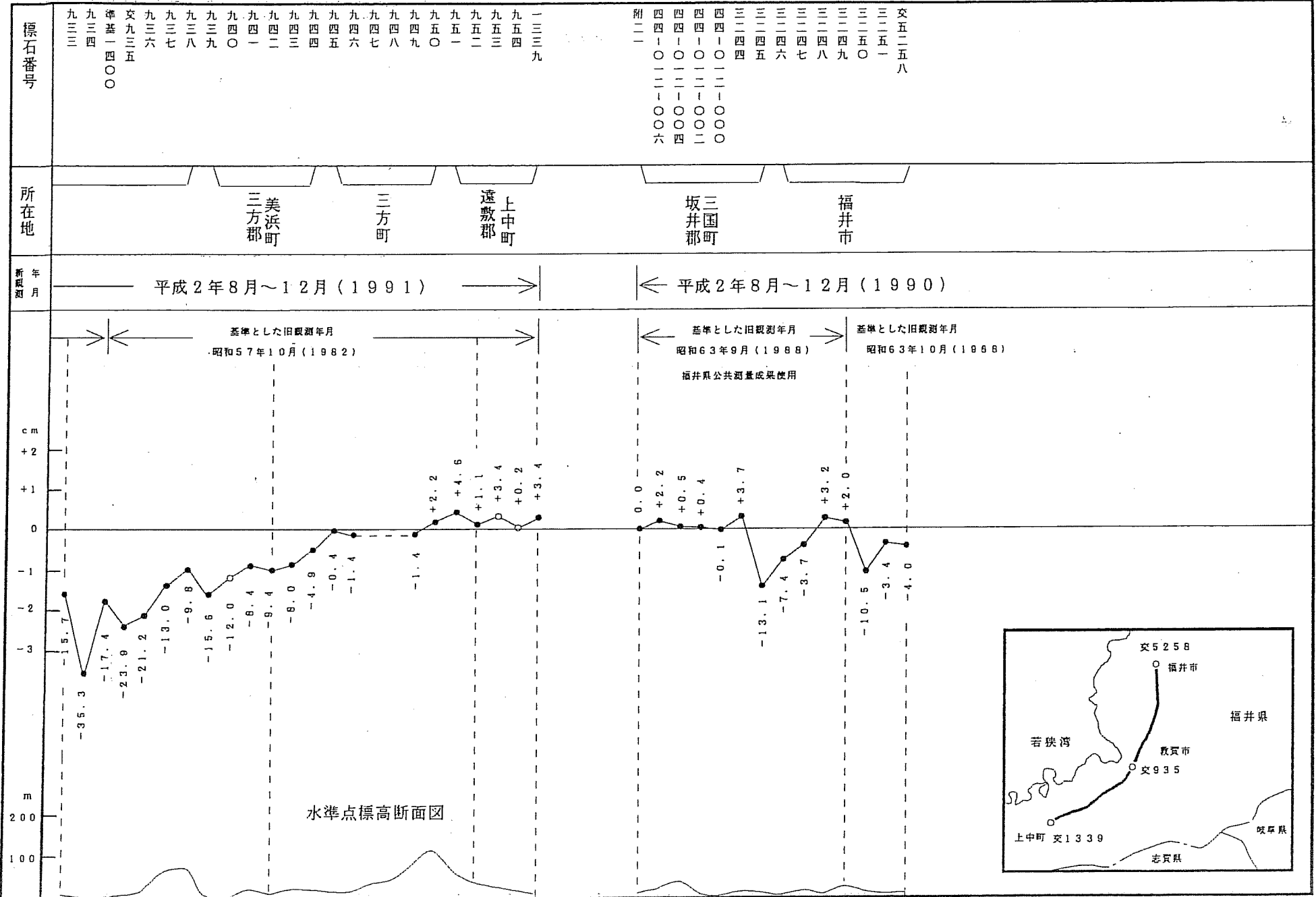
水準点標高断面図



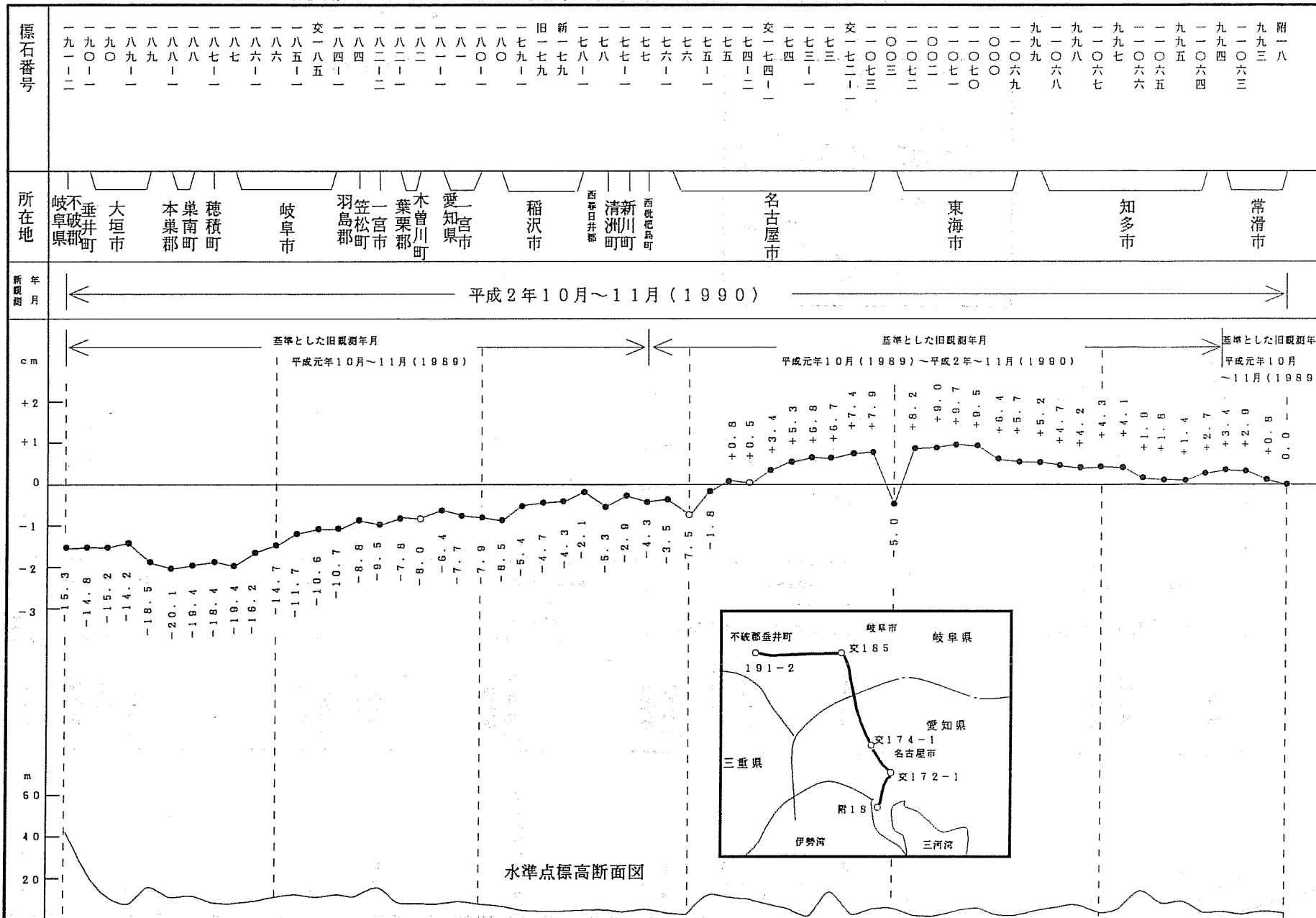
2-21 自 福井県坂井郡金津町 至 福井県遠敷郡上中町



自 福井県坂井郡三国町 至 福井県福井市



2-22 自 岐阜県不破郡垂井町 至 愛知県常滑市





2-22 自 愛知県名古屋市  
至 愛知県豊明市

自 岐阜県羽島市  
至 岐阜県羽島郡笠松町

愛知県常滑市

自 愛知県海部郡弥富町  
至 愛知県名古屋

自 岐阜県岐阜市  
至 岐阜県関市

標石番号

交一七二一  
一七二二  
一七一  
基三九

二二三三  
二二三六  
二三三六  
二三三六  
二三三六  
二三三六  
一八四

附一八  
鬼崎  
駿瀬  
潮場  
固定点

一四七一  
新一四七二  
旧一四七三  
一四七四  
一四七五  
一四七六  
新一四七七  
旧一四七八  
一四七九  
一四八〇  
交一七四一

交一八五  
七一六  
七二七  
七二八  
七二九  
七三〇  
七三一  
七三二  
七三三  
七三四  
交七二五

所在地

愛知県  
名古屋市  
豊明市

岐阜県  
羽島市  
羽島郡  
笠松町

愛知県  
常滑市

海部郡  
弥富村  
十四山村  
蟹江町

名古屋市

岐阜県  
岐阜市

関市

新設年月

平成2年11月  
(1990)

平成2年11月  
(1990)

平成2年11月  
(1990)

平成2年10月(1990)

平成3年1月(1991)

cm

基準とした旧観測年月  
平成元年11月(1989)

基準とした旧観測年月  
平成元年10月(1989)

基準とした旧観測年月  
平成元年10月(1989)

基準とした旧観測年月  
平成元年11月(1989)

基準とした旧観測年月  
昭和58年6月(1983)

+2

+1

0

-1

-2

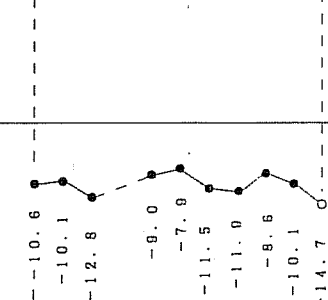
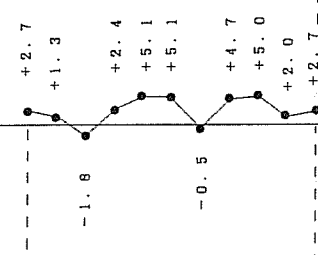
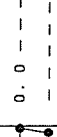
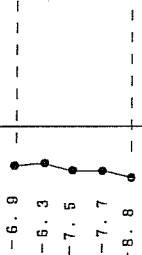
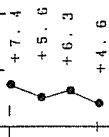
-3

m

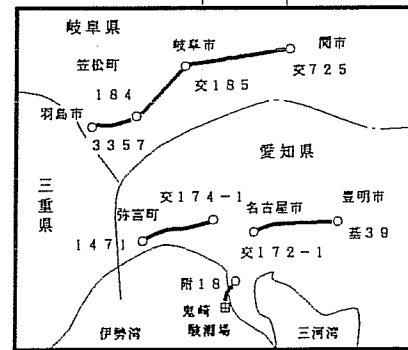
60

40

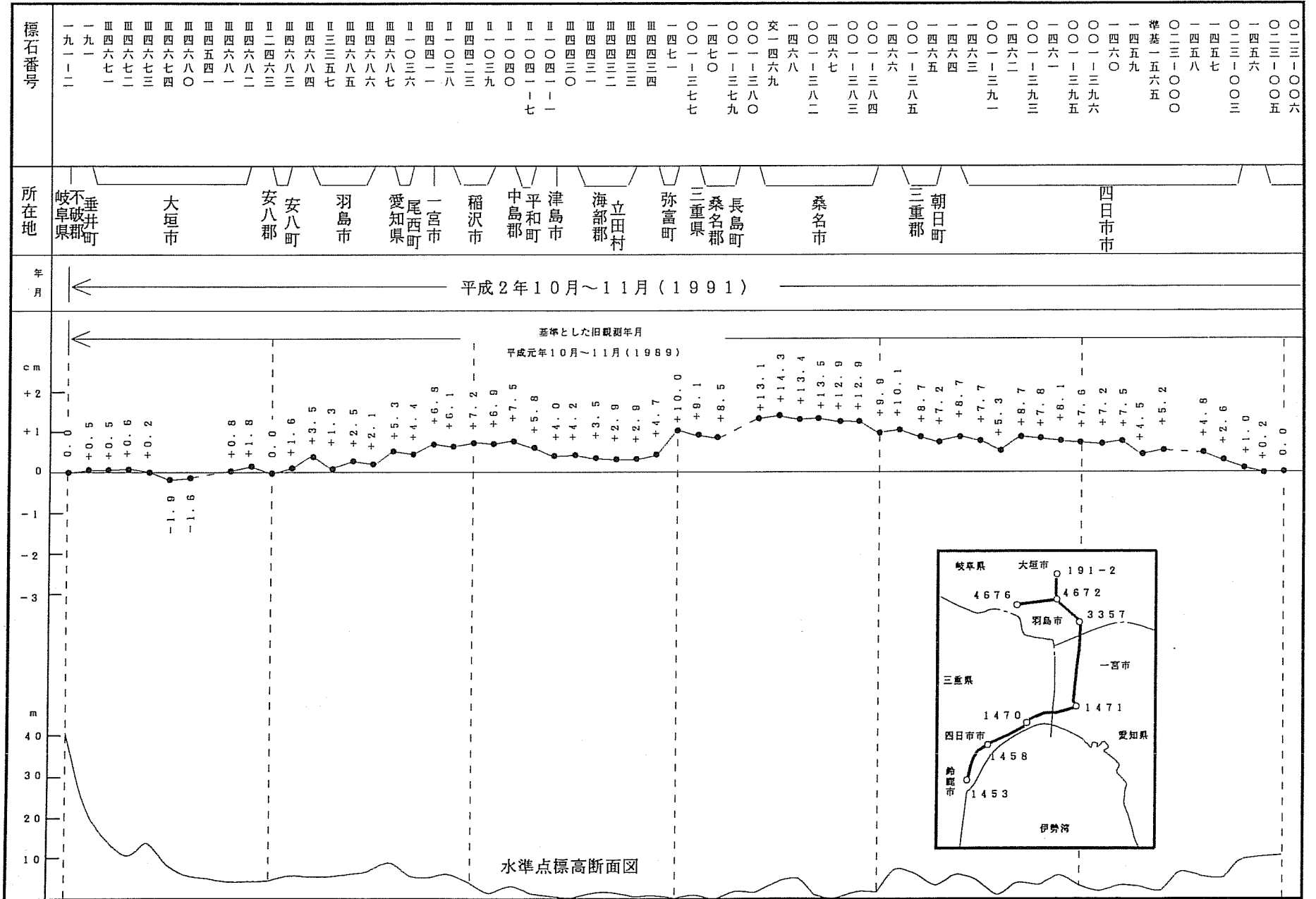
20



水準点標高断面図



2-22 自 岐阜県不破郡垂井町 至 三重県鈴鹿市



目 坂早県大垣市  
至 岐阜県養老郡養老町

四六七六  
四六七五  
四六七四

一四五三  
一四五四  
一四五五  
〇二二一〇〇七  
〇二二一〇〇六

標石番号

所在地

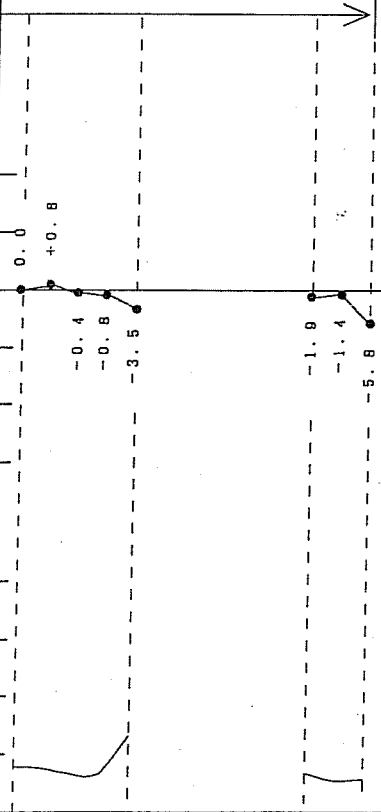
鈴鹿市

養老町  
養老郡  
大垣市  
岐阜県

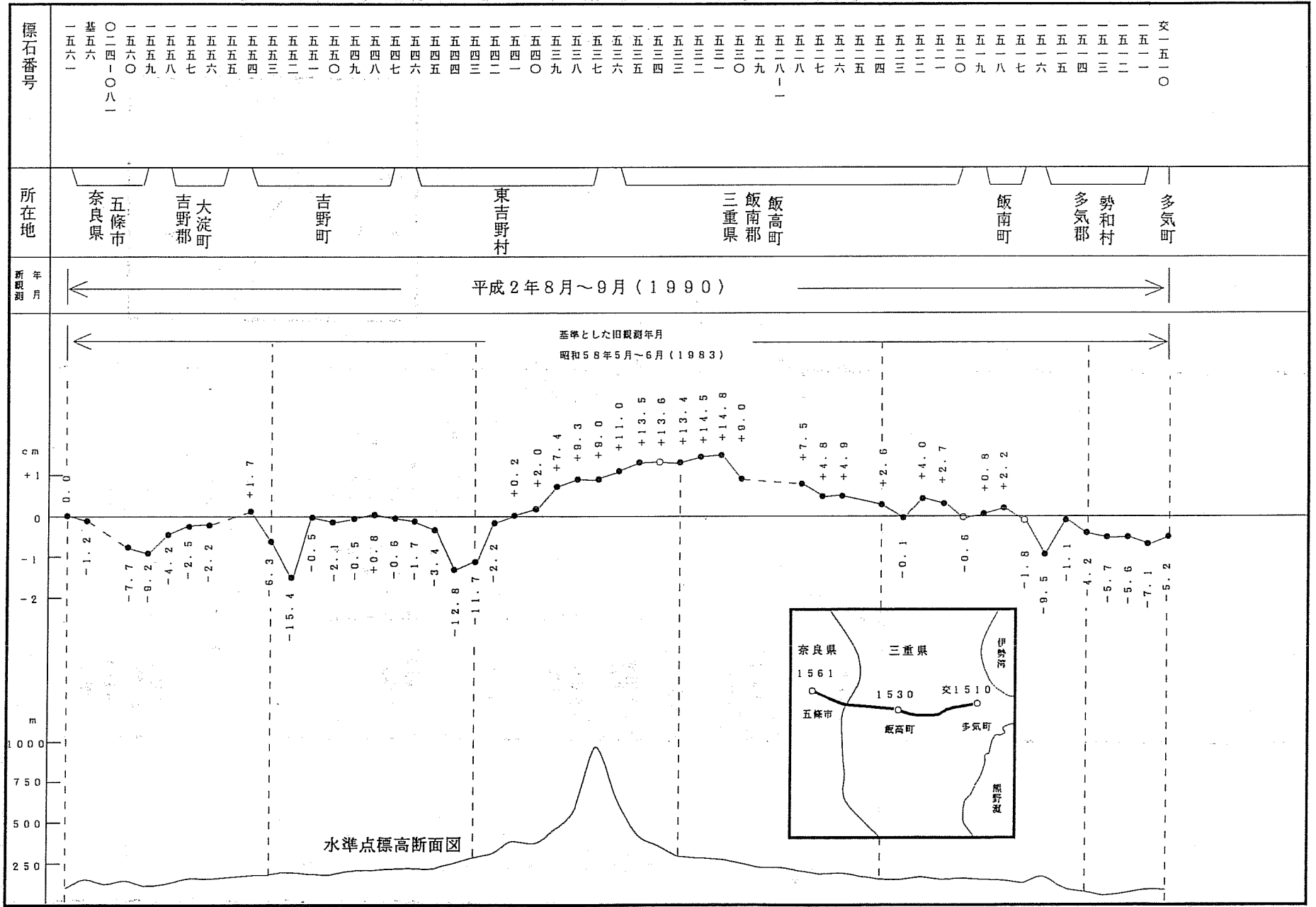
新設  
年月

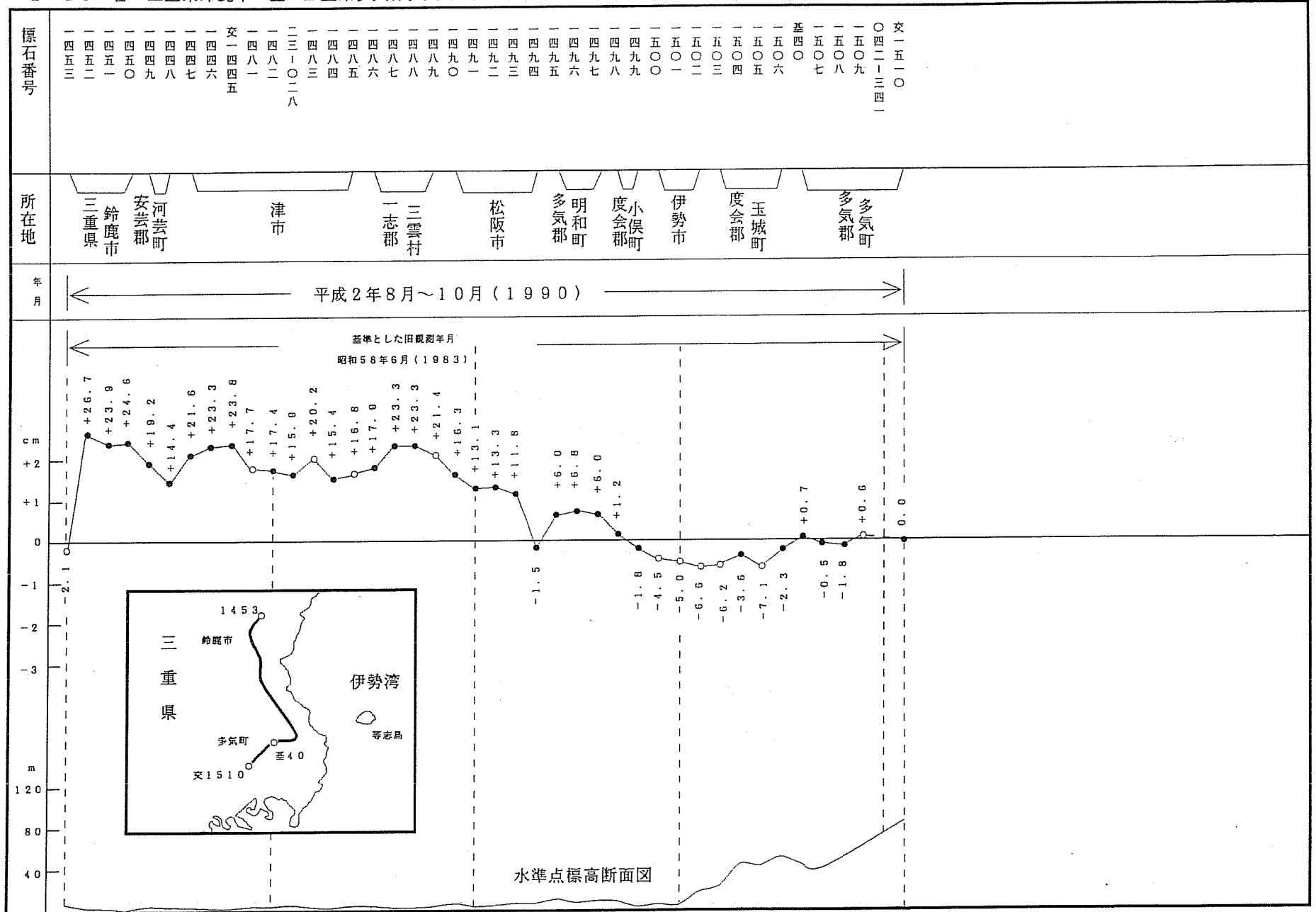


cm  
+2  
+1  
0  
-1  
-2  
-3  
m  
40  
30  
20  
10

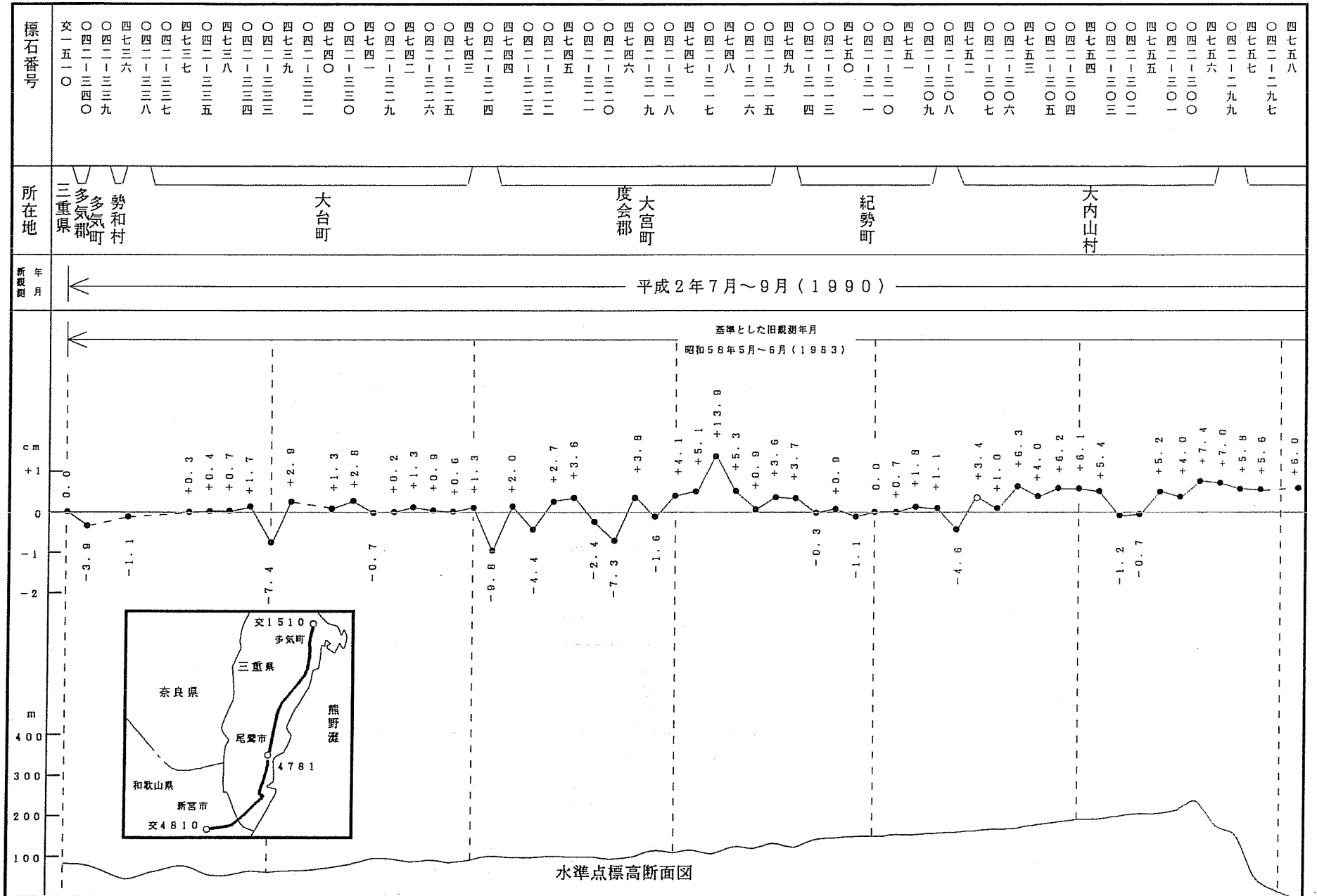


2-23. 自 奈良県五條市 至 三重県多気郡多気町





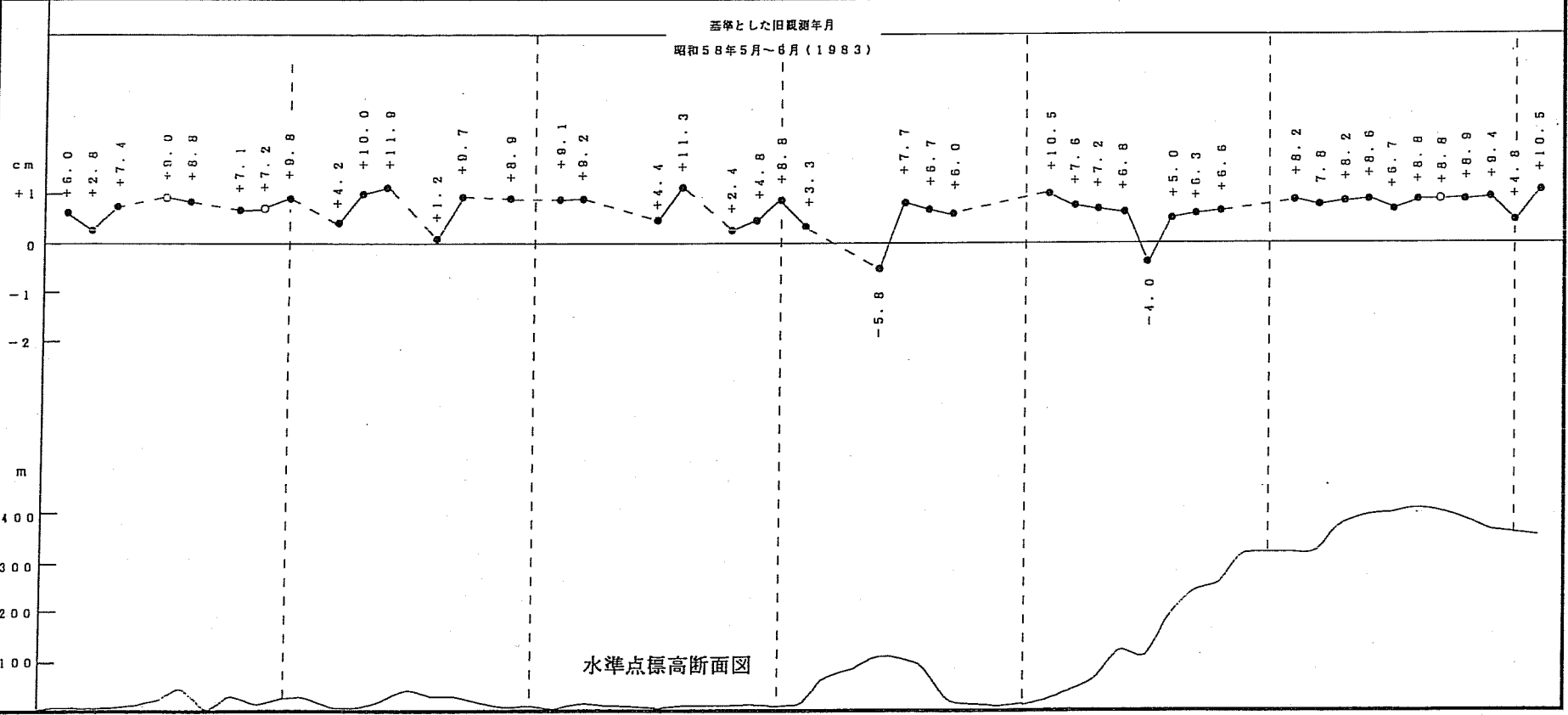
2-24 自 三重県多気郡多気町 至 和歌山県新宮市

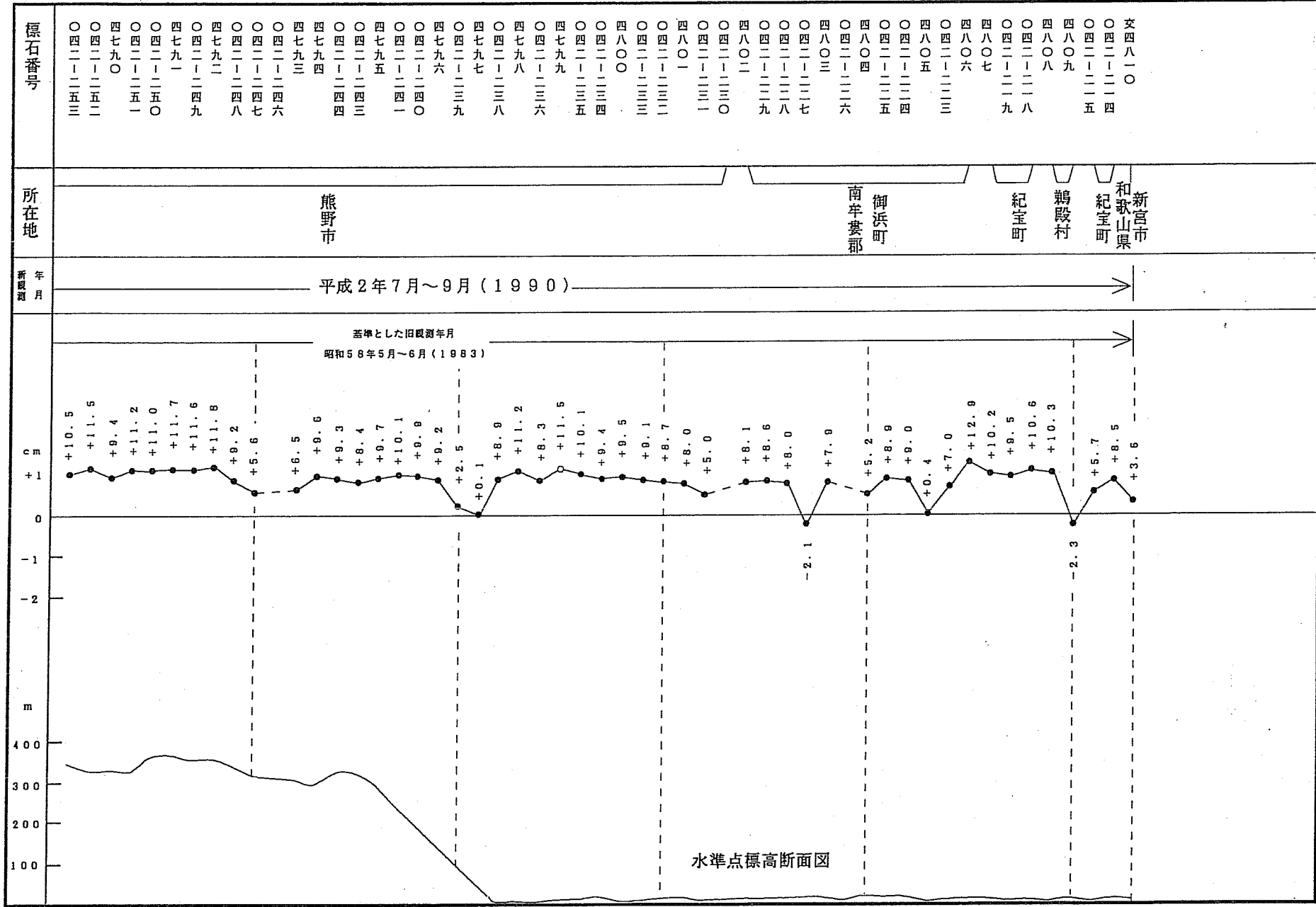


標石番号	四七五八 〇四二二九五 四七五九 〇四二二九四 四七六〇 〇四二二九四 四七六一 〇四二二九一 四七六二 〇四二二八八 四七六三 〇四二二八九 四七六四 〇四二二八八 四七六五 〇四二二八六 四七六六 〇四二二八七 四七六七 〇四二二八四 四七六八 〇四二二八五 四七六九 〇四二二八二 四七七〇 〇四二二八〇 四七七一 〇四二二七六 四七七二 〇四二二七六 四七七三 〇四二二七五 新四七七三 旧四七七三 四七七四 〇四二二七二 四七七五 〇四二二七一 四七七六 〇四二二六九 四七七七 〇四二二七〇 四七七八 〇四二二六二 四七七九 〇四二二六三 四七八〇 〇四二二六一 四七八一 〇四二二五九 四七八二 〇四二二五七 四七八三 〇四二二五八 四七八四 〇四二二五六 四七八五 〇四二二五三
------	--

所在地	北牟婁郡 紀伊長島町	海山町	尾鷲市
-----	---------------	-----	-----

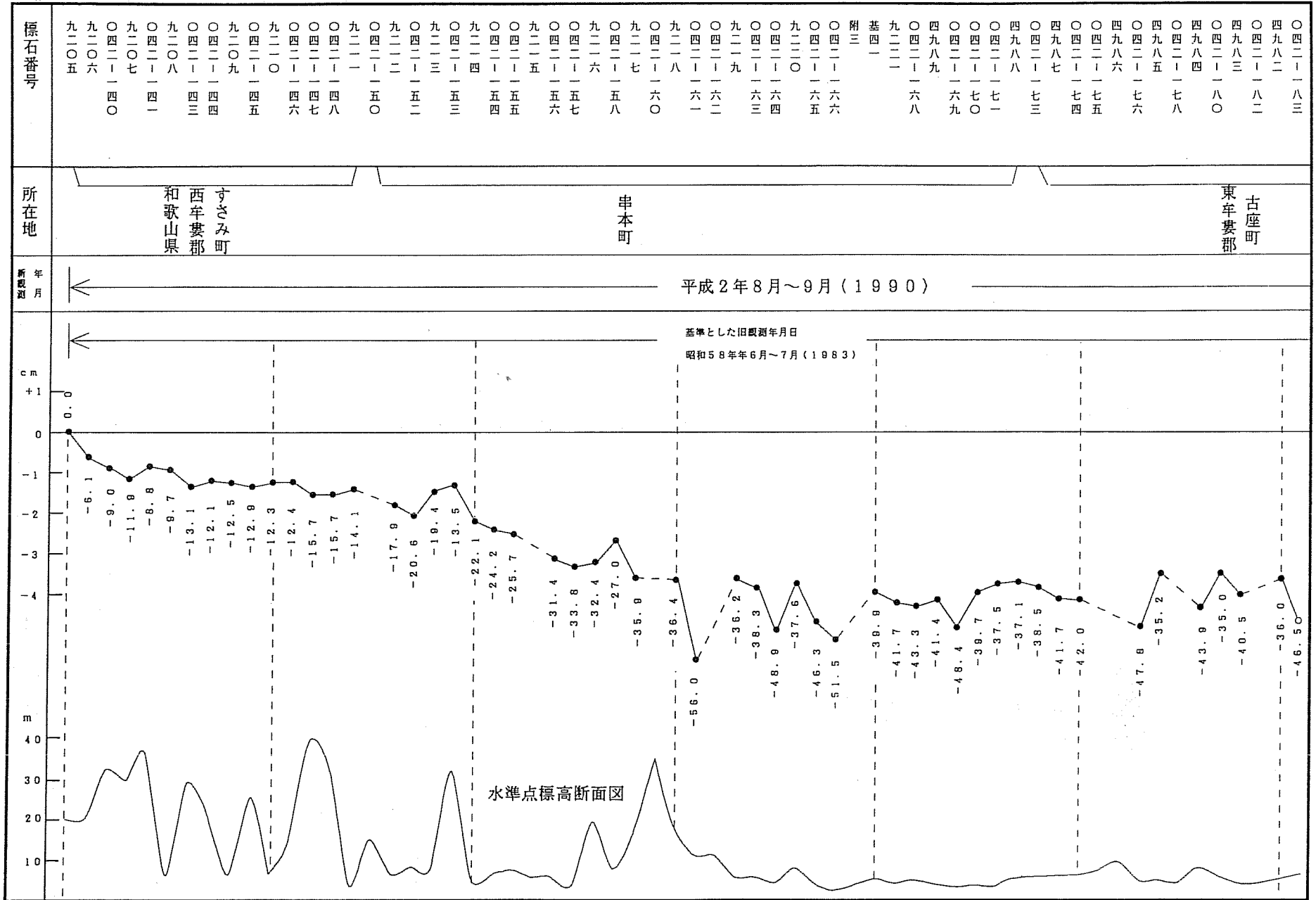
年 月  
所 限 測  
平成2年7月~9月(1990)

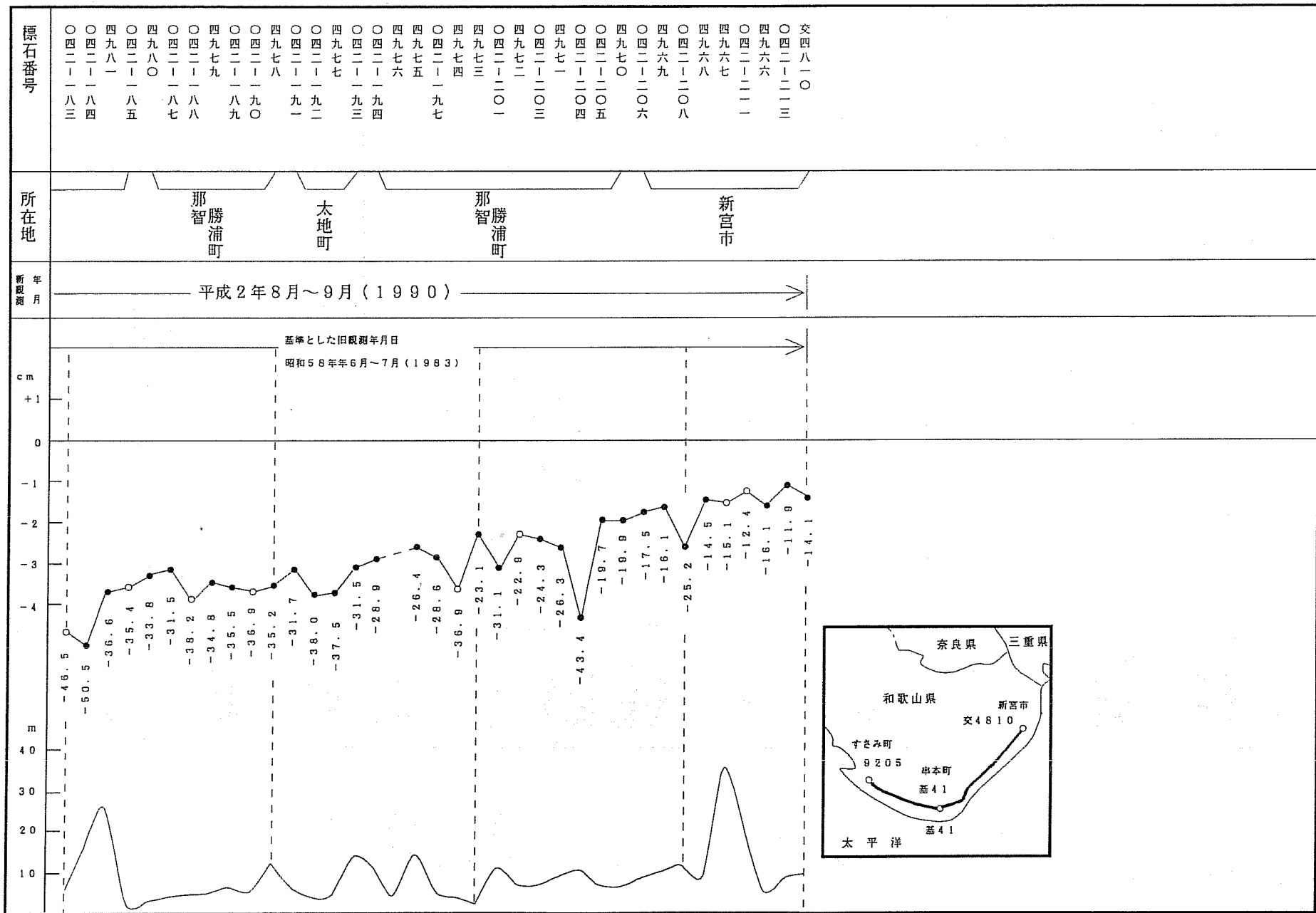




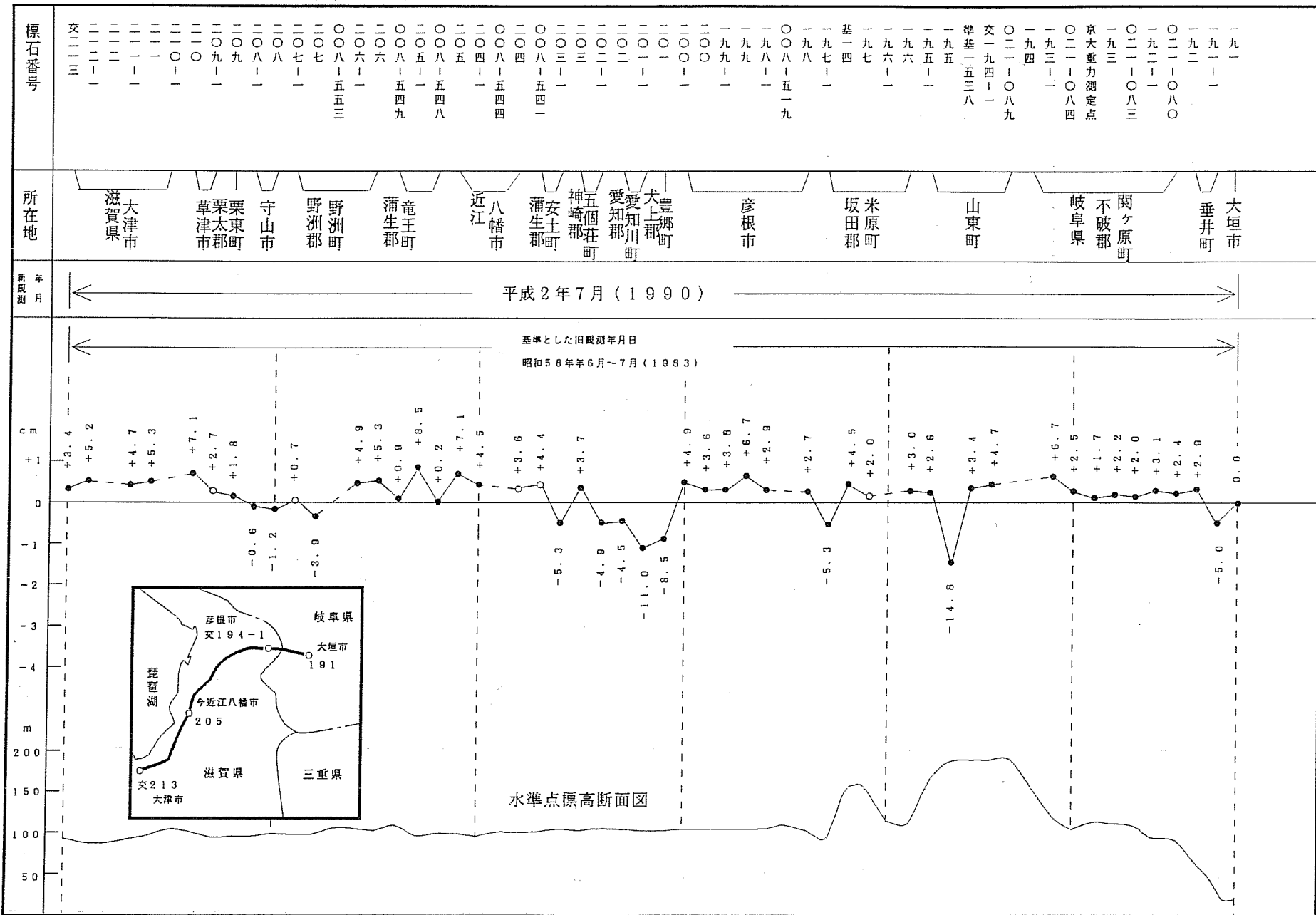


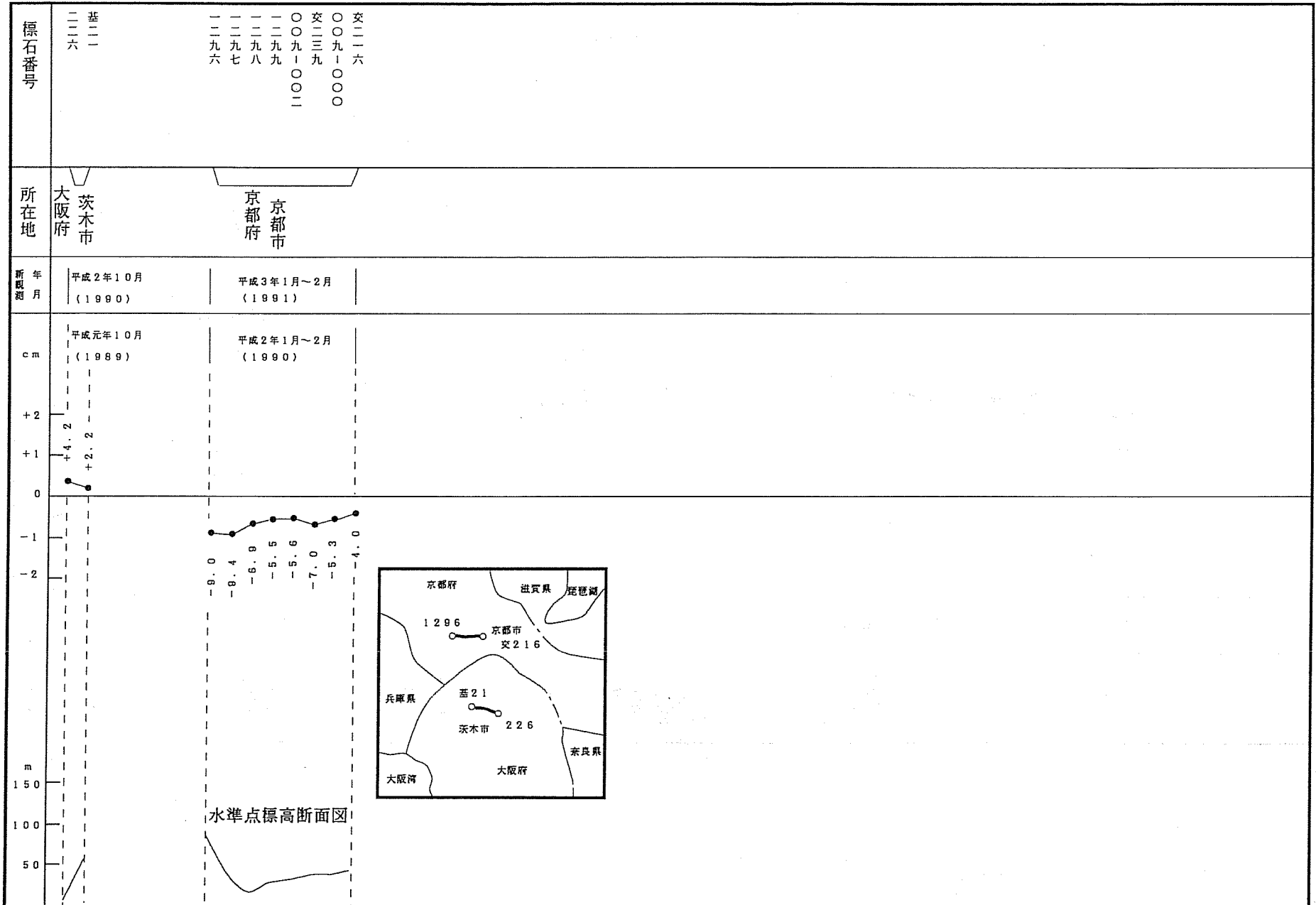
2-24 自 和歌山県西牟婁郡すさみ町 至 和歌山県新宮市



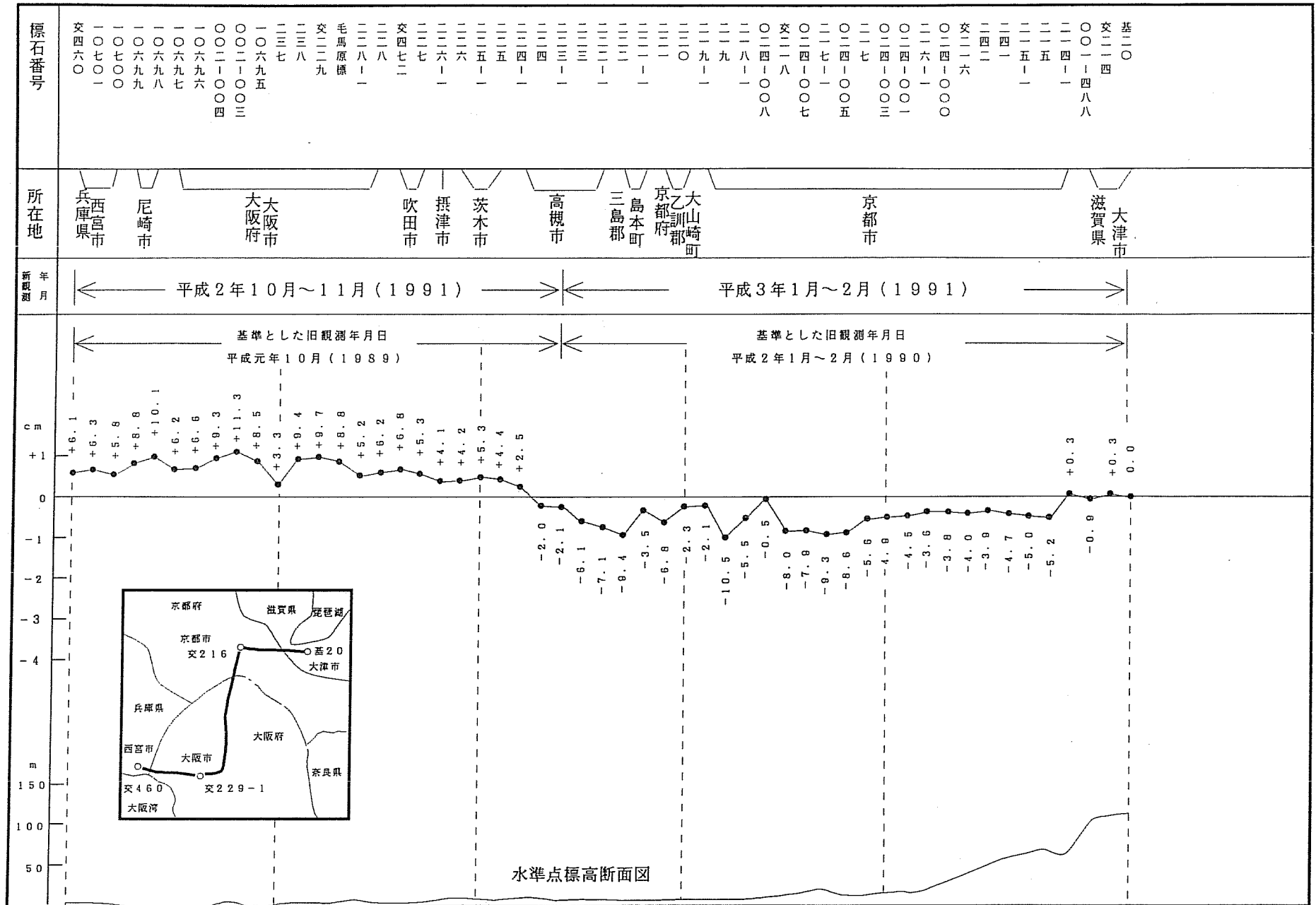


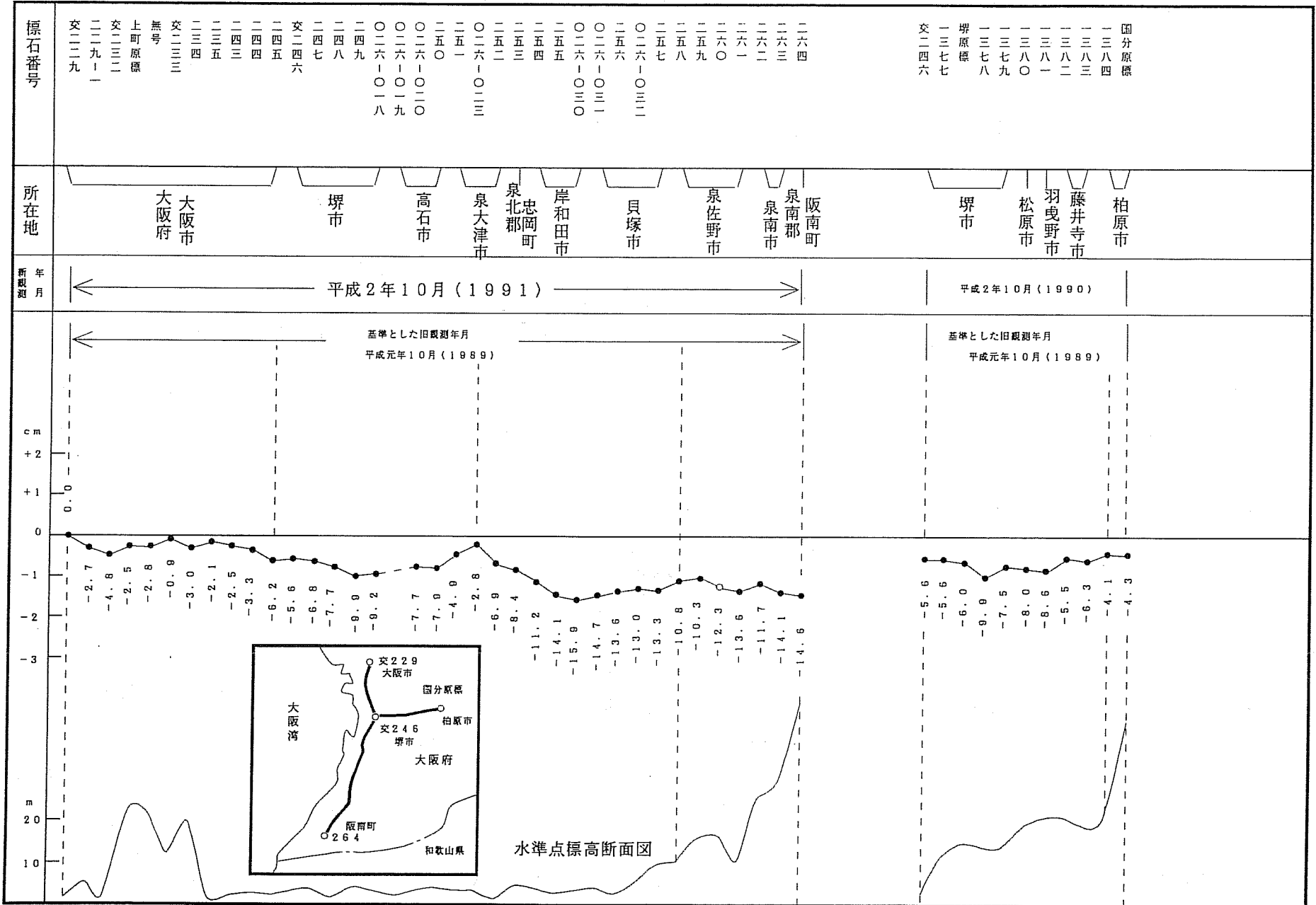
2-25 自 滋賀県大津市 至 岐阜県大垣市



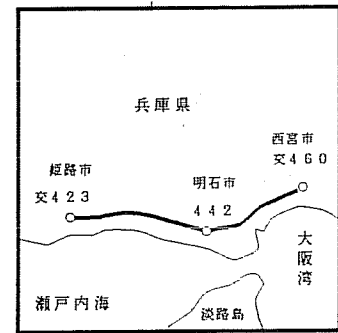
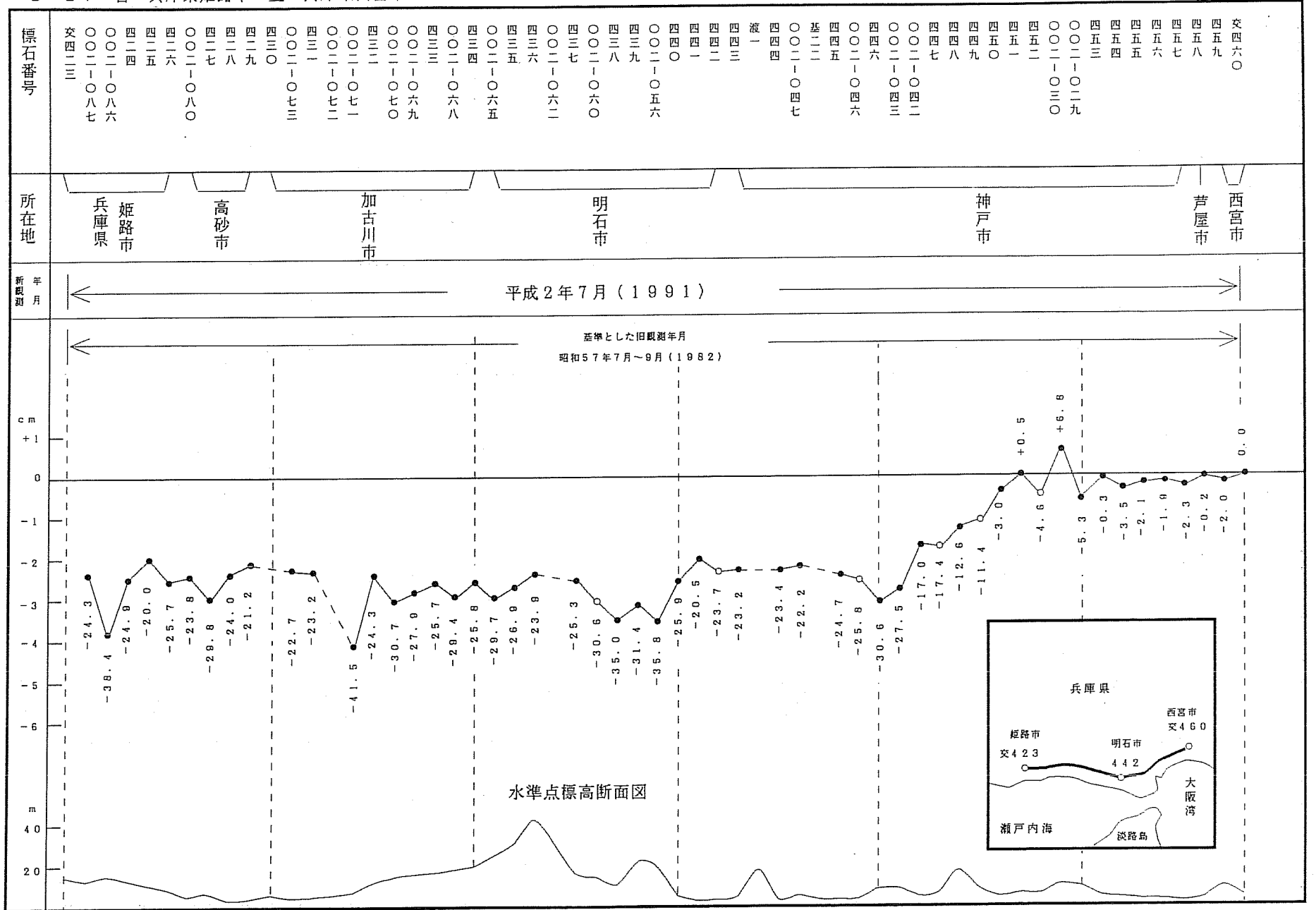


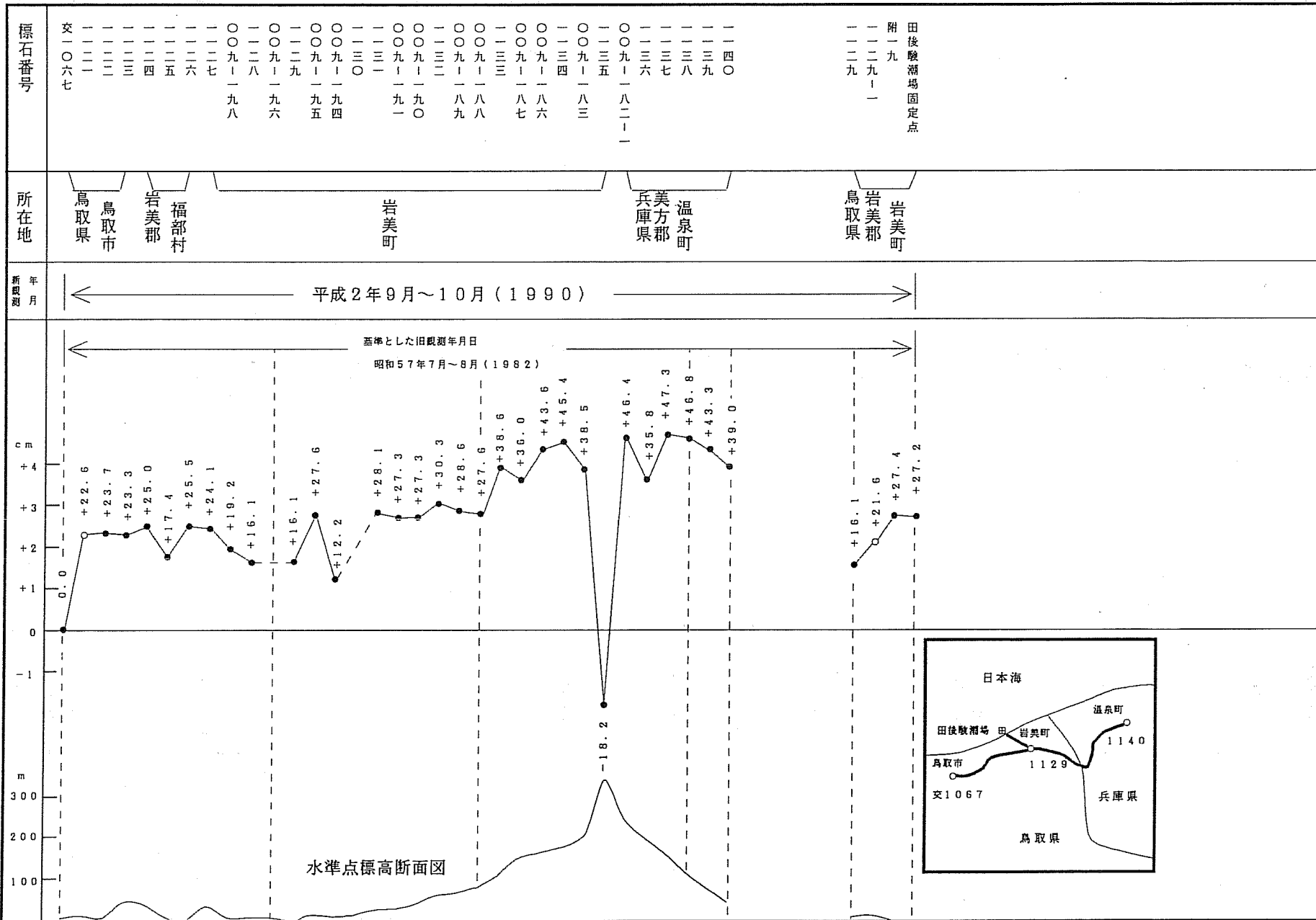
2-26 自 兵庫県西宮市 至 滋賀県大津市





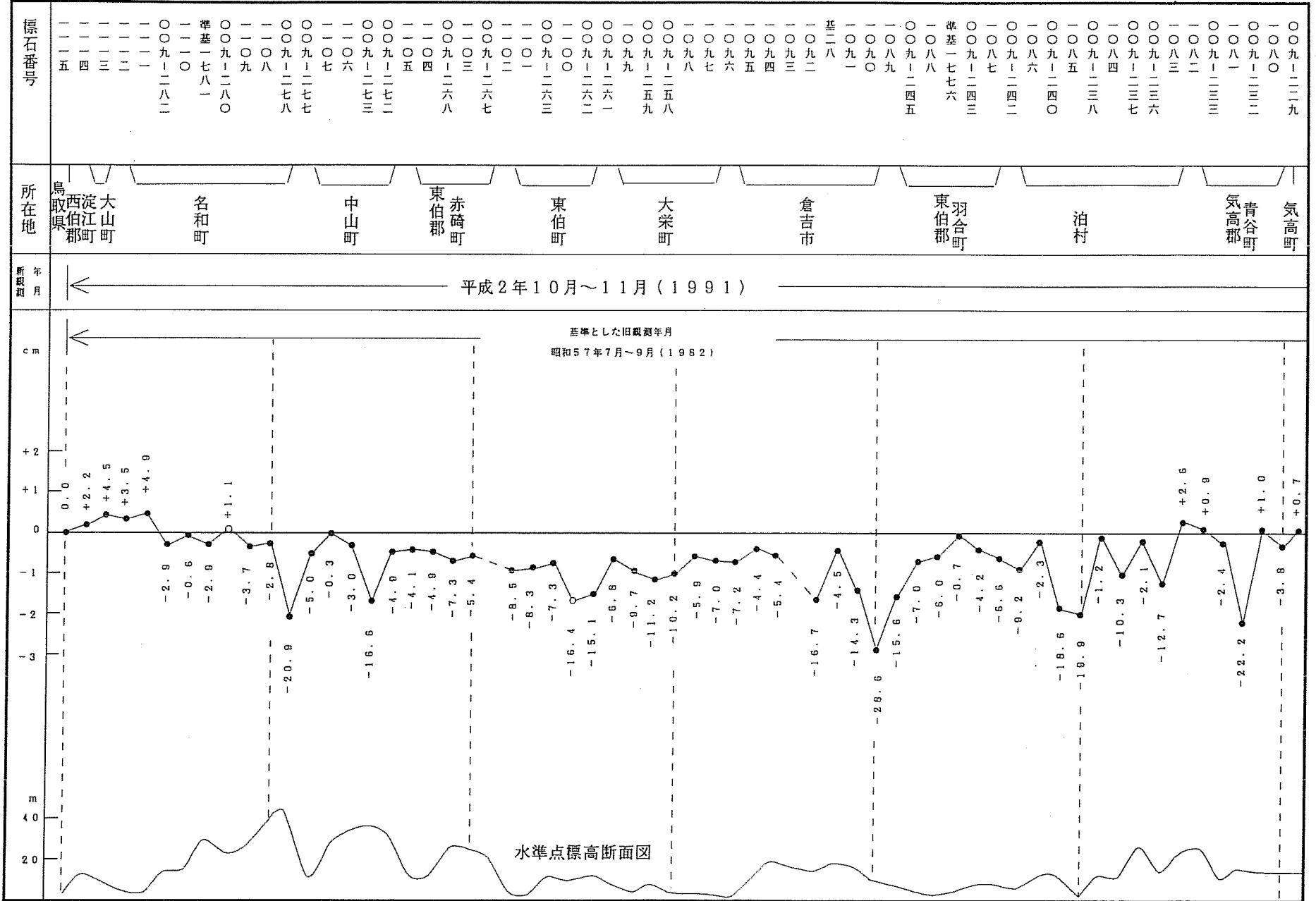
2-27 自 兵庫県姫路市 至 兵庫県西宮市

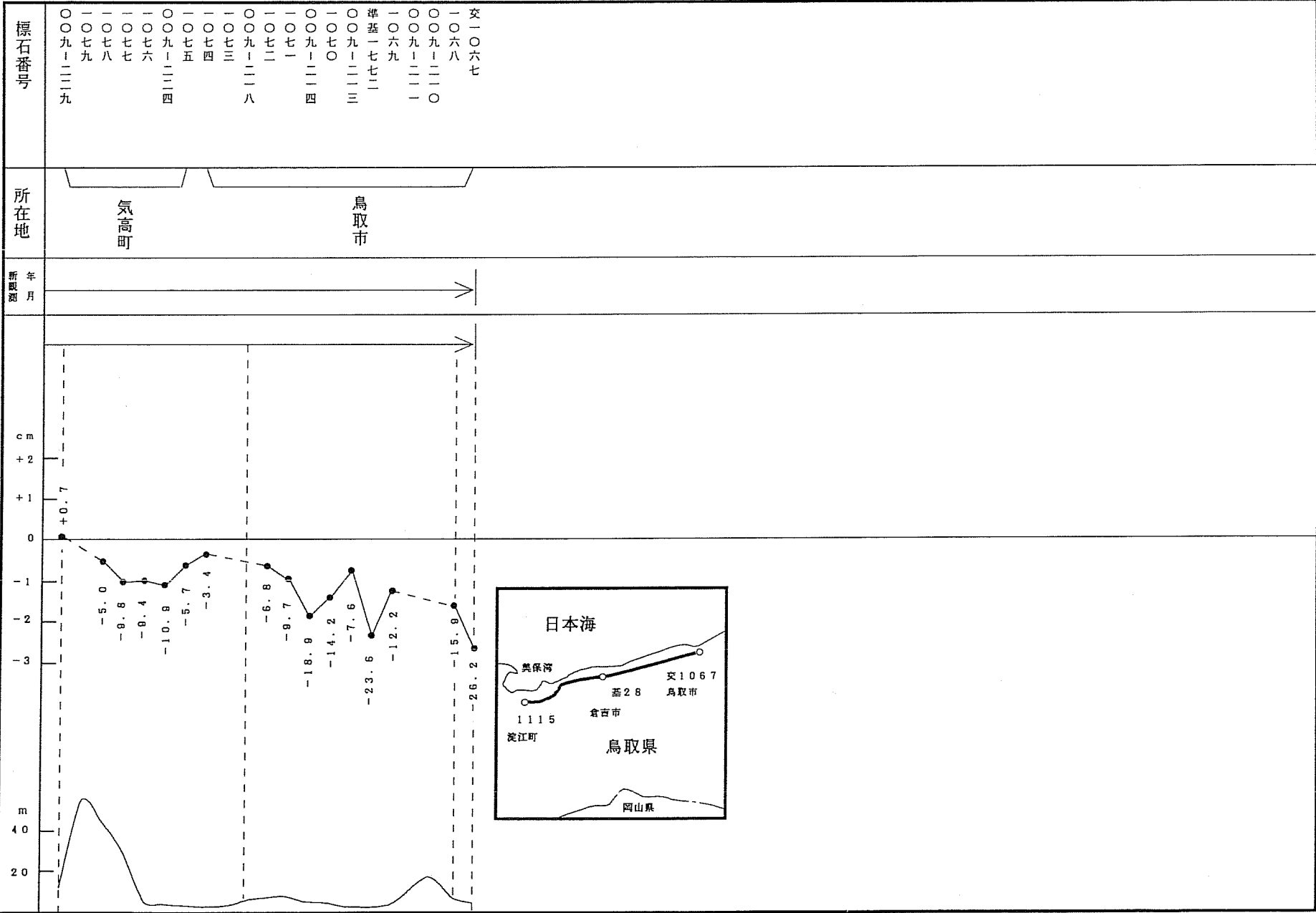




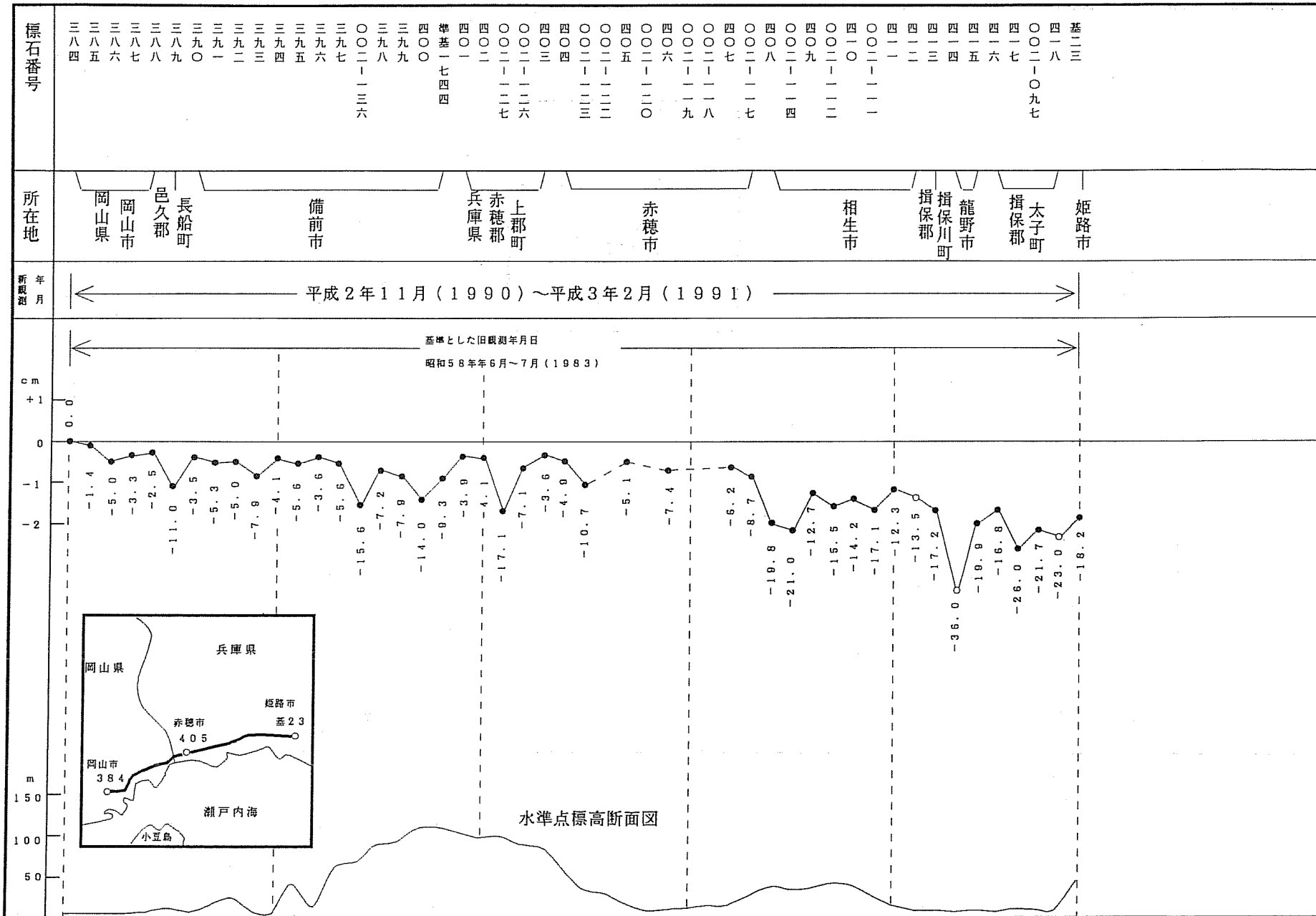


2-28 自 鳥取県西伯郡淀江町 至 鳥取県鳥取市

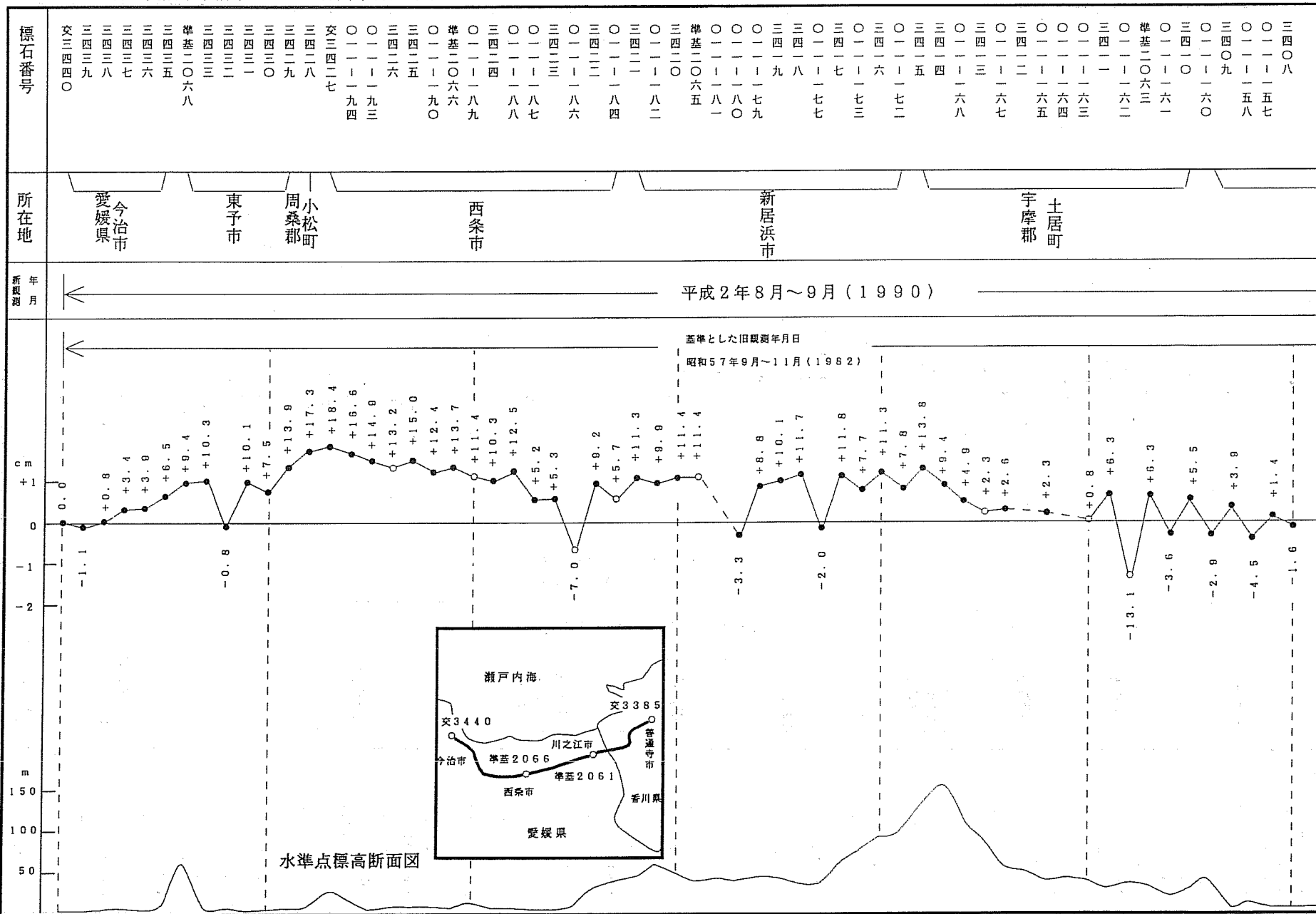


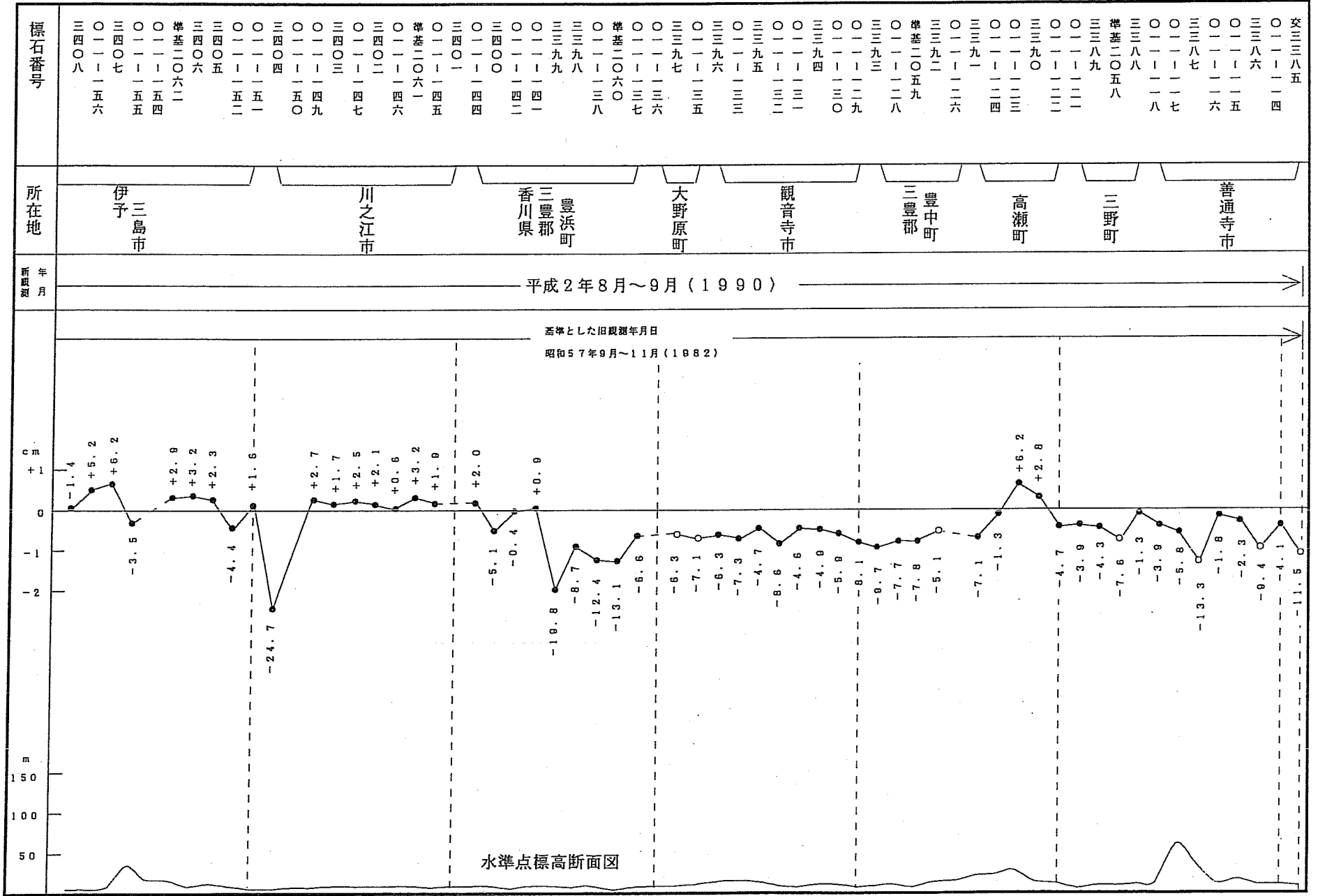


2-29 自 岡山県岡山市 至 兵庫県姫路市

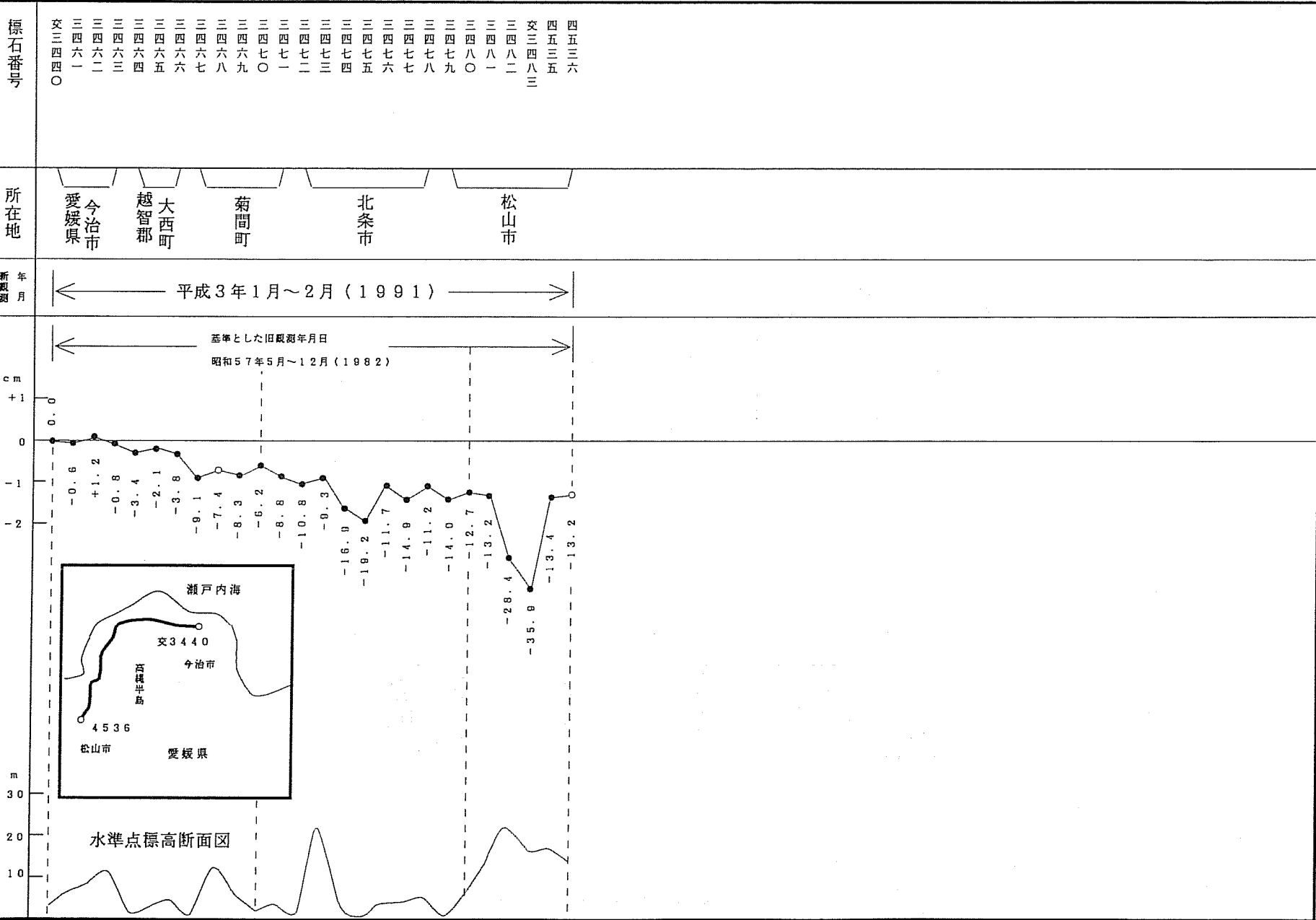


2-30 自 愛媛県今治市 至 香川県善通寺市

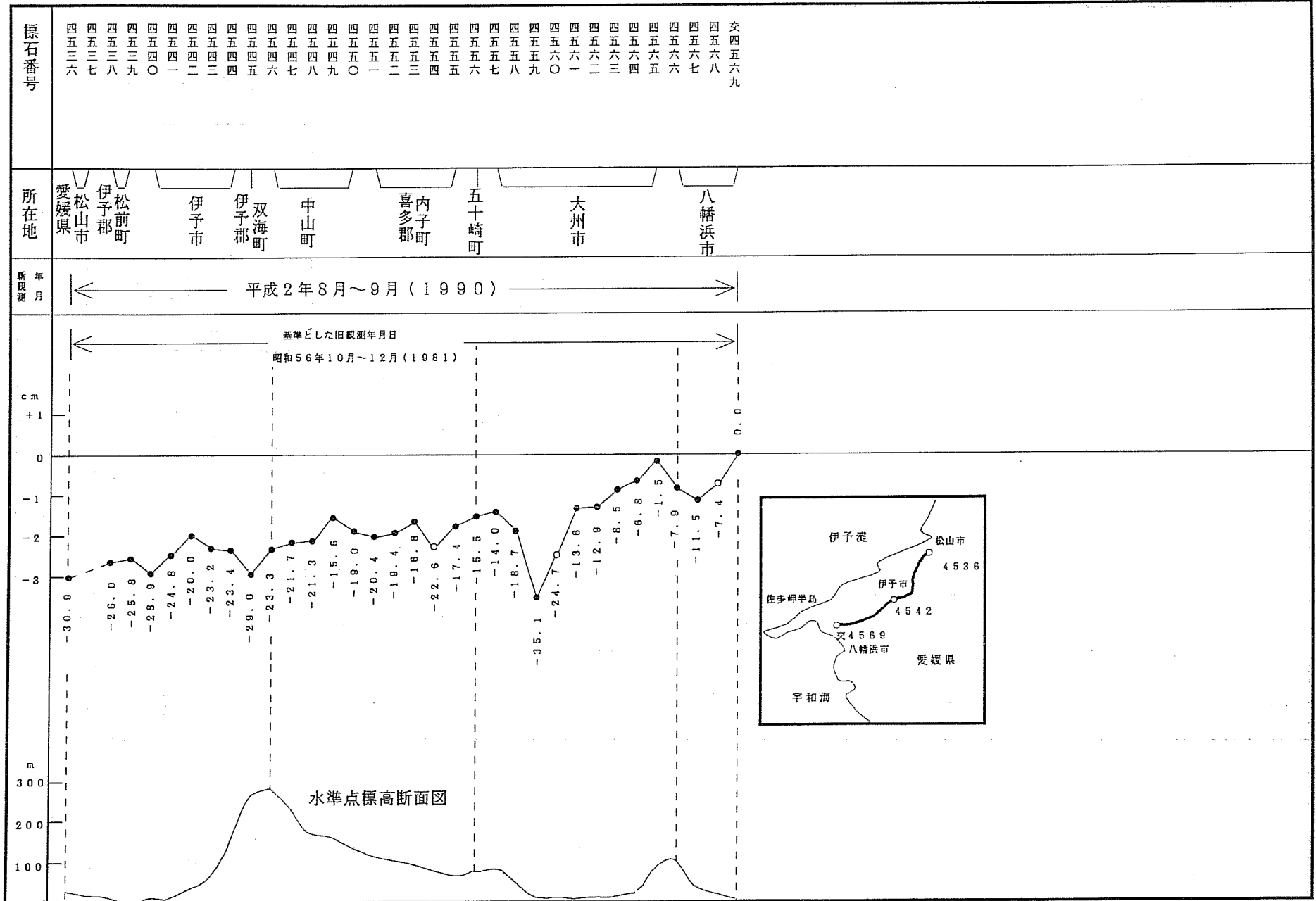




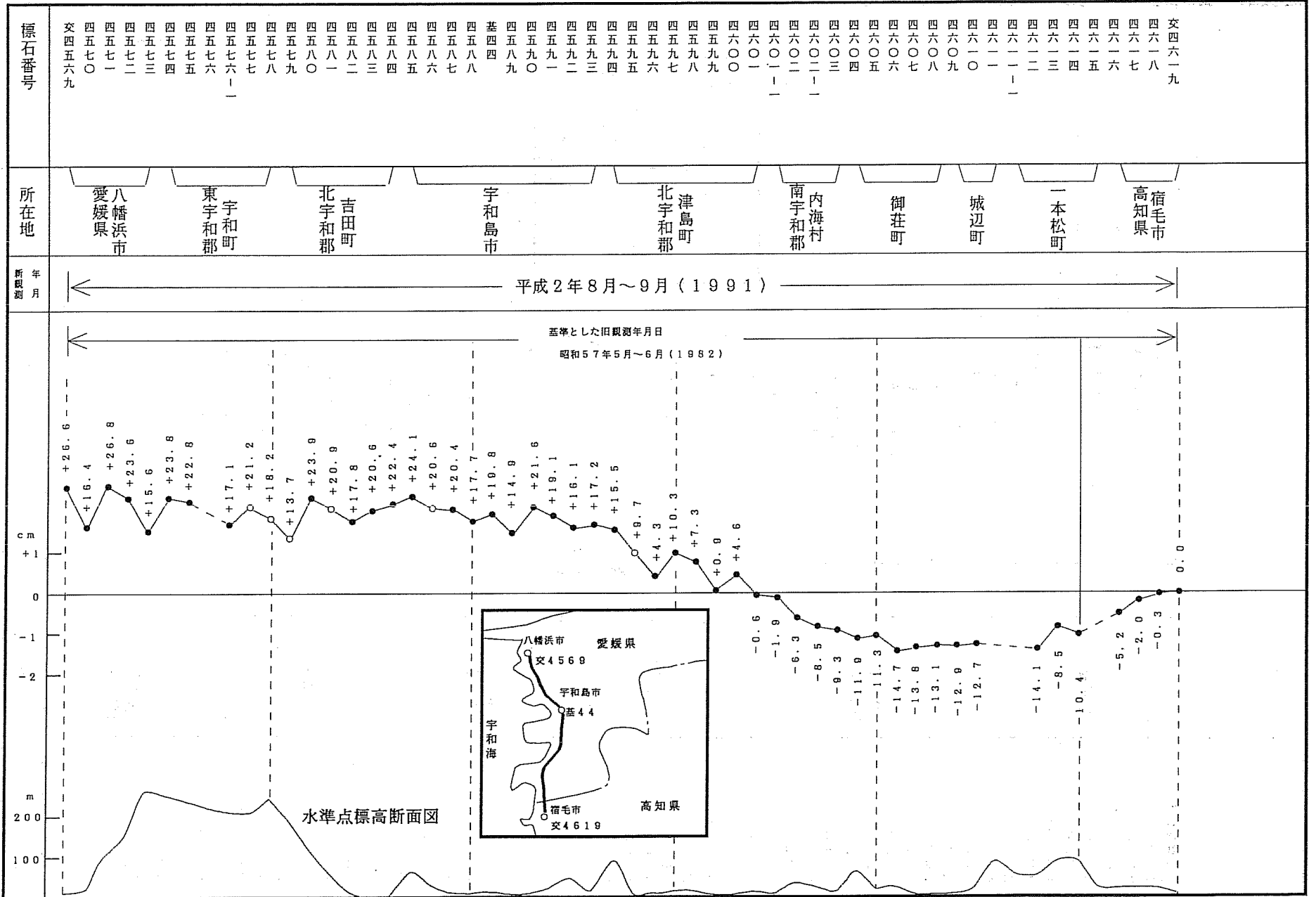
2-30 自 愛媛県今治市 至 愛媛県松山市



2-31 自 愛媛県松山市 至 愛媛県八幡浜市

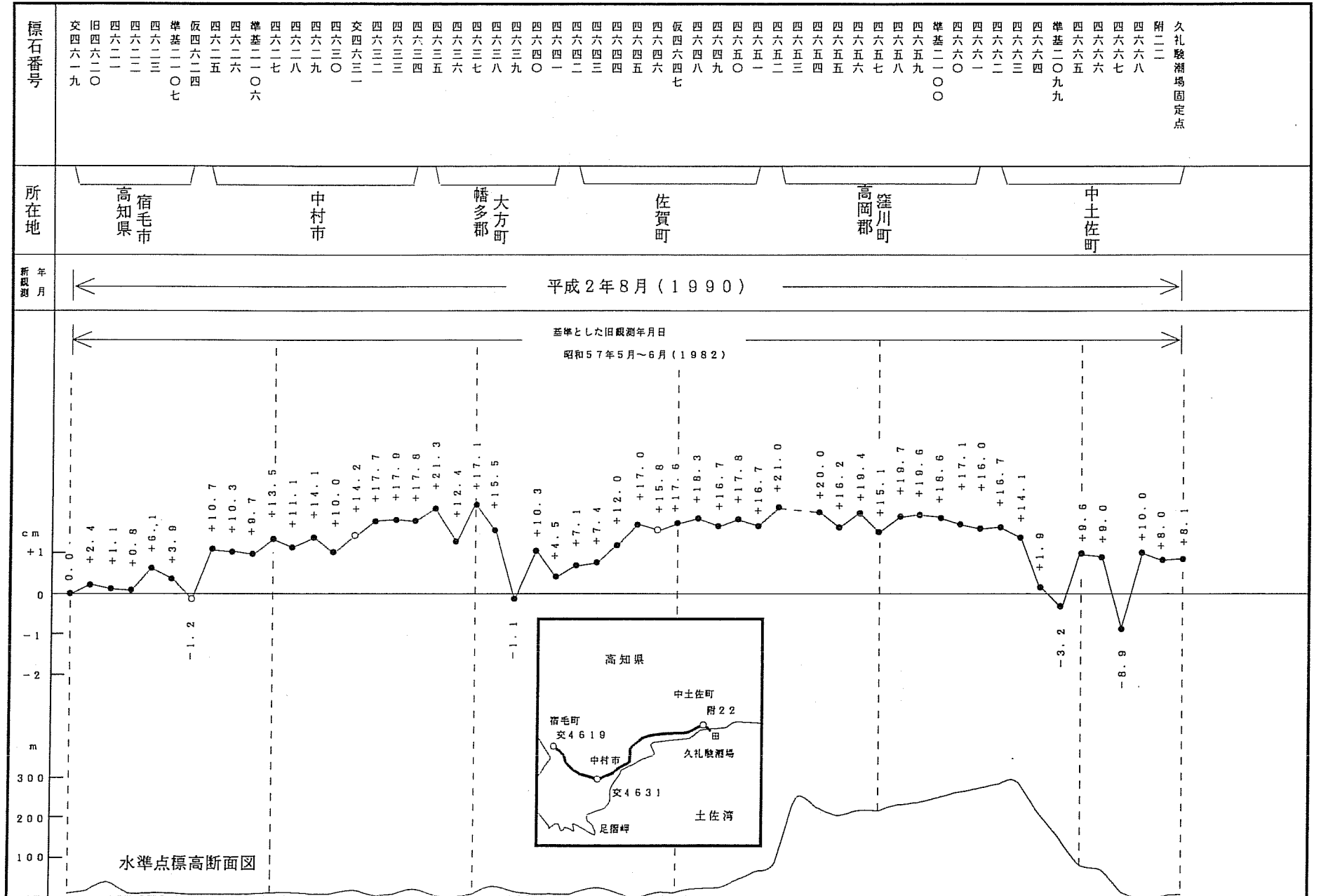


2-31 自 愛媛県八幡浜市 至 高知県宿毛市

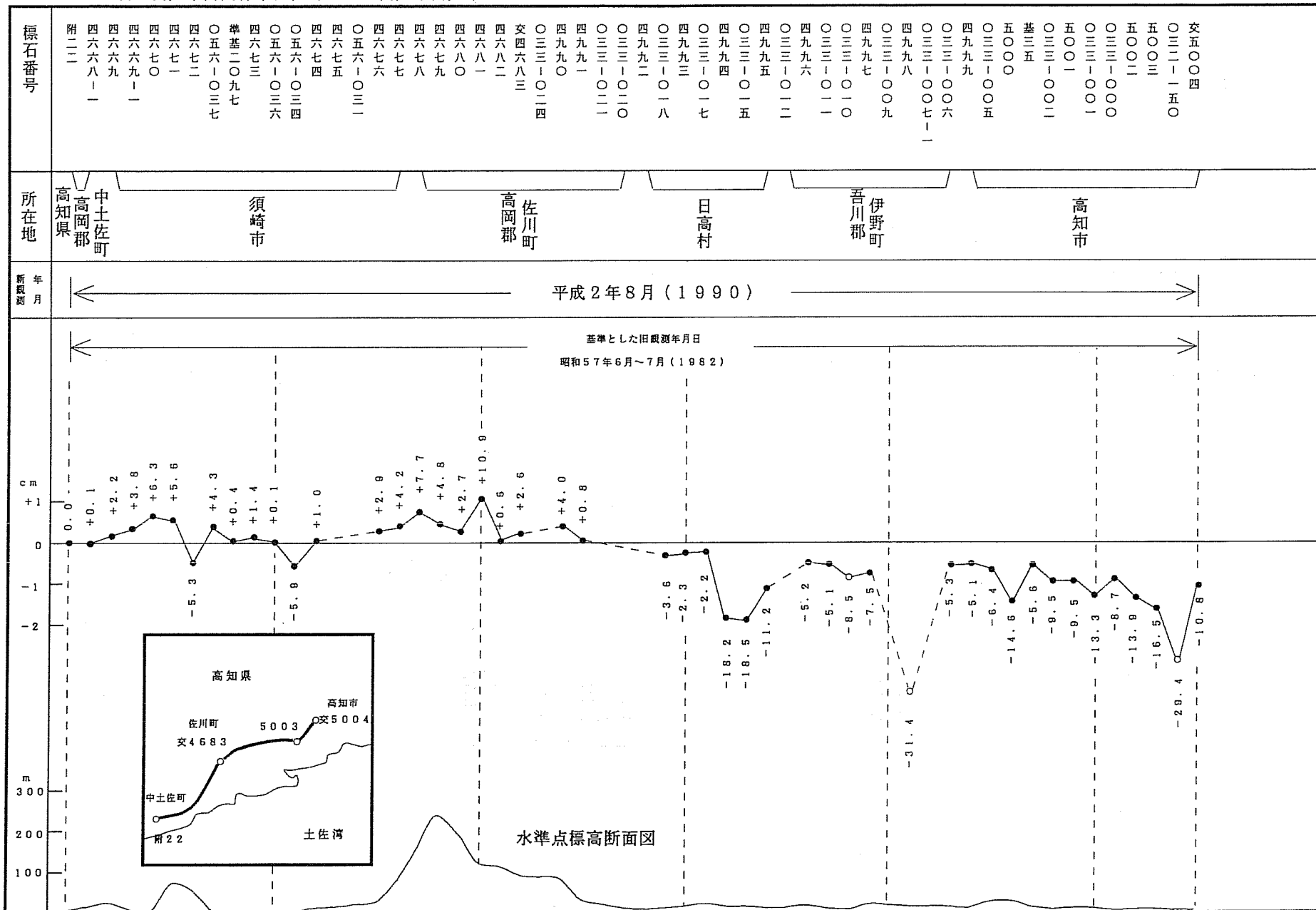




2-31 自 高知県宿毛市 至 高知県高岡郡中土佐町



2-31 自 高知県高岡郡中土佐町 至 高知県高知市



2-32 自 佐賀県杵島郡有明町

至 福岡県柳川市

自佐賀郡大和町  
至佐賀市

自鹿島市  
至杵島郡有明町

標石番号

基五二  
三三三二  
三三三三  
三三三四  
三三三五  
三三三六  
三三三七  
三三三八  
三三三九  
三三四〇  
三三四一  
三三四二  
三三四三  
三三四四  
三三四五  
三三四六  
三三四七  
三三四八  
三三四九  
三三五〇  
基二二七八  
三三五一  
三三五二  
三三五三  
三三五四  
三三五五  
三三五六

佐賀県基盤水準点  
三三四六

三三三二  
三三三一  
三三三〇  
二二

所在地

佐賀県 杵島郡 有明町  
白石町  
杵島郡 江北町  
小城郡 牛津町  
佐賀郡 久保田町  
佐賀市  
佐賀郡 諸富町  
大川市  
山門郡 三橋町  
福岡県 柳川市  
佐賀郡 大和町  
佐賀市  
鹿島市  
杵島郡 有明町

新観測年月

平成3年1月~2月(1991)

旧観測年月

基盤とし旧観測年月  
平成2年1月~2月(1990)

cm

+2

+1

0

-1

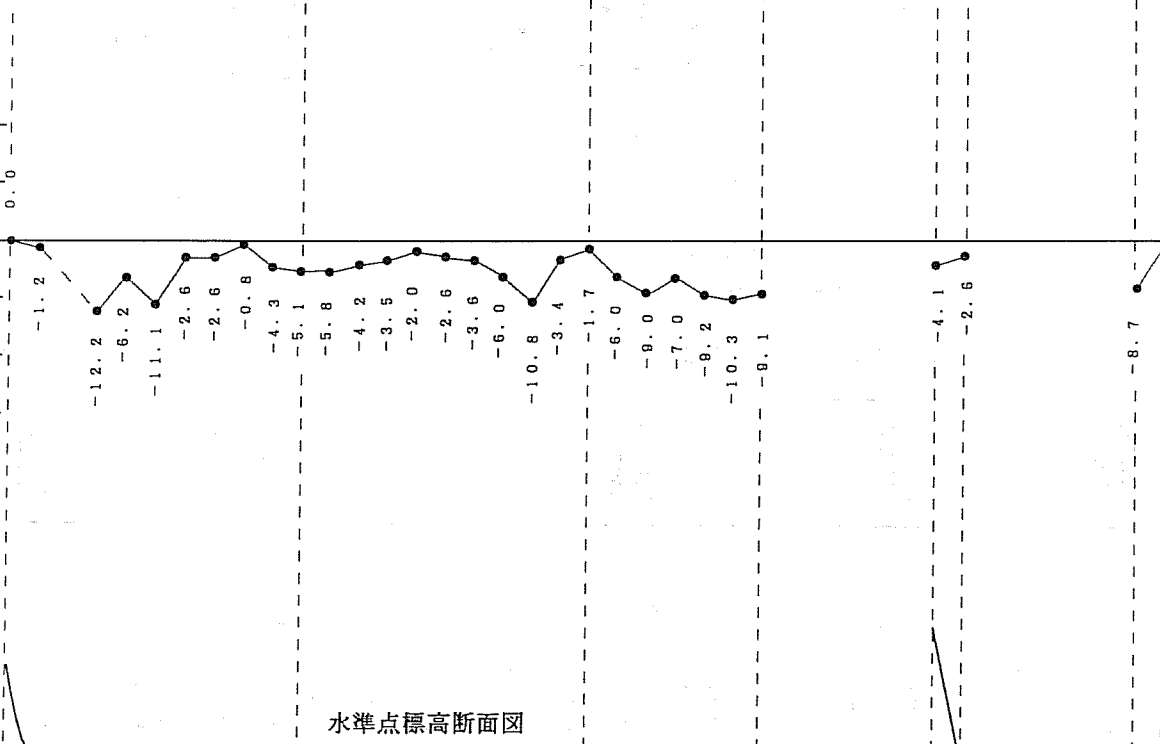
-2

-3

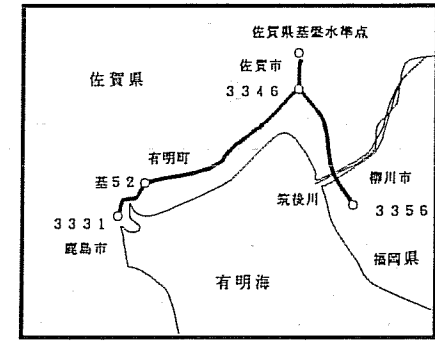
m

40

20

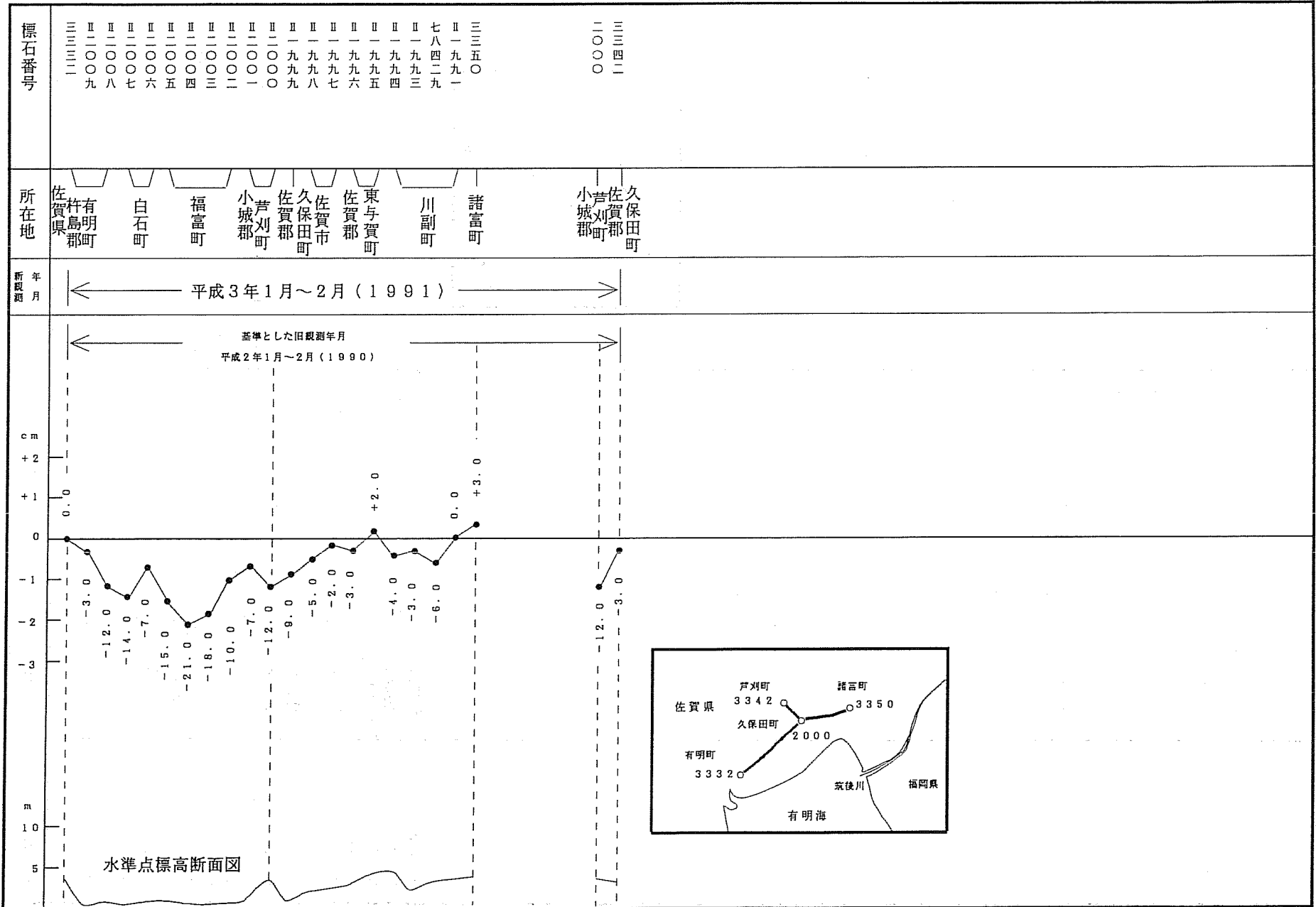


水準点標高断面図

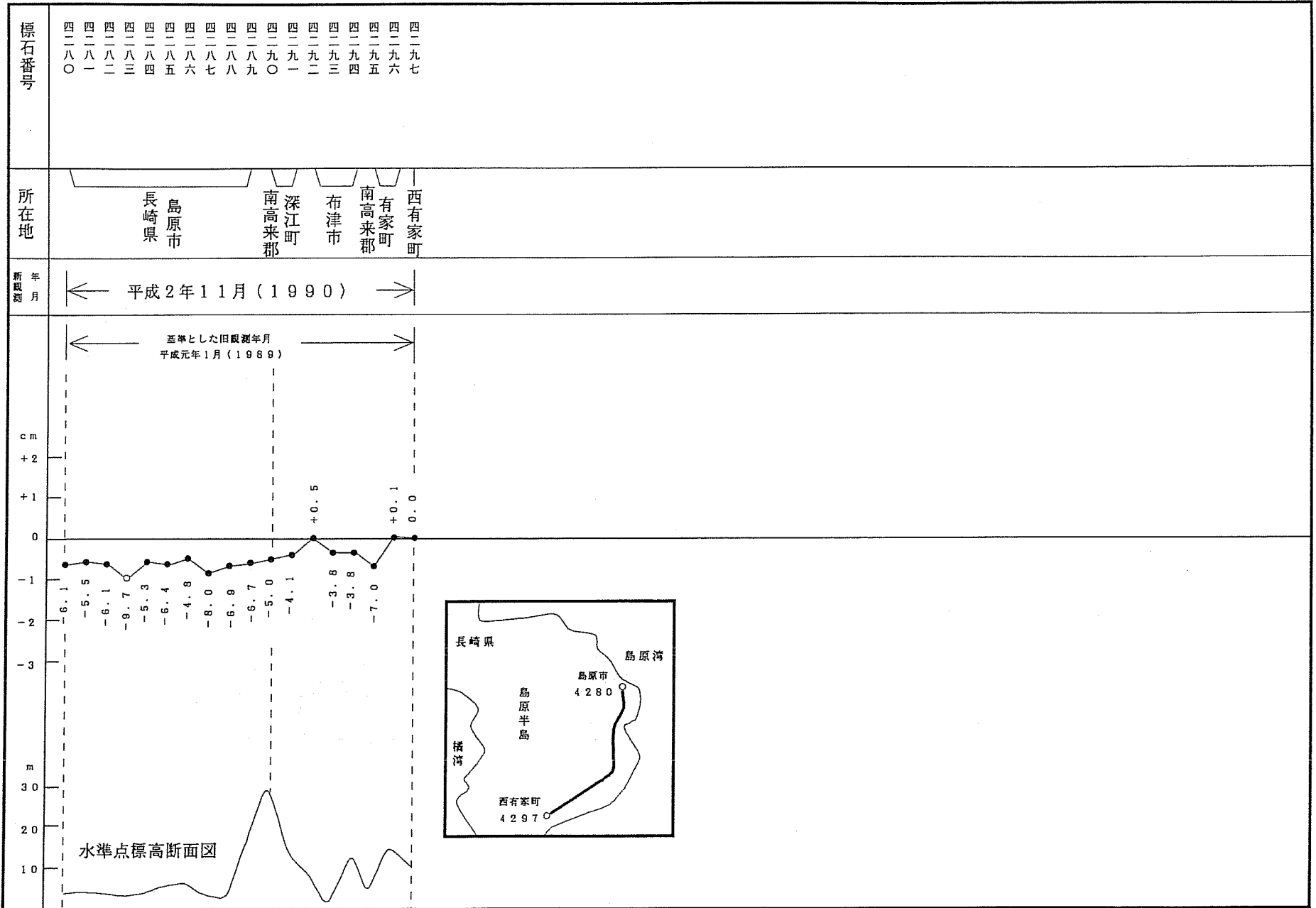


2-3.2 自 佐賀県杵島郡有明町 至 佐賀郡諸富町

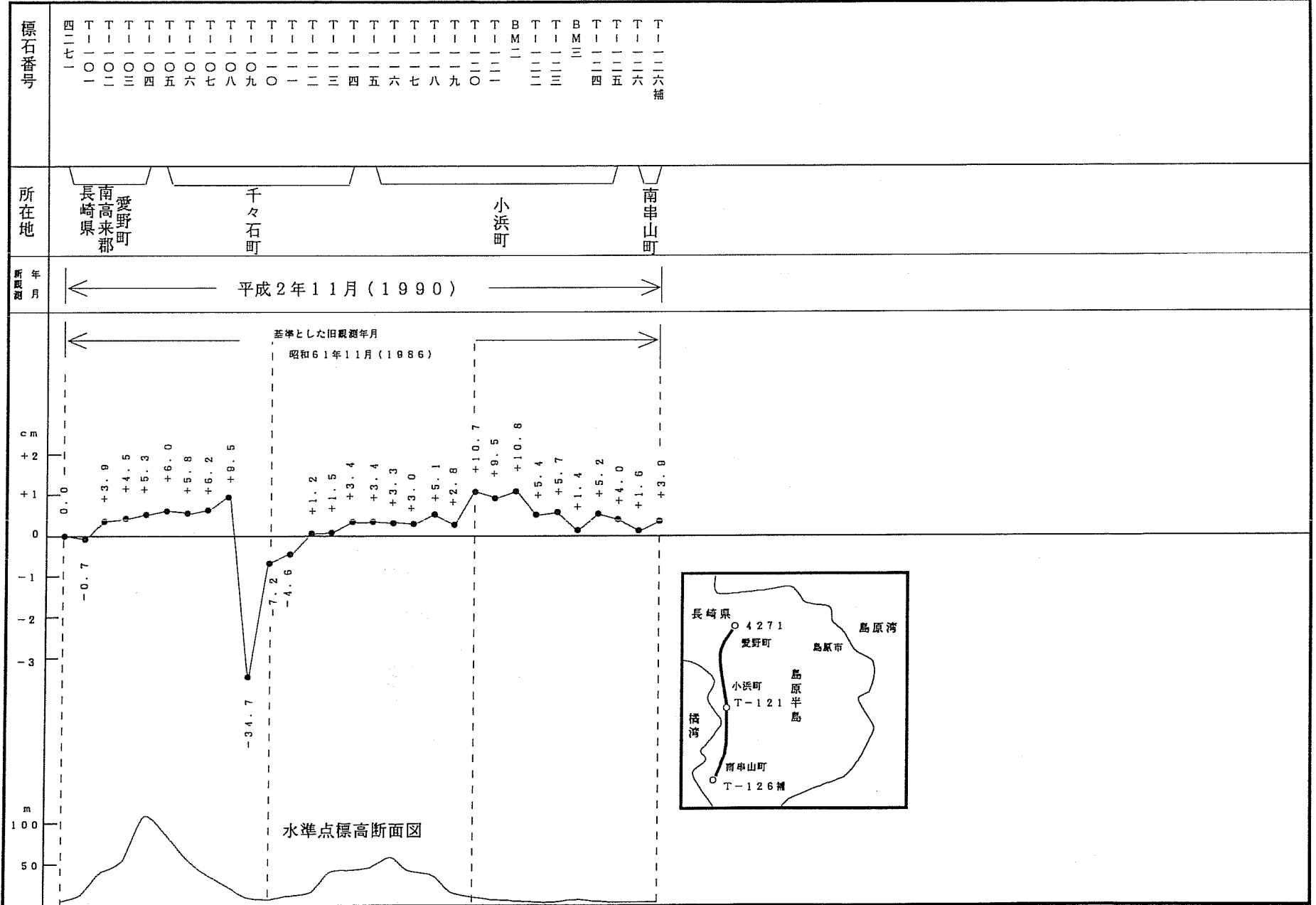
自小城郡芦刈町 至佐賀郡久保田町

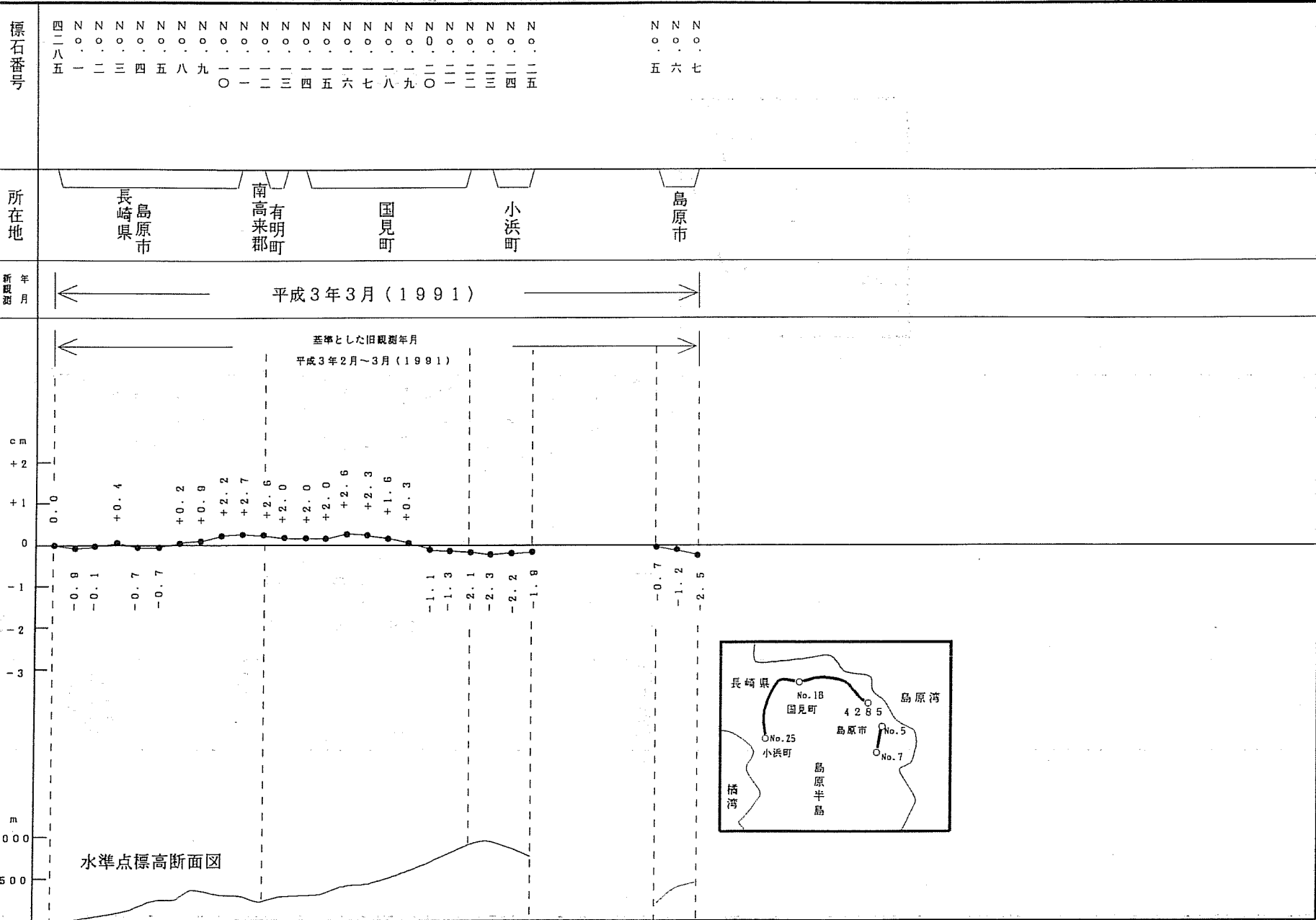


2-33 自 長崎県島原市 至 南高来郡西有家町



2-33 自 長崎県南高来郡愛野町 至 南高来郡南串山町





2-34 自 沖縄県国頭郡国頭村 至 沖縄県国頭東村

